

平成 23 (2011) 年度

「授業評価アンケート」報告書

平成 24 (2012) 年 7 月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

はじめに

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長 青木 幸弘

本学において、履修学生による「授業評価アンケート」が全学的に統一されたフォーマットで実施されるようになって、本年で6年目となる。実施そのものに関しては、教職員への周知徹底や学生諸君の協力もあって、ほぼ100%に近い実施率となっている。

学生数から見て中規模クラスの本学では、履修者数が30 - 40人程度の授業数が非常に多い。このため伝統的に教員と学生との距離が近く、日常の教員と学生とのコミュニケーションをもとに、これまでも各教授会や各学科の会議において授業改善のための議論がなされてきた。「授業評価アンケート」は、これまでの授業改善活動に、学生側からの新たな情報を加えるものとして位置づけられる。今回の報告書を見ると、授業の総合的な評価を問う項目では、少しずつではあるが、学生側からの評価が高まっていることが見て取れる。この点は、教員側が「授業評価アンケート」の導入によって、さらに授業の改善を続けている成果の一つとして捉える事ができる。

そもそもファカルティ・ディベロップメントは、米国の大学で導入されたものであるが、日本では米国の趣旨をそのまま踏襲して実施されているわけではない。このため、各大学によってファカルティ・ディベロップメントの実施方法や、使い方は様々であり、現在でも改善のための検討が進行しているといった状況である。また「授業評価アンケート」は、授業改善のための一手段であり、アンケートの情報だけで、大学全般の授業の評価を決めることはできない。特に少人数の授業では「授業評価アンケート」とは異なった方法で授業の評価と改善が行われる必要がある。この点に関し本学では、従来から各教員が授業形態に応じた教育の工夫を続けてきたところであるが、それを教員固有の創意工夫として留めるのではなく、大学全体の共有財産として認識するために、新たに「授業への取り組み例」という形で、報告書に付け加えることとした。

授業形態や授業方法は、それ自体自己完結的なものではなく、新たな技術のサポートや社会環境の変化によって絶えず変化していくものである。その意味で授業改善は、継続的な作業であると言える。本学の伝統である教員と学生の緊密なコミュニケーションに、「授業評価アンケート」の結果や「授業の取り組み例」を加えることによって、今後も全学的なレベル、各学部学科やセンターごとのレベル、そして授業担当者である個別の教員のレベルで、授業改善への努力が続けられることを期待したい。

平成24(2012)年7月

目次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要	1
I. 実施の経緯	2
II. 実施の方法	3
III. 実施に関わる全体的な状況と評価	5
IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて	12
第2章 各部門の分析・評価	14
「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向分析）	16
I. 法学部	18
II. 経済学部	24
III. 文学部	32
IV. 理学部	40
V. 計算機センター	48
VI. 外国語教育研究センター	55
VII. スポーツ・健康科学センター	63
VIII. 基礎教養科目運営委員会	67
IX. 教職課程	76
X. 学芸員資格取得に関する委員会	81
第3章 授業への取り組み例	87
第4章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）	105
ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧	135

第 1 章

授業評価アンケート実施の概要

I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成15（2003）年8月の各学部・センターの有志の教員14名からなる「FD勉強会」の組織からである。ここでは、FDの定義についての確認、FDに関する他大学の状況説明等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、学部・学科、センターにおけるFDへの取り組み状況が紹介、説明され、また、経済学部、法学部・法学科、スポーツ健康科学センターおよび外国語教育研究センターが実施（あるいは予定）していた、学生による授業評価アンケートについての報告もあった。その後「FD勉強会」は「FD研究プロジェクト」と名称を変え、FDをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやFDを推進してゆくための組織について集中的に討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、学長補佐を委員長とする「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD推進委員会」）が発足、平成16（2004）年7月、第1回の委員会が開催された。委員会規程によれば、本学におけるFDとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされ、委員会では、そのために全学の取り組むべき活動として、学生による授業評価アンケートの実施を緊急かつ最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なFD活動への情報提供という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置づけられている。

その後、FD推進委員会で、アンケートの質問形式と質問項目、アンケート対象科目、実施スケジュールと方法等について集中的に議論を進め、その結果を「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」としてまとめた。一方、授業評価アンケートの結果は個々の授業担当者に関する個人情報であると考えられることから、「学習院個人情報保護規程」の趣旨をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」がまとめられた。これらふたつのガイドラインにそって、教務部（現学生センター教務課）の協力のもとに実務に関する細部の調整が行われ、平成18（2006）年度、全学にわたる授業評価アンケートが初めて実施された。

．実施の方法

第1学期は6月下旬から7月上旬、第2学期は12月の所定の期間中(各2週間)に、無記名のアンケートにより実施した。実施にあたっては、学生センター教務課により実施本部が設置され、各教員が授業前に実施本部でアンケート票一式を受け取り、アンケート終了後、回収用の封筒に封入された記入済みアンケート票その他を実施本部に提出することになっている。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼ全ての科目が該当する。

第1学期： 第1学期科目および通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期： 第2学期科目および通年科目

注1.集中講義については、通常の期間ではなく開講期間中に実施。

2.大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

3.総履修者数が5名以下の科目は対象外。

4.回答者数が5名以下の科目は、その回答データを担当教員個人へフィードバックしない。このデータは保存するが、各種集計データには含めない。


なお、集計結果分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの授業開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態	
法学部	講義	演習
経済学部	講義	演習
文学部	講義	演習
理学部	講義	演習
計算機センター	講義	
外国語教育研究センター	語学	
スポーツ・健康科学センター	演習	
基礎教養科目運営委員会	講義	演習
教職課程	講義	演習
学芸員資格取得に関する委員会	講義	演習

質問項目については、5段階の評価方式とし、学生全員が回答すべき基本的な11項目の他、授業形態等によって追加的な項目を加えた。自由記述方式の回答を求める質問についても検討されたが、全学の授業評価には馴染まないこと等から、採用しないこととした。

実際に使用されたアンケート票のコピーを次ページに掲載する。

第1章 授業評価アンケート実施の概要





平成23(2011)年度 学習院大学 授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。率直かつ責任を持った回答をお願いします。

学習院大学

1 この授業の「時間割コード」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」「性別」を記入・マークしてください。

【注意事項】

正しいマーク  誤りマーク 

- ・必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。
- ・記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。
- ・誤りは消しゴムで完全に消してください。
- ・指定以外のところには書き込まないでください。
- ・記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。
- ・このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。
- ・所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号
□□-□□□-□□□ にある □ の3桁の数字です。
(例) 08-011-999の場合「011」
08-095-999の場合「095」
- ・本学の学籍番号が付与されていない学生(I-Campus生・大学院交換学生)は、学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

【回答の基準】

5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

時間割コード	授業形態	学科コード	学年	性別																																																																																																			
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td><td>①</td></tr> <tr><td>②</td><td>②</td><td>②</td><td>②</td><td>②</td></tr> <tr><td>③</td><td>③</td><td>③</td><td>③</td><td>③</td></tr> <tr><td>④</td><td>④</td><td>④</td><td>④</td><td>④</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>⑤</td><td>⑤</td><td>⑤</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>⑥</td><td>⑥</td><td>⑥</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>⑦</td><td>⑦</td><td>⑦</td><td>⑦</td></tr> </table>						①	①	①	①	①	②	②	②	②	②	③	③	③	③	③	④	④	④	④	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>講義 ①</td></tr> <tr><td>演習 ②</td></tr> <tr><td>語学 ③</td></tr> </table>	講義 ①	演習 ②	語学 ③	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>①</td><td>①</td><td>①</td></tr> <tr><td>②</td><td>②</td><td>②</td></tr> <tr><td>③</td><td>③</td><td>③</td></tr> <tr><td>④</td><td>④</td><td>④</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>⑤</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>⑥</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>⑦</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>⑧</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>⑨</td><td>⑨</td></tr> </table>				①	①	①	②	②	②	③	③	③	④	④	④	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑦	⑦	⑦	⑧	⑧	⑧	⑨	⑨	⑨	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td> </td><td>年</td></tr> <tr><td>①</td><td>①</td></tr> <tr><td>②</td><td>②</td></tr> <tr><td>③</td><td>③</td></tr> <tr><td>④</td><td>④</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>⑨</td></tr> </table>		年	①	①	②	②	③	③	④	④	⑤	⑤	⑥	⑥	⑦	⑦	⑧	⑧	⑨	⑨	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td> </td><td>性別</td></tr> <tr><td>男</td><td>①</td></tr> <tr><td>女</td><td>②</td></tr> </table>		性別	男	①	女	②
①	①	①	①	①																																																																																																			
②	②	②	②	②																																																																																																			
③	③	③	③	③																																																																																																			
④	④	④	④	④																																																																																																			
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤																																																																																																			
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥																																																																																																			
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦																																																																																																			
講義 ①																																																																																																							
演習 ②																																																																																																							
語学 ③																																																																																																							
①	①	①																																																																																																					
②	②	②																																																																																																					
③	③	③																																																																																																					
④	④	④																																																																																																					
⑤	⑤	⑤																																																																																																					
⑥	⑥	⑥																																																																																																					
⑦	⑦	⑦																																																																																																					
⑧	⑧	⑧																																																																																																					
⑨	⑨	⑨																																																																																																					
	年																																																																																																						
①	①																																																																																																						
②	②																																																																																																						
③	③																																																																																																						
④	④																																																																																																						
⑤	⑤																																																																																																						
⑥	⑥																																																																																																						
⑦	⑦																																																																																																						
⑧	⑧																																																																																																						
⑨	⑨																																																																																																						
	性別																																																																																																						
男	①																																																																																																						
女	②																																																																																																						

2 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

質問項目	回答欄
● 1～11は「全員」回答してください。	
1 私はこの授業によく出席している ⑤:出席率90%以上 ④:出席率89～80% ③:出席率79～70% ②:出席率69～50% ①:出席率49%以下	⑤ ④ ③ ② ①
2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	⑤ ④ ③ ② ①
3 この授業のレベルは適切である	⑤ ④ ③ ② ①
4 この授業を進める速さは適切である	⑤ ④ ③ ② ①
5 授業に対する教員の熱意が感じられる	⑤ ④ ③ ② ①
6 教員は教室が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている	⑤ ④ ③ ② ①
7 教員は理解しやすい授業を行っている	⑤ ④ ③ ② ①
8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	⑤ ④ ③ ② ①
9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	⑤ ④ ③ ② ①
10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください)	⑤ ④ ③ ② ① ②
11 総合的に見てこの授業は高く評価できる	⑤ ④ ③ ② ①
● 12・13は「授業形態」が「講義」「語学」の科目の場合のみ回答してください。	
12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	⑤ ④ ③ ② ①
13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	⑤ ④ ③ ② ①
● 14・15は「授業形態」が「演習」「語学」の科目の場合のみ回答してください。	
14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	⑤ ④ ③ ② ①
15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	⑤ ④ ③ ② ①
● 16・17は「授業形態」が「語学」の科目の場合のみ回答してください。	
16 1回1回の授業のねらいが明確である	⑤ ④ ③ ② ①
17 教員は授業時間を有効に活用している	⑤ ④ ③ ② ①
● 18・19は「開設部門」が「共通科目運営委員会」の科目の場合のみ回答してください。	
18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	⑤ ④ ③ ② ①
19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	⑤ ④ ③ ② ①
● 20・21は「開設部門」が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答してください。	
20 私は授業に遅刻したことがない	⑤ ④ ③ ② ①
21 高校で履修した数学科目 ④:数Ⅰ・数Ⅱを履修した ③:数Ⅰ・数Ⅱのみ履修した ②:数Ⅰのみ履修した ①:いずれにも該当しない(例:留学生)	⑤ ④ ③ ② ①
● 22～29は「開設部門」が「スポーツ・健康科学センター」の科目の場合のみ回答してください。	
22 運動量は ⑤:十分であった ④:おおむね十分であった ③:どちらとも言えない ②:やや不足していた ①:不十分であった	⑤ ④ ③ ② ①
23 体力・健康状態が改善された	⑤ ④ ③ ② ①
24 運動技術が向上した	⑤ ④ ③ ② ①
25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた	⑤ ④ ③ ② ①
26 身体や運動に対する関心が高まった	⑤ ④ ③ ② ①
27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた	⑤ ④ ③ ② ①
28 自分の生活習慣を見直す機会となった	⑤ ④ ③ ② ①
29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	⑤ ④ ③ ② ①

ご協力ありがとうございました。

．実施に関わる全体的な状況と評価

上述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数5名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。対象科目数 2,048、実施科目数 2,021、実施率 98.68%となり、実施率としては非常に高い数値となった。これに対して学生の回答率（＝回答者数／総履修者数）は 51.82%にとどまった。回答率が毎年 50%前後となってしまいう主要な原因は、学年はじめの履修登録者数を総履修者数とみなしているためである。法学部・経済学部の講義科目では、相当数の学生が履修を中断したり、期末試験を棄権したりするが、その総数を事前に把握するのは困難である。そのため、履修登録者数の多い授業ほど、回答率は低くなる傾向がある。

初回（平成 18（2006）年度）のアンケート実施後、いくつかの問題点が発見された。まず、アンケート実施上の授業形態についての確認が完全ではなく、また実施段階での変更等もあり多少の混乱が生じた。総履修者数5名以下の科目について、アンケートの信頼性への疑問や教員へのフィードバックに対する様々な懸念があらためて指摘された。これらの問題は第2回（平成 19（2007）年度）以降改善された。また、質問項目のうち、「Q3 授業のレベル」、「Q4 授業を進める速さ」を問う項目について、最良の評価が3となる質問形式が5段階評価にそぐわず、結果集計の際にもデータに重みを付けるなど多少複雑な処理が必要であった。この問題については、平成 20(2008)年度実施時から他の質問項目同様に最良の評価が5になるように質問形式を変更している。

平成 23（2011）年3月、教員へのフィードバックとして、個々の授業についてのアンケート結果を担当教員に送付した。同年4月には速報版を Web ページに公開し、授業開設部門別、授業形態別に、各設問（主な 11 設問＋ ）に対する平均・標準偏差の表、およびそれらをグラフ化した「基礎集計結果」を掲載した。また、「実施概要」および「授業満足度にみる集計結果」もあわせて公開した。また、これらに加え、部門別、形態別、学年別、総履修者数別の集計をとった「基礎データクロス表」、およびアンケートの問に対する相関係数を部門別・形態別にまとめた「相関係数表」を作成した。さらに、前回より作成を開始した「授業への取り組み例」も、情報を追加・更新する形で今年度も作成した。

「相関係数表」は「基礎集計結果」とともに第2章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第3章に、「基礎データクロス表」は第4章に掲載する。また、前回に引き続き、経年変化比較表（5年間）を部門別・形態別に作成し、第2章の各部門の頁末に掲載する。次章における各部門の分析・評価の概要はこれらのデータをもとに行われたものである。以下に Web ページに公開された「実施概要」および「授業満足度にみる集計結果」を転記する。

第1章 授業評価アンケート実施の概要

1. 実施概要

第6回目の実施となった平成23(2011)年度のアンケートについては、第1学期は6月27日から7月9日まで、第2学期は12月5日から12月17日のそれぞれ2週間に、学部生が履修することのできるほぼ全科目を対象として行われました。具体的には、対象科目数2,048、実施科目数2,021、実施率は98.68%(前年度比-0.48%)となり、実施率としては前年度より若干低下しましたが、引き続き非常に高い数値となりました。実施科目における学生の回答率(=回答者数/総履修者数)は51.82%(前年度比+1.74%)と前年度より上昇しました。

部門別・形態別の実施率・回答率が図表1に示されています。

図表1 アンケート実施率および実施科目の回答率

部門別		実施率			回答率		
		対象科目数	実施科目数	実施率	総履修者数	回答者数	回答率
計セ	講義	88	88	100.00%	5,492	4,048	73.71%
	合計	88	88	100.00%	5,492	4,048	73.71%
外セ	語学	485	480	98.97%	13,257	10,393	78.40%
	合計	485	480	98.97%	13,257	10,393	78.40%
スポ健	演習	96	96	100.00%	2,407	1,718	71.38%
	合計	96	96	100.00%	2,407	1,718	71.38%
基礎教養	講義	78	78	100.00%	11,889	5,317	44.72%
	演習	1	1	100.00%	86	47	54.65%
	合計	79	79	100.00%	11,975	5,364	44.79%
法学部	講義	150	149	99.33%	29,989	9,391	31.31%
	演習	101	101	100.00%	2,351	1,671	71.08%
	合計	251	250	99.60%	32,340	11,062	34.21%
経済学部	講義	153	148	96.73%	22,026	7,267	32.99%
	演習	115	111	96.52%	1,785	1,484	83.14%
	合計	268	259	96.64%	23,811	8,751	36.75%
文学部	講義	167	164	98.20%	12,650	7,691	60.80%
	演習	328	323	98.48%	7,821	6,091	77.88%
	合計	495	487	98.38%	20,471	13,782	67.32%
理学部	講義	137	134	97.81%	8,753	4,773	54.53%
	演習	42	41	97.62%	2,360	1,528	64.75%
	合計	179	175	97.77%	11,113	6,301	56.70%
教職課程	講義	30	30	100.00%	2,500	1,647	65.88%
	演習	54	54	100.00%	2,299	1,852	80.56%
	合計	84	84	100.00%	4,799	3,499	72.91%
学芸員	講義	11	11	100.00%	832	585	70.31%
	演習	12	12	100.00%	174	144	82.76%
	合計	23	23	100.00%	1,006	729	72.47%
形態別	講義計	814	802	98.53%	94,131	40,719	43.26%
	演習計	749	739	98.66%	19,283	14,535	75.38%
	語学計	485	480	98.97%	13,257	10,393	78.40%
全科目		2048	2021	98.68%	126,671	65,647	51.82%

注1 総履修者数が5名以下の科目はアンケート実施対象外

注2 総履修者数が6名以上の科目でも、当日の回答者が5名以下の科目は含まれていない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」:学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、10の部門にまとめています。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」については、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いています。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計しています。

「形態別」:アンケート実施上の授業形態で、「講義」「演習」「語学」の3種類です。

「実施率」:実施対象となった全科目に対する実施科目数の集計結果です。

「回答率」:実際にアンケートを実施した全科目の総履修者数に対する集計結果です。

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を10段階にランク分けし、さらに「形態別」に分類した状況をまとめたものが図表2です。前年度とほぼ同様の傾向になっています。

図表2 形態別・総履修者数ランク

		総履修者数ランク					
		25名以下	26～50名	51～100名	101～150名	151～200名	201～250名
形態別 講義	科目数	93	115	312	91	55	33
	%	11.60%	14.34%	38.90%	11.35%	6.86%	4.11%
演習	科目数	460	225	49	3	1	1
	%	62.25%	30.45%	6.63%	0.41%	0.14%	0.14%
語学	科目数	199	280	1	0	0	0
	%	41.46%	58.33%	0.21%	0.00%	0.00%	0.00%
合計	科目数	752	620	362	94	56	34
	%	37.21%	30.68%	17.91%	4.65%	2.77%	1.68%

		総履修者数ランク				合計
		251～300名	301～350名	351～400名	401名以上	
形態別 講義	科目数	33	35	11	24	802
	%	4.11%	4.36%	1.37%	2.99%	100.00%
演習	科目数	0	0	0	0	739
	%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
語学	科目数	0	0	0	0	480
	%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	科目数	33	35	11	24	2,021
	%	1.63%	1.73%	0.54%	1.19%	100.00%

回答者の種別については図表3のとおりです。前年度同様、回答者の約92%が本学の学部生であること、また、学部生に限ると、1年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していることも前年度と同様の傾向です。

図表3 回答者の種別

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	27,133	16,844	10,462	4,498	35	993	59,965
大学院生(博士前期課程)	298	81	5	0	6	15	405
大学院生(博士後期課程)	23	14	33	7	5	2	84
科目等履修生(学部)	99	73	98	14	25	33	342
科目等履修生(大学院)	1	2	0	0	5	2	10
他大学生(大学院生含む)	13	5	1	3	68	2	92
不明	2,257	1,244	725	138	23	362	4,749
合計	29,824	18,263	11,324	4,660	167	1,409	65,647

第1章 授業評価アンケート実施の概要

一部、学生種別と学年との回答の関係としてふさわしくないものもありますが、そのまま掲載しています。

2. 授業満足度に見る集計結果

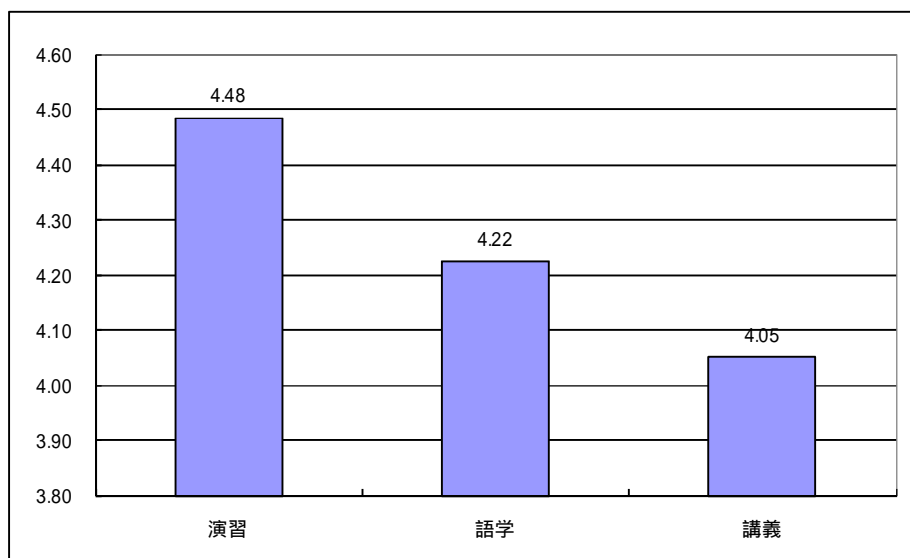
今回のアンケート結果については、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計した「科目ベース」の2種類の集計を行っています。これは、「回答者ベース」による集計結果だけで分析すると、履修者数の多い科目の影響を強く受けてしまうことがあるためです。

以下では、質問項目11の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に注目し、授業に対する満足度を「形態別」、「総履修者数ランク別」、質問項目1の回答による「出席率別」、「学部生の学年別」(以下、「学年別」) という4つの視点から分析してみることにします。

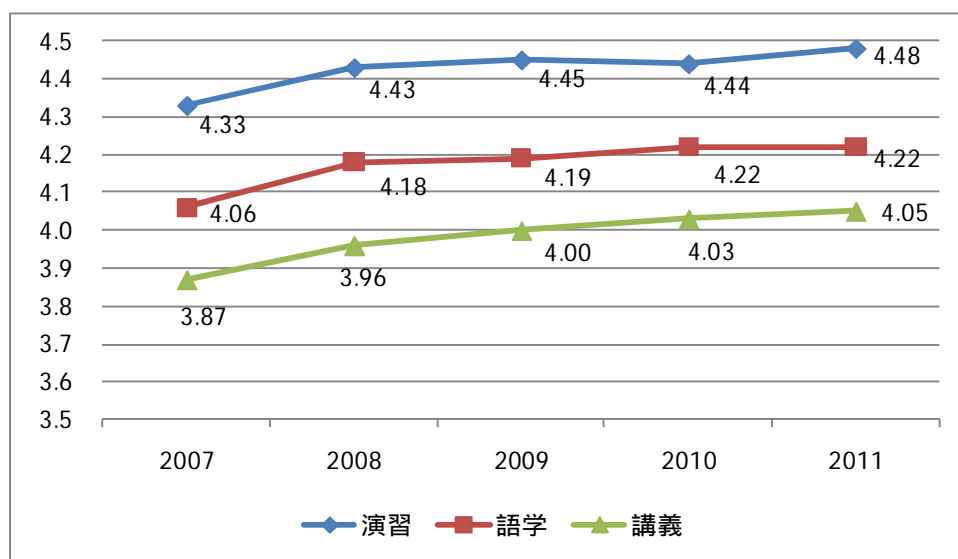
・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が図表4です。前年度の結果と比較してみると、「演習」(+0.04ポイント)、「語学」(同ポイント)、「講義」(+0.02ポイント)とも昨年度とほぼ同じ数値でした。比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高いと思われる「演習」に対する満足度に比べると、発表など学生の授業への直接参加が少ないと思われる「講義」、初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低いことが分かります。

図表4-1 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



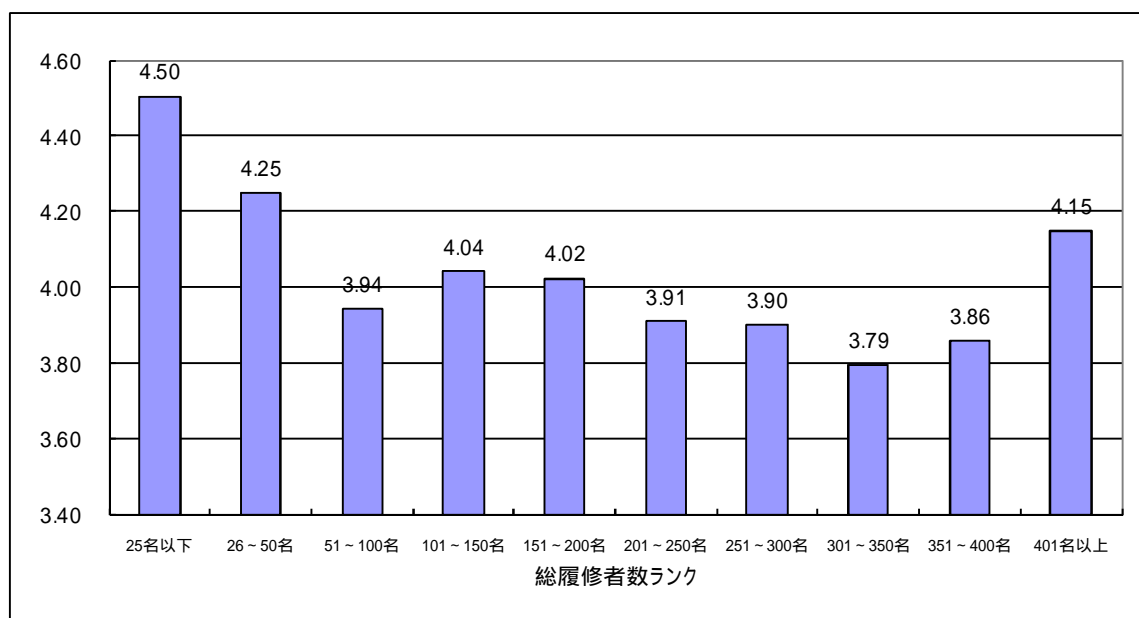
図表 4-2 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)
(過去5ヵ年)



・「総履修者数ランク別」による集計結果

「形態別」の集計結果にも関係していることですが、授業の規模によって満足度に差があることも考えられます。このため、アンケート実施科目の総履修者数を10のランクに分けた上で集計した結果が図表5です。今年度から10のランク分けを行いました。全体としては、前年度同様、総履修者数が少ない科目の方が満足度が高い傾向にありますが、履修者数が400名を越える科目についても、高い満足度が示されています。

図表 5 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「総履修者数ランク別」集計結果
(科目ベース)

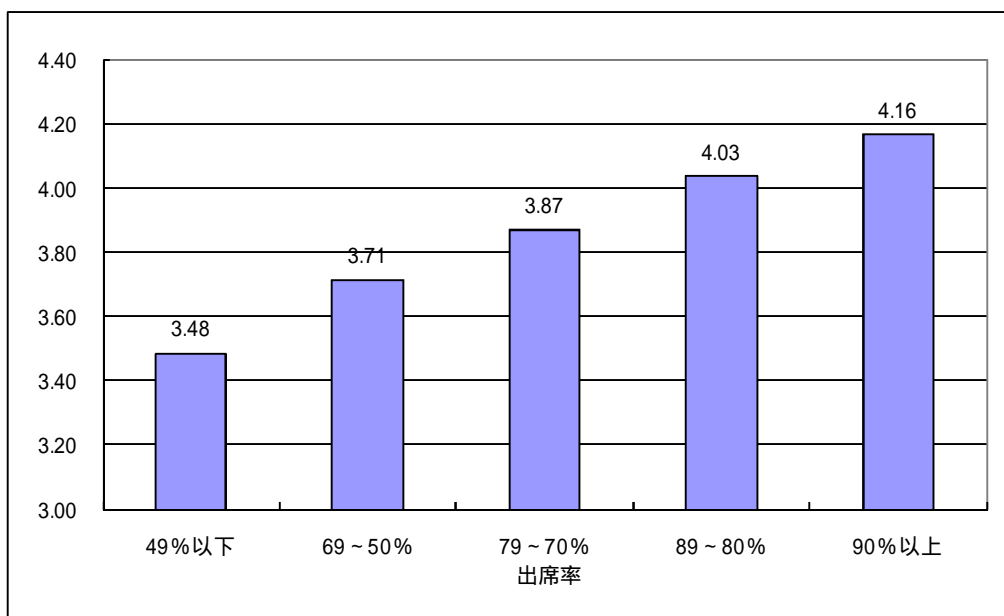


第1章 授業評価アンケート実施の概要

・「出席率別」による集計結果

授業への満足度は、出席率とどのような関係にあるのでしょうか。その集計結果が図表6です。前年度と比較すると、「49%以下」(+0.1ポイント)、「69~50%」(-0.02ポイント)、「79~70%」(+0.02ポイント)、「89~80%」(同ポイント)、「90%以上」(同ポイント)でした。「出席率が高いのは、授業に対する満足度が高い証拠」ともいえそうです。

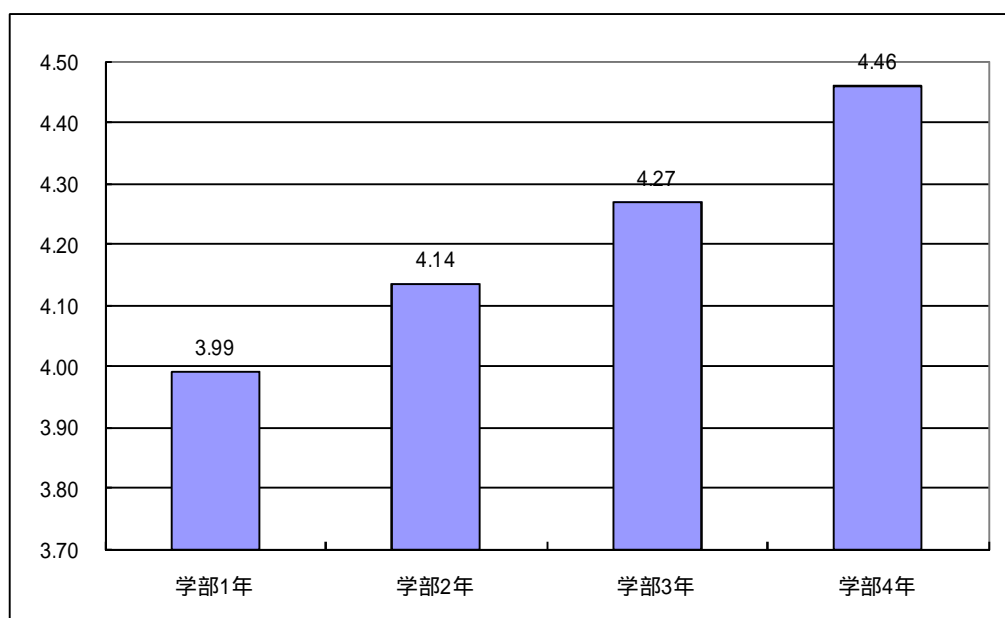
図表6 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」と「1 出席率」の集計結果(回答者ベース)



・「学年別」による集計結果

学年毎の満足度の差はあるのでしょうか。これを確認するために、学部生に限定して「学年別」の分析を行った結果が図表7です。前年度と比較すると、「学部1年」(+0.02ポイント)、「学部2年」(+0.04ポイント)、「学部3年」(+0.02ポイント)、「学部4年」(+0.01ポイント)となりました。前年同様、学年が進むにつれて満足度が高くなっていく様子が見えます。

図表7 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果(回答者ベース)



3. シラバスと受講科目選択との関係性

平成 22 年度の授業評価アンケートより「この授業のシラバスは受講に役立った」かどうかを問う設問を追加し、平成 23 年度も継続しました。全体的な傾向としては、昨年度に引き続き、3 人に 1 人程度の割合でシラバスを読まずに受講しており、必修科目として指定されている授業ほどその傾向が強いようです。

また、シラバスを読んで受講した学生の反応としては、受講に役立っていると評価する傾向がやや強いようですが、「どちらとも言えない」との評価も少なくありません。

．今後の授業評価、FD活動に向けて

6年目を迎えた授業評価アンケートは、過去5年間のアンケートの経験を踏まえ、極めて順調に実施することができた。FD推進委員会各委員、学長室経営企画課、学生センター教務課、教員、そして学生諸君の協力に心から感謝する。

これまでの授業評価アンケート実施にあたり、FD推進委員会では実施主体の組織化、関係各部の協力体制づくり、さらには教員と学生に対する啓蒙活動など多くの活動に取り組んできた。こうした基礎作業を着実にやってきたため、今回の授業評価アンケートは大きな混乱もなく整然と実施することができたといえよう。FD推進委員会、経営企画課、教務課の間の連繋も順調であった。

このように、授業評価アンケートが順調に実施されつつある一方、FD活動全体としては、将来的な課題もまた無視することはできない。これまで、FD推進委員会の主要な活動が、授業評価アンケートの実施に傾いていたことは否めない。授業評価アンケートは、授業の基礎的な条件を満たしているかどうかを検討するには重要な資料であるが、この授業評価アンケートだけでは捉えきれない、各教員の工夫も多数あると考えられる。このため、できる限り各教員の授業での工夫を共有化するために、昨年度から実施している「授業への取り組み例の収集・整理」を今年度も引き続き報告書に掲載することとなった。これまで限られた範囲で行われていた創意工夫を全教員にフィードバックすることで、より良い授業作りのための情報を共有化できれば幸いである。

現在、授業評価は教員にも学生にも確実に定着しつつある。その真の意義は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びついてはじめて理解されるのであろう。個人の努力を大学全体で共有化でき、より良い授業作りのための改善が継続的に行われるシステムを構築することがFD活動の次の課題である。

第 2 章

各部門の分析・評価

第 2 章 各部門の評価・分析

この章では、各種集計結果に基づき行われた授業開設各部門の分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータとして、各質問項目に対する回答の平均・標準偏差を部門別・形態別にまとめた「基礎集計表」、「相関係数表」および「経年変化比較表」（ともに各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目に対する回答の方向性の強弱を見ることが出来るもので、相関係数の絶対値が 1 に近いほど強い正負の相関を示し、0 に近いほど相関が弱いことを示す。また、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計された「基礎データクロス表」（第 3 章に掲載）がある。

なお、本文中、各質問項目を Q1、Q2、…、Q29 として引用する（第 1 章 アンケート票参照）。

例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計しています。

「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向について）

授業評価アンケートについて、昨年度に引き続き、部門別・形態別の「経年変化比較表」を作成し、5年間の数値の変化を確認した。

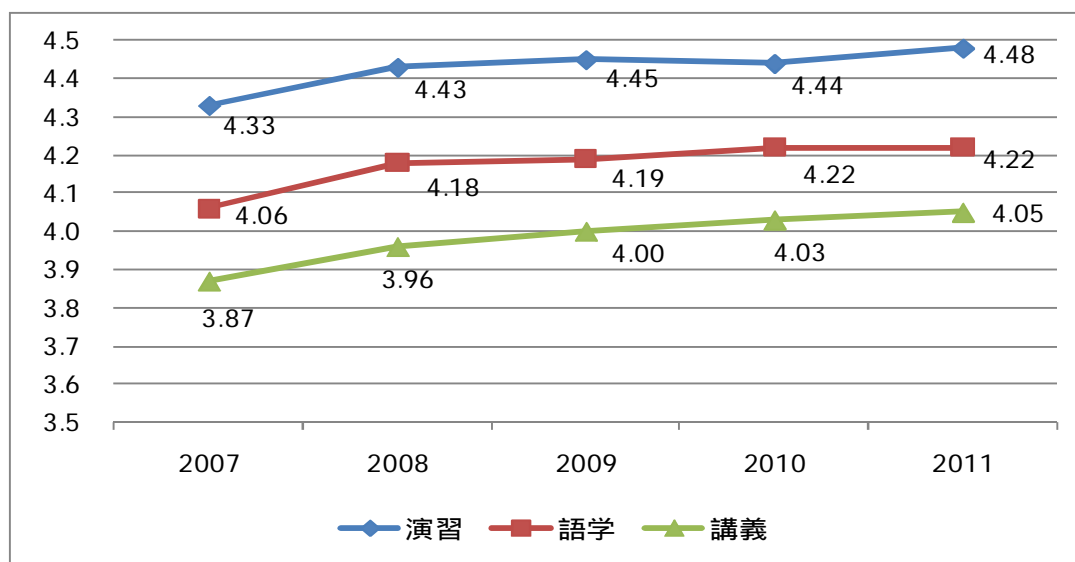
「科目ベース」の部門別・形態別平均で見た場合、いずれの授業形態においてもほとんどの部門で「問2 私は授業に意欲的に取り組んでいる」及び「問5 授業に対する教員の熱意が感じられる」の回答において、過去5ヵ年で最高の数値を示している。

平成22年度から設問として設けた「問10 この授業のシラバスは受講に役立った」の回答においても、ほぼ全ての部門において改善の傾向が見られており、シラバスの内容については良化しているといえる。また「問3 この授業のレベルは適切である」の数値についても、改善が見られており、シラバスを確認した上で、授業を選択し、その授業のレベルが適切であったという関係が成り立ちつつあることが言える。一方で、シラバスを確認せずに履修する学生も多くいることが分かっており、こういった学生に対してシラバスを読むように促す仕組み作りが必要であろう。

なお、「問1 私はこの授業によく出席している」については、部門・形態によって多少の差はあるものの、全体的に高い数値を示している。

図表4-2「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）に見られるように、「演習」、「語学」、「講義」とも、学生の満足度は年々上昇しており、特に「演習」については、昨年度と比較して0.04ポイント上昇した。これは教員にとっても喜ばしい結果であり、今後の授業改善に向けてよいきっかけになると思われるが、「語学」及び「講義」の数値の上昇は鈍化してきており、これ以上の学生満足度を望むためには、抜本的な改善策が必要になるのではないかと。

図表 4-2 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



【部門別・形態別比較】(対象期間:平成19年度～平成23年度)

※比較対象期間は、「全員回答」である設問番号1～11とする。
平成21年度以前は1～100の平均、平成22年度から1～11の平均とする

	平成23(2011)年度										平成22(2010)年度										平成21(2009)年度										平成20(2008)年度										平成19(2007)年度									
	実施率		回答者パー		科目パー		回答者パー		科目パー		回答者パー		科目パー		回答者パー		科目パー		回答者パー		科目パー		回答者パー		科目パー		回答者パー		科目パー		回答者パー		科目パー																	
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差																		
計七	講義	100.00%	73.71%	3.74	1.117	3.80	0.550	3.68	1.124	3.71	0.520	73.34%	3.76	1.066	3.79	0.522	72.41%	3.66	1.124	3.72	0.538	72.18%	3.65	1.181	3.70	0.571																								
	演習	98.97%	78.40%	4.18	0.909	4.20	0.437	4.16	0.914	4.18	0.440	75.74%	4.15	0.928	4.16	0.460	78.18%	4.11	0.917	4.14	0.440	74.71%	4.09	0.988	4.13	0.486																								
	計	100.00%	71.38%	4.50	0.766	4.55	0.345	4.51	0.771	4.55	0.354	71.42%	4.54	0.729	4.56	0.316	73.51%	4.50	0.741	4.52	0.318	68.05%	4.43	0.877	4.45	0.397																								
入試	講義	100.00%	44.72%	4.06	0.930	4.09	0.405	4.10	0.939	4.11	0.421	38.71%	4.04	0.973	4.06	0.461	42.64%	3.98	0.969	4.00	0.439	37.50%	3.94	1.062	3.99	0.535																								
	演習	100.00%	54.65%	3.78	1.059	3.78	-	4.13	0.957	4.13	-	32.93%	3.83	1.151	3.83	-	30.58%	3.71	0.988	3.71	-	-	-	-	-	-																								
	計	100.00%	44.75%	4.06	0.931	4.09	0.407	4.10	0.939	4.11	0.419	38.67%	4.04	0.974	4.05	0.461	42.57%	3.98	0.969	4.00	0.441	37.50%	3.94	1.062	3.99	0.535																								
法学部	講義	99.33%	31.31%	3.84	1.019	3.88	0.482	3.86	1.030	3.89	0.501	32.72%	3.94	1.037	3.97	0.496	33.35%	3.83	1.077	3.86	0.526	30.98%	3.79	1.153	3.86	0.580																								
	演習	100.00%	71.08%	4.38	0.852	4.50	0.409	4.28	0.912	4.37	0.474	74.13%	4.30	0.878	4.38	0.417	82.53%	4.45	0.762	4.47	0.378	79.92%	4.36	0.873	4.39	0.445																								
	計	99.60%	34.21%	4.01	1.008	4.19	0.524	3.98	1.022	4.15	0.525	35.38%	3.99	1.025	4.13	0.508	35.97%	3.91	1.063	4.11	0.558	32.89%	3.85	1.141	4.05	0.592																								
経済学部	講義	96.73%	32.99%	3.96	1.049	4.12	0.505	3.94	1.022	4.10	0.493	32.48%	3.91	1.063	4.00	0.520	34.06%	3.96	1.054	3.98	0.541	33.85%	3.88	1.130	4.03	0.595																								
	演習	98.52%	83.14%	4.56	0.708	4.56	0.382	4.49	0.759	4.51	0.389	84.24%	4.55	0.706	4.55	0.352	85.31%	4.46	0.809	4.48	0.428	81.39%	4.42	0.868	4.42	0.467																								
	計	96.64%	36.75%	4.06	1.024	4.31	0.469	3.97	1.000	4.27	0.496	36.59%	4.03	1.037	4.25	0.530	38.10%	3.97	1.040	4.20	0.553	37.77%	3.98	1.107	4.20	0.571																								
文学部	講義	98.20%	60.80%	4.08	0.925	4.15	0.413	4.05	0.951	4.13	0.439	56.62%	4.03	0.944	4.10	0.416	59.73%	4.24	0.875	4.03	0.469	58.13%	3.98	1.058	4.03	0.553																								
	演習	98.48%	77.88%	4.34	0.814	4.37	0.378	4.31	0.825	4.33	0.400	74.57%	4.32	0.811	4.34	0.383	77.42%	3.97	0.980	4.29	0.425	70.30%	4.21	0.985	4.25	0.471																								
	計	98.38%	67.32%	4.20	0.887	4.29	0.402	3.98	0.901	4.27	0.423	63.80%	4.17	0.896	4.26	0.411	66.58%	4.09	0.943	4.20	0.457	62.53%	4.07	1.017	4.17	0.515																								
理学部	講義	97.81%	54.53%	3.82	1.080	3.89	0.547	3.79	1.068	3.84	0.528	52.99%	3.69	1.125	3.74	0.588	48.88%	4.24	0.875	3.77	0.589	52.58%	3.75	1.160	3.88	0.603																								
	演習	97.62%	64.75%	4.02	1.002	3.98	0.470	4.02	1.006	3.96	0.487	65.48%	3.94	1.047	3.88	0.519	69.94%	3.82	1.036	3.79	0.509	64.79%	3.79	1.146	3.77	0.575																								
	計	97.77%	58.70%	3.87	1.065	3.91	0.531	3.84	1.073	3.87	0.522	55.91%	3.76	1.110	3.77	0.560	53.13%	3.74	1.087	3.77	0.572	57.26%	3.76	1.156	3.82	0.588																								
教職課程	講義	100.00%	65.88%	4.13	0.913	4.19	0.380	4.14	0.919	4.14	0.393	65.54%	4.18	0.917	4.18	0.409	68.57%	4.25	0.841	4.26	0.348	100.00%	4.19	0.965	4.22	0.489																								
	演習	100.00%	80.56%	4.42	0.821	4.44	0.349	4.31	0.919	4.34	0.399	80.72%	4.43	0.856	4.40	0.398	81.89%	4.37	0.846	4.42	0.369	100.00%	4.38	0.855	4.42	0.418																								
	計	100.00%	72.91%	4.28	0.877	4.35	0.392	4.24	0.923	4.27	0.398	71.53%	4.29	0.891	4.30	0.417	74.23%	4.32	0.846	4.36	0.370	100.00%	4.29	0.912	4.31	0.456																								
学芸員	講義	100.00%	70.31%	4.15	0.906	4.17	0.416	4.25	0.942	4.23	0.383	68.80%	4.20	0.872	4.28	0.378	73.60%	4.03	0.903	4.17	0.386	100.00%	4.12	0.965	4.18	0.463																								
	演習	100.00%	82.76%	4.59	0.679	4.57	0.355	4.61	0.641	4.61	0.311	80.24%	4.56	0.650	4.55	0.280	83.33%	4.55	0.685	4.55	0.332	100.00%	4.50	0.747	4.50	0.403																								
	計	100.00%	72.47%	4.24	0.883	4.38	0.431	4.24	0.883	4.38	0.387	70.37%	4.26	0.851	4.42	0.357	74.88%	4.10	0.884	4.35	0.409	100.00%	4.17	0.947	4.35	0.486																								
合計	98.68%	51.82%	4.09	0.976	4.21	0.482	3.96	0.976	4.21	0.482	50.06%	4.07	0.983	4.19	0.489	51.37%	4.01	1.005	4.14	0.513	48.78%	3.98	1.081	4.12	0.551																									

．法 学 部

1．集計データからわかること

法学部のアンケート結果を一言で表現すれば、「例年どおり」ということになる。総合的な満足度(質問11)の平均値は、講義科目が3.99/4.01(スラッシュの前後はそれぞれ、学生回答単純平均、部門別形態別平均。以下同じ)、演習科目が4.45/4.59であり、この値は、2008年度以降、ほとんど変化していない。個別の項目を見ると、授業のレベル(質問3)についての平均値は講義科目が3.83/3.82、演習科目が4.18/4.31、授業の進度(質問4)は講義科目が3.84/3.89、演習科目が4.30/4.42、教員の熱意(質問5)は講義科目が4.14/4.19、演習科目が4.46/4.60、理解しやすさ(質問7)は講義科目が3.89/3.91、演習科目が4.40/4.54、そして教員の話し方(質問8)は講義科目が3.86/3.91、演習科目が4.42/4.55である。これらの評価は、ここ数年とほぼ同水準ないし若干の改善傾向にあり、ひとまず、FD活動は成果を挙げているということができる。

もっとも、他部局とのクロスデータを見ると、法学部の授業に対する評価は、相対的に高いとは言えない。経済学部や文学部、外国語教育研究センター、スポーツ・健康科学センター、教職課程、学芸員課程等は、上記の各項目について、総じて法学部よりも高い値を示している。その理由としては、さまざまなことが考えられるが、一つの可能性として、法学部、とりわけ法学科の伝統的な科目の性質を指摘しておきたい。民法や刑法、民事・刑事の訴訟法といった法学の基本科目は、わが国の初等・中等教育と大きく断絶している上に、詳細な条文や判例、さらには条文等に明示されていない概念などを短期間で、体系的に教育し、理解させることが求められる。アンケートの結果も、そのような制度的前提の中で読む必要がある。その意味で、たとえば、法学科と政治学科、基本科目と応用・先端科目といった区分ごとのデータを取ったり、「この授業は将来のキャリア形成の上で役に立った」「この授業により、当該分野の基礎的な知識が身に着いた」といった科目の特性に見合った質問項目を追加したりすれば、有益なFD活動となるのではないか。

次に、経年変化を詳細にみると、2007年度には、「授業のレベル」「授業の進度」等について、より高い評価が記録されていたことが注目される。他方、同年度の「総合評価」は、現在よりも低い。この傾向は、講義科目において特に顕著である。これらの点は、学生が授業に対して求めるものが変わってきているのではないか、という点を示唆しているように思われるし、そのことを教員の側で受け止めることができているか、反省する必要があるかもしれない。

ところで、アンケートの回答率は31.31%であり、これも例年と同水準である(他のいずれの部局よりも低い)。この点は、過去のFD報告書でも指摘されているが、必ずしも「出席率」の低さを示しているとは限らない点に注意が必要であろう。経験的に、法学部の授

業で試験を行うと、棄権（試験当日の欠席）が多い。すなわち、学科が専門ごとに細かく分かれるわけではないことも相俟って、学生には授業選択の面で幅広い選択肢が与えられており、学生は、多くの科目をひとまず登録しておいて、数回の受講の後に、出席しなくなるという形で選択権を行使しているとも考えられるのである。このことは、試験の棄権率のデータとつき合わせることで、検証することができると考えられる。

2 . 今後の授業改善に向けて

講義科目におけるスライド・板書の方法(質問 12)は、他の質問に較べて評価が低く(3.70 / 3.76)、かつ標準偏差が大きい(つまり、科目による差が大きい)。この点も、2009年度以降大きな変化がなく(ただし、2007年度に較べると大きく改善している)過去のFD報告書における指摘が必ずしも学生の評価の向上に結実していないことが窺われる。2010年度に実施した教員相互の授業参観を再度実施することが考えられてもよいかもしれない。

他方、2012年4月には、入学式後の時間を利用して、法学科の教員が導入授業を行った。これは、上記1.で指摘したような法学基本科目の性質を考慮して、いささかでも、中等教育と法学部教育のギャップを埋めようという試みである。今後、その成果を検証しつつ、どのような形で制度化していくかを検討する必要がある。

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

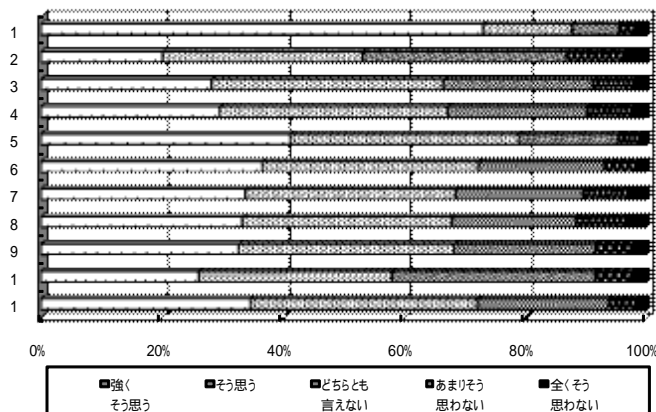
部門名 法学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	9,391	29,989	31.31%

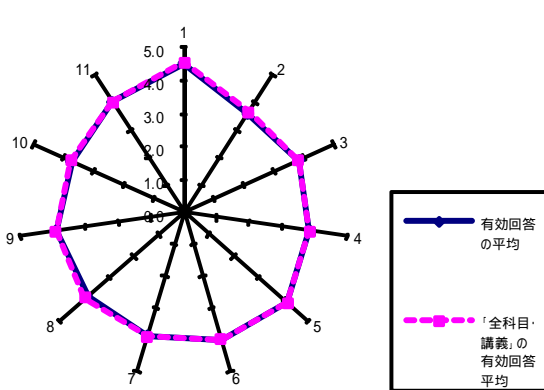
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によ(出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下)	6,843	1,380	716	250	184	18	9,391	4.54	0.893	4.51	0.278
			72.87%	14.69%	7.62%	2.66%	1.96%	0.19%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,883	3,098	3,147	871	371	21	9,391	3.56	1.035	3.61	0.451
			20.05%	32.99%	33.51%	9.27%	3.95%	0.22%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,636	3,579	2,305	621	213	37	9,391	3.83	0.986	3.82	0.444
			28.07%	38.11%	24.54%	6.61%	2.27%	0.39%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	2,765	3,523	2,150	688	234	31	9,391	3.84	1.010	3.89	0.451
			29.44%	37.51%	22.89%	7.33%	2.49%	0.33%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,858	3,540	1,532	315	124	22	9,391	4.14	0.899	4.19	0.397
			41.08%	37.70%	16.31%	3.35%	1.32%	0.23%	100.00%				
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3,426	3,339	1,937	488	171	30	9,391	4.00	0.973	4.11	0.390
		36.48%	35.56%	20.63%	5.20%	1.82%	0.32%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	3,158	3,248	1,960	688	299	38	9,391	3.89	1.056	3.91	0.537	
		33.63%	34.59%	20.87%	7.33%	3.18%	0.40%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3,112	3,232	1,917	769	323	38	9,391	3.86	1.076	3.91	0.518	
		33.14%	34.42%	20.41%	8.19%	3.44%	0.40%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3,045	3,320	2,174	558	234	60	9,391	3.90	1.007	3.95	0.429	
		32.42%	35.35%	23.15%	5.94%	2.49%	0.64%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 31.09%)	1,677	2,045	2,152	386	161	50	9,391	3.73	0.995	3.77	0.379	
		17.86%	21.78%	22.92%	4.11%	1.71%	0.53%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,211	3,476	2,003	417	171	113	9,391	3.99	0.953	4.01	0.476	
		34.19%	37.01%	21.33%	4.44%	1.82%	1.20%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,669	2,739	2,251	951	412	369	9,391	3.70	1.135	3.76	0.558
			28.42%	29.17%	23.97%	10.13%	4.39%	3.93%	100.00%				
13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,989	3,156	2,126	504	214	402	9,391	3.91	1.000	3.98	0.415	
		31.83%	33.61%	22.64%	5.37%	2.28%	4.28%	100.00%					

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



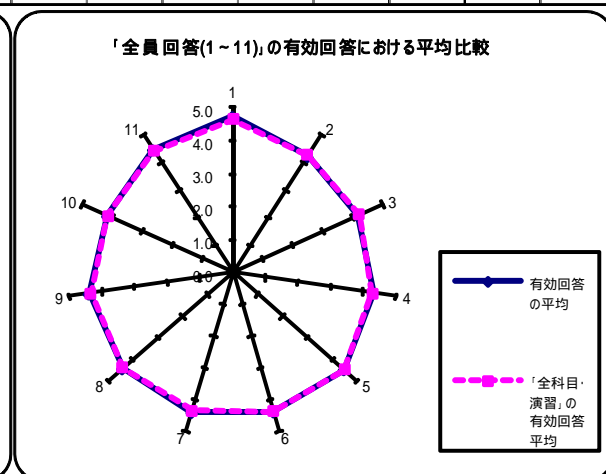
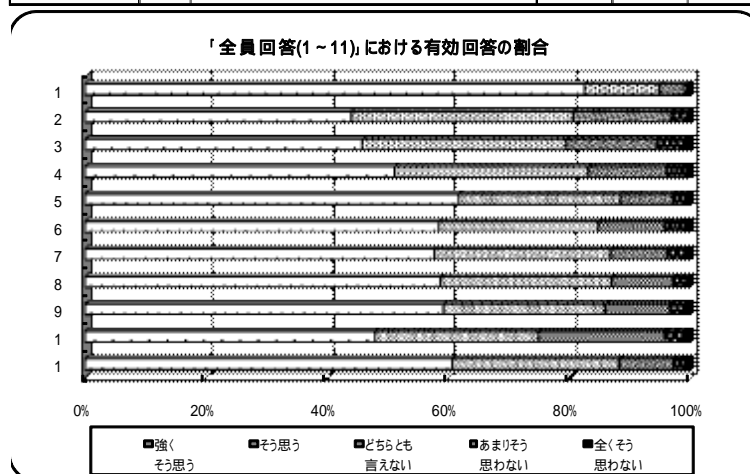
学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 法学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,671	2,351	71.08%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらと も 言えない	2 あまり そう 思わない	1 全く 思 わ な い			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,376	206	68	12	6	3	1,671	4.76	0.592	4.73	0.216
			82.35%	12.33%	4.07%	0.72%	0.36%	0.18%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	733	611	271	42	10	4	1,671	4.21	0.845	4.33	0.382
			43.87%	36.56%	16.22%	2.51%	0.60%	0.24%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	764	563	247	74	21	2	1,671	4.18	0.929	4.31	0.426
			45.72%	33.69%	14.78%	4.43%	1.26%	0.12%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	851	532	214	55	12	7	1,671	4.30	0.866	4.42	0.400
			50.93%	31.84%	12.81%	3.29%	0.72%	0.42%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,030	446	144	34	15	2	1,671	4.46	0.807	4.60	0.365
			61.64%	26.69%	8.62%	2.03%	0.90%	0.12%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	974	439	182	55	17	4	1,671	4.38	0.880	4.51	0.398
		58.29%	26.27%	10.89%	3.29%	1.02%	0.24%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	963	485	156	47	17	3	1,671	4.40	0.847	4.54	0.383	
		57.63%	29.02%	9.34%	2.81%	1.02%	0.18%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	979	471	168	37	12	4	1,671	4.42	0.816	4.55	0.363	
		58.59%	28.19%	10.05%	2.21%	0.72%	0.24%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	985	444	178	36	21	7	1,671	4.40	0.858	4.56	0.382	
		58.95%	26.57%	10.65%	2.15%	1.26%	0.42%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 27.29%)	580	326	252	36	16	5	1,671	4.17	0.947	4.22	0.465	
		34.71%	19.51%	15.08%	2.15%	0.96%	0.30%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,004	456	147	34	14	16	1,671	4.45	0.807	4.59	0.375	
		60.08%	27.29%	8.80%	2.03%	0.84%	0.96%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	880	410	183	35	16	147	1,671	4.38	0.860	4.47	0.423
			52.66%	24.54%	10.95%	2.09%	0.96%	8.80%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	827	456	180	37	17	154	1,671	4.34	0.863	4.44	0.420
			49.49%	27.29%	10.77%	2.21%	1.02%	9.22%	100.00%				



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 法学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.357(**)	1											
Q3	.180(**)	.535(**)	1										
Q4	.115(**)	.427(**)	.729(**)	1									
Q5	.152(**)	.420(**)	.512(**)	.544(**)	1								
Q6	.106(**)	.388(**)	.449(**)	.466(**)	.592(**)	1							
Q7	.128(**)	.467(**)	.697(**)	.693(**)	.621(**)	.561(**)	1						
Q8	.098(**)	.393(**)	.589(**)	.703(**)	.562(**)	.499(**)	.731(**)	1					
Q9	.171(**)	.540(**)	.602(**)	.548(**)	.581(**)	.501(**)	.652(**)	.588(**)	1				
Q10	.072(**)	.280(**)	.289(**)	.303(**)	.252(**)	.265(**)	.290(**)	.290(**)	.331(**)	1			
Q11	.168(**)	.538(**)	.684(**)	.669(**)	.678(**)	.583(**)	.786(**)	.693(**)	.735(**)	.326(**)	1		
Q12	.119(**)	.404(**)	.540(**)	.587(**)	.506(**)	.433(**)	.649(**)	.613(**)	.523(**)	.292(**)	.642(**)	1	
Q13	.140(**)	.403(**)	.549(**)	.567(**)	.542(**)	.468(**)	.636(**)	.580(**)	.546(**)	.303(**)	.658(**)	.681(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 法学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.190(**)	1											
Q3	0.044	.550(**)	1										
Q4	0.035	.495(**)	.710(**)	1									
Q5	0.045	.460(**)	.529(**)	.601(**)	1								
Q6	0.036	.451(**)	.536(**)	.564(**)	.648(**)	1							
Q7	0.023	.511(**)	.652(**)	.666(**)	.662(**)	.697(**)	1						
Q8	0.028	.452(**)	.561(**)	.618(**)	.600(**)	.607(**)	.763(**)	1					
Q9	0.013	.483(**)	.572(**)	.551(**)	.610(**)	.582(**)	.685(**)	.635(**)	1				
Q10	0.04	.335(**)	.363(**)	.341(**)	.297(**)	.263(**)	.332(**)	.307(**)	.324(**)	1			
Q11	0.045	.530(**)	.642(**)	.644(**)	.676(**)	.666(**)	.760(**)	.672(**)	.733(**)	.342(**)	1		
Q14	0.048	.383(**)	.469(**)	.506(**)	.550(**)	.521(**)	.553(**)	.538(**)	.478(**)	.254(**)	.580(**)	1	
Q15	0.037	.447(**)	.485(**)	.476(**)	.538(**)	.533(**)	.582(**)	.552(**)	.560(**)	.318(**)	.613(**)	.652(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 法学部

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.54	0.893	4.51	0.278	4.52	0.920	4.51	0.294	4.50	0.938	4.47	0.270	4.39	1.053	4.35	0.383	4.39	1.021	4.37	0.301
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.56	1.035	3.61	0.451	3.55	1.060	3.61	0.445	3.55	1.032	3.57	0.393	3.38	1.054	3.40	0.426	3.23	1.003	3.30	0.359
	3	この授業のレベルは適切である	3.83	0.986	3.82	0.444	3.80	0.999	3.82	0.484	3.78	1.024	3.78	0.459	3.68	1.030	3.69	0.471	4.12	1.302	4.13	0.542
	4	この授業を進める速さは適切である	3.84	1.010	3.89	0.451	3.81	1.030	3.89	0.449	3.80	1.045	3.82	0.451	3.70	1.069	3.74	0.483	4.08	1.359	4.20	0.582
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.14	0.899	4.19	0.397	4.14	0.917	4.21	0.407	4.15	0.907	4.19	0.391	4.07	0.941	4.08	0.408	3.88	0.949	3.93	0.436
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.00	0.973	4.11	0.390	4.02	0.969	4.12	0.370	4.00	0.967	4.09	0.360	3.92	1.003	4.00	0.384	3.79	1.020	3.88	0.452
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.89	1.056	3.91	0.537	3.89	1.056	3.93	0.550	3.86	1.080	3.88	0.539	3.75	1.111	3.79	0.552	3.55	1.122	3.64	0.592
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.86	1.076	3.91	0.518	3.87	1.071	3.94	0.523	3.85	1.092	3.88	0.548	3.74	1.132	3.81	0.580	3.51	1.150	3.63	0.599
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.90	1.007	3.95	0.429	3.90	1.009	4.00	0.455	3.93	1.003	3.98	0.436	3.79	1.050	3.87	0.469	3.62	1.048	3.73	0.504
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.73	0.995	3.77	0.379	3.66	1.002	3.75	0.371	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	3.99	0.953	4.01	0.476	3.96	0.964	4.02	0.483	3.99	0.985	4.02	0.465	3.87	1.013	3.91	0.496	3.71	1.022	3.80	0.536
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.70	1.135	3.76	0.558	3.68	1.126	3.78	0.510	3.69	1.129	3.73	0.504	3.61	1.135	3.62	0.557	3.31	1.157	3.43	0.607
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.91	1.000	3.98	0.415	3.86	1.013	3.95	0.409	3.89	1.009	3.92	0.382	3.77	1.039	3.83	0.464	3.58	1.045	3.73	0.496

部門名 法学部

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.76	0.592	4.73	0.216	4.74	0.617	4.74	0.267	4.70	0.629	4.69	0.269	4.69	0.659	4.66	0.371	4.70	0.628	4.64	0.390
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.21	0.845	4.33	0.382	4.11	0.896	4.22	0.402	4.09	0.895	4.18	0.390	4.25	0.791	4.28	0.347	4.06	0.843	4.07	0.405
	3	この授業のレベルは適切である	4.18	0.929	4.31	0.426	4.02	0.978	4.12	0.489	4.04	0.941	4.10	0.422	4.15	0.893	4.16	0.453	4.14	1.189	4.16	0.540
	4	この授業を進める速さは適切である	4.30	0.866	4.42	0.400	4.18	0.916	4.25	0.478	4.19	0.880	4.25	0.367	4.32	0.811	4.33	0.368	4.57	0.960	4.56	0.407
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.46	0.807	4.60	0.365	4.37	0.864	4.49	0.404	4.39	0.831	4.45	0.379	4.55	0.693	4.58	0.320	4.40	0.743	4.42	0.368
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.38	0.880	4.51	0.398	4.29	0.910	4.42	0.430	4.30	0.885	4.40	0.387	4.50	0.709	4.54	0.291	4.34	0.810	4.40	0.374
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.40	0.847	4.54	0.383	4.27	0.928	4.39	0.478	4.29	0.905	4.40	0.429	4.48	0.735	4.50	0.347	4.28	0.866	4.33	0.443
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.42	0.816	4.55	0.363	4.33	0.905	4.43	0.474	4.34	0.903	4.43	0.431	4.49	0.727	4.52	0.320	4.35	0.830	4.42	0.384
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.40	0.858	4.56	0.382	4.29	0.914	4.41	0.448	4.34	0.850	4.44	0.382	4.53	0.715	4.58	0.315	4.38	0.784	4.43	0.402
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.17	0.947	4.22	0.465	4.05	1.014	4.08	0.481	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.45	0.807	4.59	0.375	4.33	0.856	4.45	0.437	4.36	0.852	4.45	0.404	4.54	0.701	4.56	0.319	4.41	0.787	4.44	0.429
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.38	0.860	4.47	0.423	4.29	0.885	4.40	0.419	4.26	0.887	4.32	0.447	4.48	0.755	4.49	0.343	4.33	0.835	4.38	0.406
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.34	0.863	4.44	0.420	4.24	0.923	4.34	0.443	4.22	0.929	4.29	0.457	4.42	0.791	4.46	0.386	4.24	0.899	4.30	0.510

． 経 済 学 部

ここでは2011年度授業評価アンケート集計結果のうち、経済学部に関する内容や、質問項目間の相関係数から推測される評価項目の間の関連性を紹介し、さらに2011年度のデータを過去5年分の結果と比較することで、FDの方向性を検討する。

A) 集計データから読み取れること

1. 「総合評価の高さ」と高い相関を見せている項目

まず「Q11 総合評価」について考察を行う。講義に関しては、平均値が4.18、演習(少人数教育)に関しては4.63と高い値を示している。2006年度から集計してきた平均値は、講義に関しては毎年増加しており、今年度の値は昨年度の4.16を再度上回った。演習に関しては2009年度まで増加して昨年度減少しているが、最高値であった2009年度の4.61を今年度は上回っている。このように、今年度の平均値は標準偏差を考えると誤差の範囲である可能性は排除できないものの、講義・演習共に歴代最高値を達成した。

次に、「総合評価」がどの他の項目と高い相関を見せているかであるが、講義に関しては1位「Q7 理解しやすい授業」(相関係数は.819)、2位「Q9 知的好奇心の刺激、新しいものの見方の取得」(.762)、3位「Q8 教員の話し方」(.746)となっている。特にQ7とQ8は相互に関連しており(.781)、教員の話すスピードや聞き取りやすさが理解しやすさに影響を与える因果関係の存在を示唆している。

演習に関しては1位「Q7 理解しやすい授業」(.723)、2位「Q9 知的好奇心の刺激、新しいものの見方の取得」(.698)が高く、くしくも講義と同じ順位となった。また「Q8 教員の話し方」(.640)は5位であったが、Q8と高い相関(.742)を持つことは講義の結果と同様であった。

これにより、学生が講義に関しても演習に関しても分かりやすく知識が習得できる授業を期待していることが表れていると考えられる。

また、その他にQ11 総合評価と0.6以上の相関係数を持っている項目としては、講義については「Q3 レベルの適切さ」(.720)、「Q4 授業の速さの適切さ」(.720)、「Q5 教員の熱意」(.691)、「Q6 教室の教員による環境保全」(.652)、「Q12 板書やスライド提示の適切さ」(.695)、「Q13 教材内容の適切さ」(.687)であり、演習についてはQ5(.646)、Q6(.645)があった。

2. 総合評価と高相関であった項目と関連が高い項目

それでは、総合評価と関連が高かった項目に関して、他のどの項目と相関が高かったかについて検討してみる。

まず講義においては、「Q7 理解しやすい授業」との関連性は上記したQ8(.781)の他には、

「Q3 レベルの適切さ」(.730)と「Q4 授業の速さの適切さ」(.734)が最も高かった。これら 2 つの項目同士も .780 という相関係数を持っており、学生の理解度を把握しつつ授業を行うために、適度なレベルとスピードを設定しておくことの重要性が示唆された。なお、この関係性は演習でも .700 と高い相関を見せている。

「Q8 教員の話し方」に関しては、Q7 以外では 0.6 以上 0.7 未満の相関を持っている項目が Q3、Q4、「Q5 教員の熱意」、「Q6 教室の教員による環境保全」、Q8、「Q12 板書やスライド提示の適切さ」、「Q13 教材内容の適切さ」となった。また、「Q9 知的好奇心の刺激、新しいものの見方の取得」についても同様であるが Q7 に対しては .703 であった。これらに関しては突出しているわけではないが、評価への幅広い影響を、話し方や知識の提供が学生に与えることが分かった。

次に演習においては、上記のように「Q7 理解しやすい授業」は「Q8 教員の話し方」と高相関(.742)しているが、それ以外には Q3、Q4、Q5、Q6、Q9 と 0.6 以上 0.7 未満の相関を持っていた。このように、演習においても講義ほどではないが同様の傾向が見られることが分かった。

これらの結果により、総合評価に対して高相関を持っている項目は、総合評価と 0.6 以上の相関係数を持っている項目との相関が高く、それぞれの項目が授業の質を上げていくために重要であることが示唆されたと言える。

3. 授業への「出席率」と「意欲」、そして「シラバス」について

それでは、アンケート項目に存在するが上記の分析には出てこなかった 3 項目について考察を行う。まず「Q1 授業への出席率」について見る。講義においてもっとも相関が強いのが「Q2 意欲」(.364)であり、それ以外は統計的に有意で正である相関係数ではあるが .077 から .131 の間に収まる緩い相関となっている。演習においても Q2 が .257 と最も高く、その他は Q3 と Q4 以外統計的に有意に正であるとは言えなかった。なお、「Q20 私は授業に遅刻したことがない」という項目は講義・演習双方において .465 そして .381 と正の相関があった。意欲が高い学生は出席もし、出席する学生は遅刻も少ないことが考えられる。

その「意欲」であるが、講義・演習共に、Q3 から Q13 まで演習の「Q10 シラバスの有用性」を除いて全ての項目で .343 から .547 の正の有意な相関が見られた。「Q1 出席率」より「意欲」のほうが総合評価に関係する項目との関係性が高いと思われる。講義では特に Q3(.545)と Q9(.547)が高い。学生にとって、授業に意欲的に取り組むことにより、レベルを適切と感じ、知的好奇心を刺激されるケースが多いと言えるだろう。

最後に「Q10 シラバスの有用性」であるが、Q2 から Q13 までの項目に対し、講義では .271 から .385、演習では .178 から .255 の相関係数を得られた。このようにシラバスの有用性が総合評価やそれに関連する項目に与える影響は必ずしも大きくなく、またその影響は講義より演習の方が小さいことが言えると考えられる。

第2章 各部門の評価・分析

4. 過去5年間の結果との比較

本年度の結果を、過去5年間の結果と比較して、どのような傾向があるかを考察する。

図1はアンケートの各項目の平均値を2つの基準で示したものを講義・演習ともに示している。「回答者ベース」では全ての回答を単純に集計している。それに対して「科目ベース」では科目ごとにまとめたものを平均することにより、履修者数の多い科目が与える強い影響を軽減する意図がある。ここで得られた結果は2つの基準による大きな違いはないと推測される。

図1

講義		2011		2010		2009		2008		2007	
番号	質問内容	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目
1	私はこの授業によく出席している	4.45	4.46	4.43	4.39	4.42	4.36	4.34	4.35	4.34	4.33
2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.65	3.81	3.61	3.75	3.53	3.60	3.44	3.59	3.32	3.52
3	この授業のレベルは適切である	3.82	3.98	3.79	3.95	3.74	3.82	3.71	3.82	4.17*	4.21*
4	この授業を進める速さは適切である	3.84	4.03	3.82	4.02	3.75	3.89	3.73	3.87	4.21*	4.36*
5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.17	4.30	4.17	4.30	4.15	4.19	4.06	4.15	3.97	4.09
6	教員は教室が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている	4.00	4.21	4.05	4.24	3.97	4.08	3.91	4.05	3.84	4.05
7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.92	4.12	3.93	4.13	3.87	3.99	3.84	3.96	3.72	3.90
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3.97	4.16	3.97	4.14	3.92	4.05	3.90	4.03	3.78	3.97
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.88	4.09	3.82	4.07	3.81	3.97	3.78	3.93	3.66	3.87
10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.82	3.95	3.75	3.85	-	-	-	-	-	-
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.99	4.18	3.98	4.16	3.95	4.07	3.93	4.04	3.82	3.99
12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.89	4.06	3.92	4.04	3.84	3.90	3.80	3.89	3.63	3.80
13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.96	4.11	3.97	4.12	3.90	3.99	3.89	3.98	3.75	3.90

演習		2011		2010		2009		2008		2007	
番号	質問内容	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目
1	私はこの授業によく出席している	4.80	4.75	4.75	4.74	4.79	4.75	4.78	4.75	4.80	4.75
2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.48	4.48	4.38	4.41	4.44	4.43	4.34	4.36	4.23	4.24
3	この授業のレベルは適切である	4.41	4.42	4.34	4.36	4.35	4.36	4.27	4.30	4.41*	4.41*
4	この授業を進める速さは適切である	4.49	4.49	4.41	4.45	4.44	4.45	4.32	4.33	4.65*	4.67*
5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.62	4.63	4.58	4.61	4.61	4.61	4.49	4.51	4.31	4.31
6	教員は教室が学習にふさわしい状態	4.60	4.60	4.54	4.57	4.55	4.56	4.46	4.47	4.34	4.35
7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.57	4.58	4.53	4.55	4.56	4.57	4.47	4.49	4.33	4.34
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.60	4.62	4.55	4.58	4.59	4.60	4.51	4.51	4.37	4.37
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.58	4.59	4.50	4.52	4.56	4.58	4.48	4.50	4.33	4.36
10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.32	4.33	4.20	4.23	-	-	-	-	-	-
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.62	4.63	4.55	4.57	4.60	4.61	4.52	4.54	4.41	4.42
14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.53	4.54	4.50	4.50	4.52	4.53	4.46	4.43	4.30	4.31
15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.54	4.57	4.50	4.51	4.53	4.55	4.48	4.47	4.33	4.33

* 2007年度のQ3とQ4はその後に集計方法が違ふことに留意する必要がある。

まず講義でも演習でも、回答者ベースと科目ベースの平均値の双方について、全ての項目において、2011年度が最高になっているか、2010年度が最高で2011年度が少々減少したものの歴代で2位の高さになっているかのどちらかであることが分かる。標準偏差の値から、この上昇や若干の減少に統計的意味がどこまであるかは疑問が残るところであるが、全ての項目が上昇傾向にあるという結果について統計的有意性があるかを分析すれば、あるという結論が導かれると容易に想定される。

次に、2011年度の結果を2007年度からの各年と(集計方法が違ふQ3とQ4は2008年度か

らと)比較して得られることを述べる。(以下、回答者ベースの平均値について言及していく。)まず講義であるが、「Q1 出席」、「Q2 意欲」、「Q3 レベル」、「Q4 速さ」、「Q5 教員の熱意」、「Q8 教員の話し方」、「Q9 知的好奇心の習得」、「Q11 総合評価」については各年上昇している。その中で、Q2 が 0.33 と 2007 年度からの上昇値が最も大きく、学生の意欲が年々高まっているという良い傾向が見られる。他方、「Q6 教室環境」、「Q7 理解しやすい授業」、「Q12 板書やスライド提示方法」、「Q13 教材内容」については、昨年度から減少したと言ってもその値は大きくない。ただ、Q6 は 0.05 下がっており、誤差の範囲の可能性は否めないものの、来年度もこの傾向が続くようであれば、教室内の環境保全について注意をする必要が出てくるかもしれない。

次に演習であるが、実にすべての項目において過去最高値を達成している。傾向としては 2009 年度に高かった平均点が 2010 年度に少し減少し、2011 年度にその減少分以上増加している。総合評価が 2007 年度の 4.41 から 2011 年度は 4.62 と大きく上がっており、また全体的に講義より演習の平均点が大幅に大きいことから、経済学部の少人数教育は順調に行われていると考えられる。

最後に、昨年度から導入された「Q10 シラバスの履修への有用性」であるが、0.1 点程度の上昇が見られた。この項目については来年度以降も傾向を確認し、シラバスの正確な記述への促進に繋げていければと考えられる。

B) 今後の授業改善に向けて

以上の分析をまとめて今後の授業改善に向けたい。まず、講義については学生が授業を評価する際に「理解しやすいこと」、「知的好奇心が刺激され、新しいものの見方が得られること」、「教員の話し方が工夫されていること」が最も重要な指標とされている。これらを引き続き維持・改善していくことが重要である。また、他の項目も同様であるが、昨年度から平均値が減少した項目、特に教室内の環境保全について注意をする必要があるか今年度のアンケートに注視する必要があるだろう。

演習に関しても、理解のしやすさと知的好奇心の刺激は重要な変数であり、これらもこれら、そして他の項目も高水準を維持していくことを心掛けたい。平均値はある程度高く、講義に比べても 0.6 ほど平均で高いことから、演習は効果的かつ高評価であることが示唆されるが、さらなる目標としてすべての項目の平均値が 4.5 を超えることを置いてこの節のまとめとしたい。

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

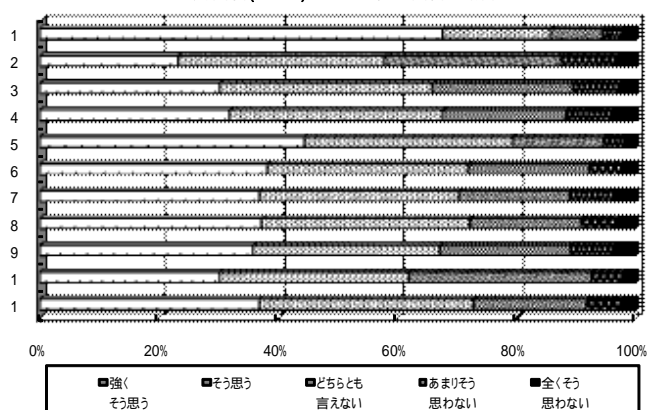
部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	7,267	22,026	32.99%

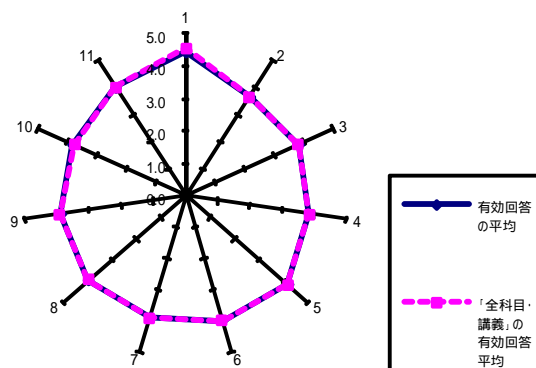
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率40%以下	4,902	1,321	618	232	181	13	7,267	4.45	0.954	4.46	0.306
			67.46%	18.18%	8.50%	3.19%	2.49%	0.18%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,686	2,501	2,150	662	248	20	7,267	3.65	1.040	3.81	0.489
			23.20%	34.42%	29.59%	9.11%	3.41%	0.28%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,186	2,581	1,708	553	215	24	7,267	3.82	1.039	3.98	0.505
			30.08%	35.52%	23.50%	7.61%	2.96%	0.33%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	2,311	2,591	1,494	550	301	20	7,267	3.84	1.084	4.03	0.503
			31.80%	35.65%	20.56%	7.57%	4.14%	0.28%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,216	2,537	1,098	255	134	27	7,267	4.17	0.936	4.30	0.420
			44.25%	34.91%	15.11%	3.51%	1.84%	0.37%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	2,766	2,443	1,466	392	173	27	7,267	4.00	1.008	4.21	0.441
		38.06%	33.62%	20.17%	5.39%	2.38%	0.37%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,666	2,427	1,338	526	277	33	7,267	3.92	1.088	4.12	0.562	
		36.69%	33.40%	18.41%	7.24%	3.81%	0.45%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	2,691	2,529	1,344	422	244	37	7,267	3.97	1.046	4.16	0.503	
		37.03%	34.80%	18.49%	5.81%	3.36%	0.51%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	2,578	2,258	1,580	505	287	59	7,267	3.88	1.096	4.09	0.538	
		35.48%	31.07%	21.74%	6.95%	3.95%	0.81%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 29.68%)	1,525	1,603	1,546	260	119	57	7,267	3.82	0.997	3.95	0.433	
		20.99%	22.06%	21.27%	3.58%	1.64%	0.78%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,631	2,558	1,352	409	183	134	7,267	3.99	1.009	4.18	0.506	
		36.20%	35.20%	18.60%	5.63%	2.52%	1.84%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,467	2,288	1,388	551	237	336	7,267	3.89	1.082	4.06	0.522
			33.95%	31.48%	19.10%	7.58%	3.26%	4.62%	100.00%				
13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,469	2,424	1,449	376	183	366	7,267	3.96	1.011	4.11	0.476	
		33.98%	33.36%	19.94%	5.17%	2.52%	5.04%	100.00%					
経済学部共通・ 経済・経営学科	20	私は授業に遅刻したことがない	2,191	1,244	962	682	687	1,501	7,267	3.62	1.396	3.59	0.500
			30.15%	17.12%	13.24%	9.38%	9.45%	20.66%	100.00%				
21	高校で履修した数学科目	0	849	4,005	603	242	1,568	7,267	-	-	-	-	
		0.00%	11.68%	55.11%	8.30%	3.33%	21.58%	100.00%					

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

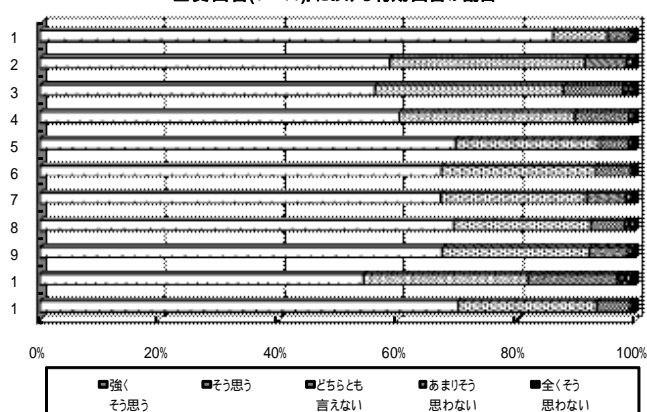
部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,484	1,785	83.14%

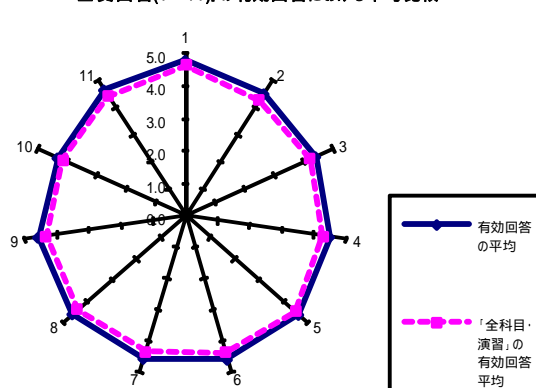
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率40%以下	1,277	136	54	13	3	1	1,484	4.80	0.556	4.75	0.317
			86.05%	9.16%	3.64%	0.88%	0.20%	0.07%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	870	486	103	18	5	2	1,484	4.48	0.709	4.48	0.306
			58.63%	32.75%	6.94%	1.21%	0.34%	0.13%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	834	469	147	26	7	1	1,484	4.41	0.777	4.42	0.368
			56.20%	31.60%	9.91%	1.75%	0.47%	0.07%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	895	437	134	16	2	0	1,484	4.49	0.715	4.49	0.317
			60.31%	29.45%	9.03%	1.08%	0.13%	0.00%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,035	359	71	13	5	1	1,484	4.62	0.651	4.63	0.311
			69.74%	24.19%	4.78%	0.88%	0.34%	0.07%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,000	384	88	9	3	0	1,484	4.60	0.648	4.60	0.280
		67.39%	25.88%	5.93%	0.61%	0.20%	0.00%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	998	363	96	19	8	0	1,484	4.57	0.719	4.58	0.366	
		67.25%	24.46%	6.47%	1.28%	0.54%	0.00%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,029	341	83	24	5	2	1,484	4.60	0.701	4.62	0.352	
		69.34%	22.98%	5.59%	1.62%	0.34%	0.13%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	999	366	96	13	7	3	1,484	4.58	0.695	4.59	0.325	
		67.32%	24.66%	6.47%	0.88%	0.47%	0.20%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 27.43%)	580	294	160	24	9	10	1,484	4.32	0.869	4.33	0.470	
		39.08%	19.81%	10.78%	1.62%	0.61%	0.67%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,030	342	80	11	5	16	1,484	4.62	0.656	4.63	0.339	
		69.41%	23.05%	5.39%	0.74%	0.34%	1.08%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	928	343	116	26	4	67	1,484	4.53	0.747	4.54	0.379
			62.53%	23.11%	7.82%	1.75%	0.27%	4.51%	100.00%				
15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	930	355	103	18	8	70	1,484	4.54	0.734	4.57	0.360	
		62.67%	23.92%	6.94%	1.21%	0.54%	4.72%	100.00%					
経済学部共通 経済・経営学科	20	私は授業に遅刻したことがない	629	198	113	78	85	381	1,484	4.10	1.281	4.00	0.661
			42.39%	13.34%	7.61%	5.26%	5.73%	25.67%	100.00%				
21	高校で履修した数学科目	0	182	753	92	43	414	1,484	-	-	-	-	
		0.00%	12.26%	50.74%	6.20%	2.90%	27.90%	100.00%					

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 経済学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.364(**)	1													
Q3	.125(**)	.545(**)	1												
Q4	.084(**)	.451(**)	.780(**)	1											
Q5	.124(**)	.434(**)	.565(**)	.572(**)	1										
Q6	.112(**)	.413(**)	.542(**)	.555(**)	.631(**)	1									
Q7	.077(**)	.463(**)	.730(**)	.734(**)	.664(**)	.654(**)	1								
Q8	.090(**)	.423(**)	.645(**)	.692(**)	.621(**)	.623(**)	.781(**)	1							
Q9	.131(**)	.547(**)	.662(**)	.621(**)	.609(**)	.572(**)	.703(**)	.652(**)	1						
Q10	.080(**)	.343(**)	.358(**)	.358(**)	.271(**)	.324(**)	.350(**)	.326(**)	.385(**)	1					
Q11	.120(**)	.523(**)	.720(**)	.691(**)	.652(**)	.819(**)	.746(**)	.762(**)	.375(**)	.375(**)	1				
Q12	.112(**)	.426(**)	.581(**)	.599(**)	.574(**)	.539(**)	.682(**)	.627(**)	.582(**)	.320(**)	.695(**)	1			
Q13	.127(**)	.437(**)	.597(**)	.585(**)	.586(**)	.543(**)	.671(**)	.610(**)	.582(**)	.320(**)	.687(**)	.767(**)	1		
Q20	.465(**)	.309(**)	.106(**)	.054(**)	.097(**)	.083(**)	.067(**)	.067(**)	.102(**)	.132(**)	.091(**)	.102(**)	.111(**)	1	
Q21	0.002	.050(**)	0.024	0.006	-.027(*)	-.017	0	-.01	.037(**)	0.008	0.009	-.023	-.004	0.014	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

「上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なっています。」

相関係数表 部門名 経済学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q13	Q14	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.257(**)	1													
Q3	.071(**)	.523(**)	1												
Q4	.054(**)	.447(**)	.700(**)	1											
Q5	0.018	.364(**)	.480(**)	.573(**)	1										
Q6	0.026	.446(**)	.529(**)	.571(**)	.646(**)	1									
Q7	0.02	.419(**)	.601(**)	.640(**)	.635(**)	.653(**)	1								
Q8	-0.005	.394(**)	.538(**)	.599(**)	.602(**)	.612(**)	.742(**)	1							
Q9	0.015	.440(**)	.527(**)	.527(**)	.544(**)	.560(**)	.629(**)	.597(**)	1						
Q10	0.035	.199(**)	.199(**)	.164(**)	.178(**)	.219(**)	.223(**)	.200(**)	.255(**)	1					
Q11	0.024	.445(**)	.598(**)	.597(**)	.646(**)	.645(**)	.723(**)	.640(**)	.698(**)	.240(**)	.240(**)	1			
Q12	0.048	.392(**)	.442(**)	.390(**)	.471(**)	.488(**)	.513(**)	.482(**)	.504(**)	.194(**)	.571(**)	.194(**)	1		
Q13	0.022	.362(**)	.442(**)	.445(**)	.560(**)	.488(**)	.569(**)	.535(**)	.532(**)	.211(**)	.580(**)	.625(**)	.211(**)	1	
Q20	.381(**)	.229(**)	.070(*)	.062(*)	0.032	0.054	0.039	0.006	0.036	.110(**)	-.009	0.057	0.029	1	
Q21	-0.026	0.037	-0.006	-0.022	0.006	0.019	0.008	0.021	-0.004	-0.024	0.009	0.022	-0.001	-0.009	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

「上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なっています。」

【全員回答】

- Q1 私はこの授業によく出席している
- Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q3 この授業のレベルについて
- Q4 この授業を進める速さについて
- Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q10 この授業のシラバスは受講に役立つ(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の場合のみ回答】

- Q20 私は授業に遅刻したことがない
- Q21 高校で履修した数学科目(数・数・数、数・数、数のみ、その他)

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.45	0.954	4.46	0.306	4.43	0.979	4.39	0.364	4.42	0.969	4.36	0.368	4.34	1.061	4.35	0.402	4.34	1.065	4.33	0.422
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.65	1.040	3.81	0.489	3.61	1.035	3.75	0.501	3.53	1.062	3.60	0.468	3.44	1.057	3.59	0.531	3.32	1.060	3.52	0.605
	3	この授業のレベルは適切である	3.82	1.039	3.98	0.505	3.79	1.016	3.95	0.458	3.74	1.052	3.82	0.493	3.71	1.016	3.82	0.502	4.17	1.270	4.21	0.613
	4	この授業を進める速さは適切である	3.84	1.084	4.03	0.503	3.82	1.026	4.02	0.472	3.75	1.082	3.89	0.503	3.73	1.043	3.87	0.491	4.21	1.268	4.36	0.511
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.17	0.936	4.30	0.420	4.17	0.900	4.30	0.437	4.15	0.941	4.19	0.451	4.06	0.946	4.15	0.496	3.97	0.951	4.09	0.499
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.00	1.008	4.21	0.441	4.05	0.956	4.24	0.438	3.97	0.984	4.08	0.446	3.91	0.993	4.05	0.476	3.84	1.005	4.05	0.489
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.92	1.088	4.12	0.562	3.93	1.027	4.13	0.502	3.87	1.101	3.99	0.549	3.84	1.073	3.96	0.581	3.72	1.096	3.90	0.574
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.97	1.046	4.16	0.503	3.97	1.010	4.14	0.456	3.92	1.049	4.05	0.486	3.90	1.024	4.03	0.496	3.78	1.046	3.97	0.527
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.88	1.096	4.09	0.538	3.82	1.069	4.07	0.526	3.81	1.098	3.97	0.533	3.78	1.077	3.93	0.558	3.66	1.092	3.87	0.569
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.82	0.997	3.95	0.433	3.75	0.992	3.85	0.386	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	3.99	1.009	4.18	0.506	3.98	0.968	4.16	0.484	3.95	1.020	4.07	0.509	3.93	0.997	4.04	0.527	3.82	1.035	3.99	0.543
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.89	1.082	4.06	0.522	3.92	1.030	4.04	0.469	3.84	1.084	3.90	0.529	3.80	1.082	3.89	0.528	3.63	1.122	3.80	0.599
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.96	1.011	4.11	0.476	3.97	0.975	4.12	0.439	3.90	1.038	3.99	0.489	3.89	1.008	3.98	0.468	3.75	1.058	3.90	0.527
「経済」 のみ	20	私は授業に遅刻したことがない	3.62	1.396	3.59	0.500	3.50	1.409	3.48	0.498	3.48	1.409	3.41	0.538	3.34	1.417	3.37	0.534	3.40	1.411	3.32	0.593
	21	高校で履修した数学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	2.97	0.640	2.93	0.225	2.95	0.653	2.91	0.253	2.98	0.594	2.98	0.280

部門名 経済学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.80	0.556	4.75	0.317	4.75	0.631	4.74	0.302	4.79	0.563	4.75	0.319	4.78	0.605	4.75	0.343	4.80	0.576	4.75	0.344
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.48	0.709	4.48	0.306	4.38	0.791	4.41	0.359	4.44	0.741	4.43	0.333	4.34	0.829	4.36	0.391	4.23	0.817	4.24	0.386
	3	この授業のレベルは適切である	4.41	0.777	4.42	0.368	4.34	0.847	4.36	0.431	4.35	0.794	4.36	0.404	4.27	0.860	4.30	0.416	4.41	1.064	4.41	0.443
	4	この授業を進める速さは適切である	4.49	0.715	4.49	0.317	4.41	0.795	4.45	0.379	4.44	0.724	4.45	0.339	4.32	0.851	4.33	0.421	4.65	0.905	4.67	0.337
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.62	0.651	4.63	0.311	4.58	0.678	4.61	0.340	4.61	0.664	4.61	0.323	4.49	0.825	4.51	0.454	4.31	0.854	4.31	0.517
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.60	0.648	4.60	0.280	4.54	0.686	4.57	0.283	4.55	0.708	4.56	0.300	4.46	0.802	4.47	0.396	4.34	0.826	4.35	0.433
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.57	0.719	4.58	0.366	4.53	0.719	4.55	0.362	4.56	0.713	4.57	0.350	4.47	0.812	4.49	0.429	4.33	0.893	4.34	0.516
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.60	0.701	4.62	0.352	4.55	0.693	4.58	0.325	4.59	0.669	4.60	0.320	4.51	0.780	4.51	0.418	4.37	0.831	4.37	0.454
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.58	0.695	4.59	0.325	4.50	0.759	4.52	0.379	4.56	0.711	4.58	0.332	4.48	0.814	4.50	0.421	4.33	0.864	4.36	0.477
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.32	0.869	4.33	0.470	4.20	0.934	4.23	0.458	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	4.62	0.656	4.63	0.339	4.55	0.700	4.57	0.379	4.60	0.658	4.61	0.338	4.52	0.772	4.54	0.421	4.41	0.826	4.42	0.480
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が発表に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.53	0.747	4.54	0.379	4.50	0.760	4.50	0.404	4.52	0.731	4.53	0.359	4.46	0.798	4.43	0.448	4.30	0.877	4.31	0.510
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.54	0.734	4.57	0.360	4.50	0.772	4.51	0.395	4.53	0.717	4.55	0.342	4.48	0.776	4.47	0.434	4.33	0.839	4.33	0.438
「経済」 のみ	20	私は授業に遅刻したことがない	4.10	1.281	4.00	0.661	3.97	1.323	3.96	0.597	3.93	1.333	3.87	0.585	3.98	1.305	3.89	0.730	3.89	1.330	3.76	0.710
	21	高校で履修した数学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	0.610	3.01	0.204	3.00	0.654	3.00	0.240	2.98	0.593	2.98	0.216

III. 文学部

1. 集計データから分かること

はじめに実施状況と結果データの利用について触れておきたい。今回(2011年度)の実施率は98.38%であり、昨年とほぼ同じ水準であった。実際の回答者は、講義については7,691名(総履修者の60.8%)、演習については6,091名(同77.88%)、合計では14,782名(同67.32%)であった。演習ではほぼ平年並みだったが、講義では昨年より1,426人(4ポイント)の上昇が見られた。得られた結果は、各授業科目で、質問項目に対する選択肢別(「強くそう思う」を5、「全くそう思わない」を1などとしたもの)の回答者数、その割合、それを数値化した平均値を出し、さらにその全体の平均値を参考値として併せ示したものを授業担当教員にフィードバックした。

各教員および学科では、これを基本資料の一つとして、授業の改善に恒常的に取り組む態勢をとっている。ここでは、質問項目毎の学部全体の平均値(「科目ベース」)を、講義と演習という授業形態別に扱い、「授業評価アンケート」に表れた授業の姿を点検する。末尾には、「集計結果」、質問項目の「相関係数表」、「経年変化比較表」を示した。

集計結果については、多くの学生が「そう思う」あるいは「強くそう思う」と答え、肯定的な評価になっていること、すなわち評価の平均値が4.00を超えていることを一つの目安として点検していきたい。その点からみると、講義科目では<Q2 学生の意欲的取り組み>が3.68、<Q10 役に立つシラバス>が3.94、と2項目のみが4.0を下回っている。演習科目では、4.00を下回った質問項目は存在しなかった。

一方、講義科目では<Q1 出席>4.45 や<Q5 教員の熱意>4.38 をはじめとし、<Q8 話し方の適切さ>4.22、<Q9 好奇心の刺激、新しい見方の獲得>4.21、<Q11 総合的に高い評価>4.21 のように、残る全ての項目が4.00を超えた。また演習科目では、<Q1 出席>4.59、<Q5 教員の熱意>4.51 をはじめとし、<Q9 好奇心の刺激、新しい見方の獲得>4.36、<Q11 総合的に高い評価>4.43 など、全項目が4.00を超えていた。しかも微増ではあるが、そのほとんどが昨年度の数値を上回っていた。

次に、4.00を下回った2つの項目について検討を加える。第1は、講義科目のQ2(質問項目名「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)」)の数値が3.68にとどまったことである。この数値の低さは、学生の意欲を掻き立てるべく教師の側がなんらかの対策をさらに行う余地のあることを示していよう。しかし、当然のことながら、学生の熱意の薄さは、教師の側が行う授業改善のみで解決できない教育全体を覆う大きな問題である。ここではアンケートそのものが抱える問題を指摘するに止めよう。

そもそもアンケートのほかの質問がすべて教師の授業運営の問題に向けられているのに対して、Q2 のみが異質で、授業にたいする学生の取り組みを問うている。ある教育研究によれば（教員の個人的な経験からしてもそうだが）、授業に意欲的でない学生ほど教壇から離れた後ろの席に座ることが多く、さらにそうした学生は授業そのものに批判的な評価を下す傾向にあるという。とすれば、これが「笛吹けど踊らず」という状況をつくりだしているとも言えるし、また学生の意欲の問題が教師の授業運営の客観的評価を歪めているとも言える。この点に関しては、Q2 のアンケート項目で「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」と答えた学生が他の質問でどのような答え方をしているかを抽出し、それを全体的な数値と比較すると、興味深い結果が現れるのではないか。こうした分析の結果によっては、対策の新たな視野が開かれると思われる。

なお、過去の経年変化を見ると、3.47、3.37、3.53、3.61、3.68、3.68 と推移しており、数値に若干の改善傾向が見られる。相関係数表からは、この項目と関連を持つ項目は見つからない。なお、この項目で「どちらとも言えない」・「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」と答えた学生の割合は合計約 44%にのぼる。この事実は、講義科目に対する学生の姿を映し出す数値として注目に値する。講義科目はおもに教師の語ることばを聴くということが中心になる授業の性格上、学生は受け身にならざるをえず、熱意を持ちにくい面を持つ。このことは演習科目の〈Q2 学生の意欲的取り組み〉に見られる数値の高さと比較してみれば明らかである。ここから言えるのは、講義科目においても「質疑応答」「ミニレポートの提出」などを利用して学生の意欲を引き出すなどの工夫の余地があることである。またもうひとつは「少人数教育」の有効性である。演習のような「顔の見える」授業では学生の熱意はとうぜん上がる。したがって、講義科目・演習科目ともに少人数化をさらに推し進める必要があるのではなからうか。

第 2 に、〈Q10 役に立つシラバス〉の 3.94 についてである。この質問項目は前回のアンケートではじめて設けられ、実際の項目名は「この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください）」とされた。この「0」をマークした学生は別に集計されており、講義科目で 28.5%、演習科目では 29.93%であって、昨年度よりも増えている。また「シラバスを読まなかった」学生の数値をもし加えるとすれば、〈役に立つシラバス〉3.94 の数値はさらに大きく低下することになる。

ここで注目すべきは、この項目で「あまりそう思わない」あるいは「全くそう思わない」と回答した学生の割合が講義科目で 3.73%、演習科目で 2.31%と低いこと、昨年度よりもその割合はさらに減少していることである。すなわち、シラバスを読んだ人の中では、明確にネガティブな回答をした学生が少ないのである。このことは、シラバス利用の指導が不足していたことを窺わせる。しかし一方、「読まなかった人」の割合に、「全くそう思わない」から「どちらとも言えない」までの割合を加えると、講義科目で 52.76%、演習科目で 46.93%にのぼる。いずれもおよそ半数の学生が、シラバスの利用必要性または有用性

第2章 各部門の評価・分析

に関して、否定的評価や疑問を表明したこととなるのであり、改善すべき課題が潜んでいる可能性が否定できない。なお相関係数表からは、この項目と関連を持つ他の項目は見つからない。

ついでながら、昨年度 4.0 未満だったもので今回 4.0 以上になったものがあることを付け加えておきたい。それは講義科目の<Q12 板書・スライド>で、数値は 3.94 が 4.05 になった。相関係数表によれば、この質問「板書の仕方やスライド提示の仕方が適切である」に関する係数では、Q12<適切な教材>、Q7<理解しやすい授業>、Q11<総合的評価>との間の数値がやや高く、何らかの関連があることが窺われる。過去 5 年の経年変化では、数値が 33.66、3.78、3.89、3.94、4.05 と推移してきており、緩やかにではあるが、改善傾向にあると推察される。

以上の検討から、問題点としては、講義科目における学生のやや消極的な姿と、講義科目・演習科目の両方におけるシラバスの利用と有用性に関する課題が見えた。しかし一方、このアンケート全 28 項目（講義科目 13 項目、演習科目 15 項目）のうち、先に触れた 2 項目を除いた 26 項目において、多くの学生が「そう思う」あるいは「強くそう思う」と回答し、すなわち良好であると評価していた。4.0 を上回った 26 の質問項目において、昨年度の数値を下回ったのは講義に関する質問の<Q5 教員の熱意>、<Q10 役に立つシラバス>の 2 項目だが、その減少はごくわずかで有意なものとはいえない。また演習に関しては、<Q9 好奇心の刺激、新しい見方の獲得>が昨年度の同じ数値だったのみで、あとはすべて昨年度を上回っている。また、それらの項目は、授業内容の評価に関わる<Q9 好奇心の刺激、新しい見方の獲得>や<Q11 総合的に高い評価>を含め、経年変化を見た場合にも、ほぼ上昇傾向にある。これらから、文学部の授業科目は全般に、安定的に良好な評価を得ているとすることができる。

2. 今後の取り組みについて

昨年このレポートで触れた実施率の維持の問題については、昨年度と同じ数値で、一応の歯止めがかかった。学生の目に映った授業の有り様を数値で把握する本アンケートは、上記のように授業の実施と成果について一通りの点検ができる点で、一定の有効性をもつ。今後とも継続的に実施の意義について確認し、実施率を維持していくことが求められよう。

一方、既にほとんどの項目で多くの学生が「そう思う」あるいは「強くそう思う」と表明している中で、数値を上昇させるための方策を追い求めて事足りりとしてしまえば、研究教育の実質を踏み外してしまうことにもなりかねない。多角的な点検・評価方法（例えば、成果事項の意識的な把握・公表や、外部の標準・指針・試験の活用等）により材料を集積しながら、立体的に、またやや長い時間の中で授業を見つめ、磨き上げていくことが必要ではないだろうか。

今回の点検では、新たにシラバスの利用と有用性に関する課題の存在が浮かび上がった。2年目だということもあり、必ずしもその問題を具体的に掴むには至っていないが、他の様々な授業システムに関連する可能性もある。その背景事情等を丁寧に検討し、授業改善のヒントとする必要がある。

第2章 各部門の評価・分析

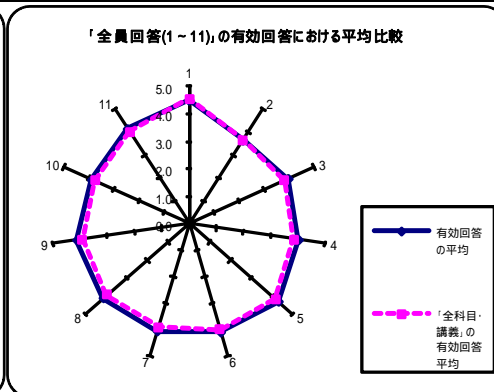
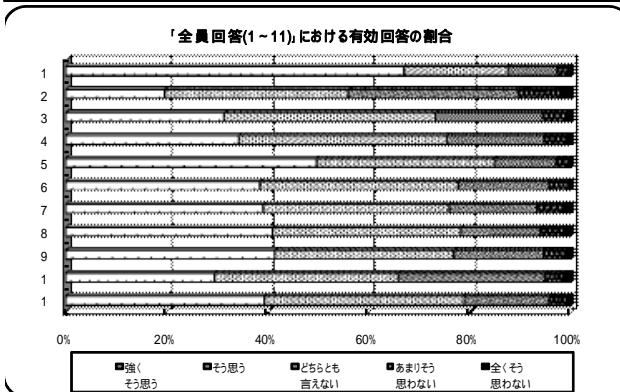
学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

形態名 講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	7,691	12,650	60.80%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5	4	3	2	1	学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						無回答
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	5,145	1,581	746	156	59	4	7,691	4.51	0.811	4.45	0.258
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,506	2,788	2,574	640	169	14	7,691	3.63	0.962	3.68	0.369
	3	この授業のレベルは適切である	2,406	3,209	1,627	345	91	13	7,691	3.98	0.901	4.04	0.359
	4	この授業を進める速さは適切である	2,632	3,160	1,469	335	83	12	7,691	4.03	0.897	4.12	0.347
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,815	2,703	931	178	52	12	7,691	4.31	0.822	4.38	0.354
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	2,952	3,010	1,375	275	64	15	7,691	4.11	0.878	4.21	0.331
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,998	2,818	1,332	390	129	24	7,691	4.07	0.957	4.17	0.413
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3,140	2,857	1,202	353	117	22	7,691	4.11	0.935	4.22	0.400
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,160	2,710	1,354	315	104	48	7,691	4.11	0.930	4.21	0.374
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 28.50%)	1,610	1,984	1,579	196	91	39	7,691	3.88	0.930	3.94	0.342
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,990	3,007	1,274	256	76	88	7,691	4.13	0.877	4.21	0.382
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,672	2,680	1,546	503	130	160	7,691	3.96	0.991	4.05	0.434
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,923	2,912	1,305	264	83	204	7,691	4.11	0.891	4.18	0.362
			38.01%	37.86%	16.97%	3.43%	1.08%	2.65%	100.00%				



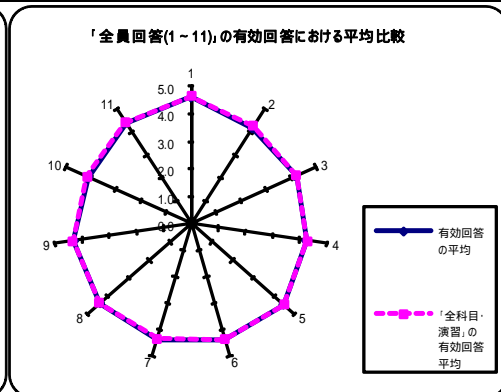
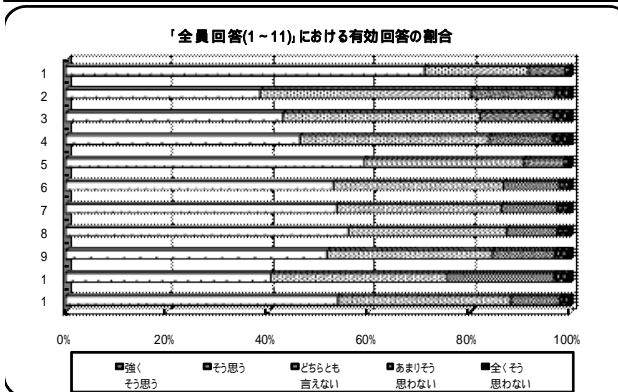
学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

形態名 演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	6,091	7,821	77.88%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80-80% 3:出席率70-70% 2:出席率60-50% 1:出席率40%以下	4,322	1,253	435	64	9	8	6,091	4.61	0.679	4.59	0.274
			70.96%	20.57%	7.14%	1.05%	0.15%	0.13%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,343	2,535	1,010	158	33	12	6,091	4.15	0.826	4.17	0.321
			38.47%	41.62%	16.58%	2.59%	0.54%	0.20%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,616	2,369	867	184	42	13	6,091	4.21	0.845	4.23	0.356
			42.95%	38.89%	14.23%	3.02%	0.69%	0.21%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	2,820	2,273	761	179	44	14	6,091	4.26	0.840	4.29	0.369
			46.30%	37.32%	12.49%	2.94%	0.72%	0.23%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,590	1,918	477	64	27	15	6,091	4.48	0.723	4.51	0.323
			58.94%	31.49%	7.83%	1.05%	0.44%	0.25%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3,225	2,037	669	114	32	14	6,091	4.37	0.793	4.40	0.318
		52.95%	33.44%	10.98%	1.87%	0.53%	0.23%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	3,263	1,975	668	120	47	18	6,091	4.36	0.814	4.41	0.394	
		53.57%	32.42%	10.97%	1.97%	0.77%	0.30%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3,401	1,901	603	123	45	18	6,091	4.40	0.805	4.44	0.375	
		55.84%	31.21%	9.90%	2.02%	0.74%	0.30%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3,137	1,979	747	137	61	30	6,091	4.32	0.849	4.36	0.373	
		51.50%	32.49%	12.26%	2.25%	1.00%	0.49%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 29.93%)	1,718	1,477	895	102	39	37	6,091	4.12	0.885	4.12	0.383	
		28.21%	24.25%	14.69%	1.67%	0.64%	0.61%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,235	2,055	577	99	37	88	6,091	4.39	0.777	4.43	0.361	
		53.11%	33.74%	9.47%	1.63%	0.61%	1.44%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3,179	1,928	636	108	35	205	6,091	4.38	0.795	4.42	0.362
			52.19%	31.65%	10.44%	1.77%	0.57%	3.37%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組みのを助けた	3,232	1,898	594	107	45	215	6,091	4.39	0.801	4.43	0.370
			53.06%	31.16%	9.75%	1.76%	0.74%	3.53%	100.00%				



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 文学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.296(**)	1											
Q3	.130(**)	.544(**)	1										
Q4	.083(**)	.440(**)	.725(**)	1									
Q5	.114(**)	.402(**)	.526(**)	.567(**)	1								
Q6	.079(**)	.405(**)	.509(**)	.540(**)	.598(**)	1							
Q7	.063(**)	.446(**)	.694(**)	.696(**)	.625(**)	.603(**)	1						
Q8	.057(**)	.395(**)	.610(**)	.677(**)	.608(**)	.587(**)	.755(**)	1					
Q9	.134(**)	.526(**)	.600(**)	.562(**)	.594(**)	.529(**)	.649(**)	.606(**)	1				
Q10	.048(**)	.287(**)	.299(**)	.287(**)	.233(**)	.262(**)	.302(**)	.293(**)	.334(**)	1			
Q11	.107(**)	.520(**)	.684(**)	.683(**)	.672(**)	.612(**)	.782(**)	.722(**)	.741(**)	.334(**)	1		
Q12	.067(**)	.413(**)	.548(**)	.595(**)	.537(**)	.533(**)	.651(**)	.616(**)	.553(**)	.302(**)	.657(**)	1	
Q13	.095(**)	.422(**)	.601(**)	.614(**)	.566(**)	.538(**)	.664(**)	.631(**)	.581(**)	.282(**)	.680(**)	.729(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.348(**)	1											
Q3	.167(**)	.540(**)	1										
Q4	.125(**)	.436(**)	.718(**)	1									
Q5	.122(**)	.392(**)	.539(**)	.607(**)	1								
Q6	.122(**)	.405(**)	.509(**)	.582(**)	.654(**)	1							
Q7	.104(**)	.416(**)	.637(**)	.682(**)	.698(**)	.673(**)	1						
Q8	.125(**)	.376(**)	.593(**)	.665(**)	.658(**)	.616(**)	.795(**)	1					
Q9	.149(**)	.466(**)	.566(**)	.550(**)	.593(**)	.535(**)	.636(**)	.615(**)	1				
Q10	.037(**)	.230(**)	.268(**)	.279(**)	.232(**)	.246(**)	.274(**)	.257(**)	.331(**)	1			
Q11	.148(**)	.490(**)	.652(**)	.677(**)	.715(**)	.657(**)	.769(**)	.728(**)	.720(**)	.298(**)	1		
Q14	.152(**)	.425(**)	.487(**)	.531(**)	.583(**)	.552(**)	.610(**)	.574(**)	.545(**)	.242(**)	.644(**)	1	
Q15	.126(**)	.403(**)	.516(**)	.543(**)	.617(**)	.569(**)	.657(**)	.615(**)	.557(**)	.246(**)	.669(**)	.714(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.51	0.811	4.45	0.258	4.43	0.870	4.40	0.303	4.37	0.916	4.38	0.345	4.39	0.915	4.38	0.312	4.45	0.873	4.40	0.312
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.63	0.962	3.68	0.369	3.60	0.974	3.68	0.386	3.53	0.974	3.61	0.355	3.44	0.986	3.53	0.413	3.29	0.972	3.37	0.437
	3	この授業のレベルは適切である	3.98	0.901	4.04	0.359	3.94	0.929	4.03	0.387	3.90	0.916	3.96	0.342	3.80	0.948	3.82	0.410	4.28	1.175	4.25	0.490
	4	この授業を進める速さは適切である	4.03	0.897	4.12	0.347	3.98	0.952	4.08	0.429	3.97	0.911	4.03	0.359	3.87	0.948	3.93	0.406	4.41	1.095	4.45	0.461
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.31	0.822	4.38	0.354	4.34	0.802	4.39	0.345	4.29	0.819	4.34	0.322	4.27	0.839	4.33	0.372	4.09	0.893	4.16	0.461
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.11	0.878	4.21	0.331	4.11	0.880	4.19	0.326	4.05	0.893	4.11	0.335	4.00	0.908	4.07	0.362	3.87	0.945	3.96	0.432
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.07	0.957	4.17	0.413	4.03	0.991	4.14	0.444	3.99	0.989	4.07	0.409	3.91	1.027	3.97	0.472	3.74	1.078	3.83	0.564
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.11	0.935	4.22	0.400	4.06	0.986	4.18	0.453	4.07	0.940	4.13	0.404	3.99	0.987	4.07	0.456	3.81	1.037	3.89	0.533
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.11	0.930	4.21	0.374	4.10	0.953	4.20	0.398	4.09	0.933	4.19	0.372	4.04	0.978	4.12	0.419	3.91	0.987	4.00	0.467
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.88	0.930	3.94	0.342	3.83	0.937	3.88	0.369	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.13	0.877	4.21	0.382	4.10	0.908	4.20	0.401	4.10	0.893	4.18	0.371	4.04	0.939	4.10	0.438	3.91	0.960	4.00	0.488
'講義' '語学' のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.96	0.991	4.05	0.434	3.82	1.074	3.94	0.508	3.81	1.044	3.89	0.481	3.70	1.084	3.78	0.528	3.57	1.111	3.66	0.587
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.11	0.891	4.18	0.362	4.03	0.963	4.12	0.427	4.00	0.941	4.08	0.411	3.95	0.957	4.01	0.432	3.84	0.967	3.93	0.470

部門名 文学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.61	0.679	4.59	0.274	4.57	0.725	4.55	0.304	4.58	0.701	4.58	0.301	4.56	0.747	4.54	0.284	4.52	0.762	4.48	0.335
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.15	0.826	4.17	0.321	4.11	0.839	4.13	0.344	4.07	0.846	4.09	0.352	4.01	0.882	4.04	0.371	3.84	0.893	3.89	0.426
	3	この授業のレベルは適切である	4.21	0.845	4.23	0.356	4.18	0.845	4.21	0.374	4.14	0.859	4.16	0.363	4.02	0.925	4.05	0.414	4.29	1.141	4.26	0.548
	4	この授業を進める速さは適切である	4.26	0.840	4.29	0.369	4.22	0.859	4.25	0.393	4.20	0.845	4.23	0.373	4.10	0.905	4.14	0.401	4.49	1.033	4.51	0.420
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.48	0.723	4.51	0.323	4.47	0.721	4.50	0.345	4.48	0.699	4.51	0.312	4.42	0.769	4.46	0.366	4.26	0.807	4.31	0.425
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.37	0.793	4.40	0.318	4.34	0.797	4.38	0.343	4.34	0.780	4.37	0.324	4.27	0.838	4.33	0.356	4.14	0.862	4.22	0.410
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.36	0.814	4.41	0.394	4.33	0.842	4.36	0.425	4.31	0.832	4.34	0.394	4.22	0.908	4.29	0.461	4.11	0.924	4.18	0.475
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.40	0.805	4.44	0.375	4.38	0.800	4.41	0.391	4.36	0.802	4.38	0.384	4.27	0.864	4.33	0.415	4.13	0.925	4.21	0.459
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.32	0.849	4.36	0.373	4.33	0.826	4.36	0.376	4.32	0.827	4.34	0.389	4.24	0.898	4.31	0.445	4.17	0.901	4.22	0.448
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.12	0.885	4.12	0.383	4.05	0.907	4.06	0.401	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.39	0.777	4.43	0.361	4.36	0.781	4.39	0.384	4.38	0.765	4.41	0.363	4.29	0.841	4.35	0.419	4.19	0.861	4.24	0.454
'演習' '語学' のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.38	0.795	4.42	0.362	4.35	0.809	4.39	0.386	4.32	0.814	4.36	0.373	4.20	0.883	4.27	0.433	4.08	0.908	4.14	0.478
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.39	0.801	4.43	0.370	4.35	0.820	4.38	0.387	4.33	0.808	4.37	0.365	4.24	0.855	4.30	0.406	4.11	0.902	4.17	0.441

理学部

1. 集計データからわかること

理学部では、平成21年度に生命科学科が開設され、物理学科、化学科、数学科と合わせて4学科体制となった。平成23年度は生命科学科が開設されて3年目となり、生命科学科の専門科目が第3学年分まで開講された年度である。

講義

- 回収率は54.53%であり、昨年度の52.34%と比較して、2%程度の増加となった。
- 学生の「出席状況」は良好であり、93.36%の学生が出席率80%以上と回答した。経年変化をみると、回答者ベースの平均、科目ベースの平均ともに、過去5年で最も高い数字となった（回答者ベースで4.73、科目ベースで4.69）。また、標準偏差を見ても、平成23年度は回答者ベースの標準偏差が0.666、科目ベースの標準偏差が0.222と過去5年で最も小さくなった。これらより、授業に出席する学生が増加しており、さらに、出席する学生の出席率は非常に高いことがわかる。
- 授業に対する取り組みでは、56.96%の学生が意欲的に取り組んでいると回答している。過去5年と比較すると、平成23年度の平均値は、回答者ベースでも科目ベースでも最も高い値であった。理学部の講義科目は、初学者にとっては難解な概念を教員が説明するという受け身の授業になりがちであることを考慮すると、意欲的に取り組む学生の割合は高く、また、経年変化でも意欲的に取り組む学生が増えていることは、授業改善の成果が現れているものと思われる。
- 授業のレベル、進める速さが適切である（「強く思う」、「そう思う」と回答した学生は、各々53.8%、56.77%であったものの、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答した学生が、16.38%、15.31%であった。「教員は理解しやすい授業を行っている」との設問には、58.48%の学生が「強く思う」、「そう思う」と回答し、15.38%の学生が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答している。経年変化では、いずれの項目でも改善が見られるものの、全体の1/6程度の学生が、「授業のレベル」、「進める速さ」が適切ではなく、授業を理解しにくいと感じていることがわかる。
- 「教員の熱意を感じるか」という質問には、73.75%の学生が「強く思う」または「そう思う」と回答し、「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」という回答者の割合は6.05%であった。平均値の経年変化をみると、平成23年度は過去5年で最も高い数字となった。
- 「教員による良好な学習環境の維持」、「教員の話し方」、「板書・スライドの提示の仕

- 方「教材の適切性」については、6割以上の学生が「強くそう思う」または「そう思う」と回答している(それぞれの項目の数字は、66.19%、63.21%、61.22%、61.18%)。一方で、1割程度の学生が「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と回答している(それぞれの項目の数字は、8.38%、13.05%、12.63%、9.11%)。これらは概ね良好な結果であるものの、改善の余地があることを示すものと解釈される。
- 「知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られた」という項目についても、過去5年間で最も高い平均値となっており、着実な改善を示している。
- シラバスについては、48.17%が読まなかったと回答しているが、役に立たなかったという回答(「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」)は4.53%であり、読めば役に立つという評価を得ているといえる。
- 総合的に見て高く評価できるかという質問に対しては、63.25%の学生が「強くそう思う」または「そう思う」と回答し、9.95%の学生が「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と回答している。昨年度のこれらの数字は、62.28%と9.68%であり、高い評価の学生と低い評価の学生ともに増加している。平均値でみると、平成23年度は過去5年間で最も高い評価となっている一方、標準偏差も昨年度より大きくなっている。但し、標準偏差は過去5年間の中間的な(3番目の)値である。相関係数表をみると、この「総合的な評価」は質問番号3~9の回答と高い相関があり、特に質問番号7の「教員は理解しやすい授業を行っている」との相関が強い。理解できない授業の評価が低くなることは当然といえるが、容易には理解できない高度な内容を教えることをためらう方向に教育内容が変わってしまうことは、より良い教育を行うという最も重要な観点との整合性に留意する必要があると思われる。

演習

- 回収率は64.75%であり、昨年度の55.30%と比較して、約10%程度の増加となった。平成21年度の回収率は65.48%であったので、一昨年度並に戻ったといえる。
- 学生の「出席状況」は講義と同じく非常に良好であり、92.53%の学生が80%以上の出席率、70%未満の出席率と回答した学生の割合は3.21%であった。この3年間の経年変化を見ると、平均値はほぼ横ばいであるものの、標準偏差は大きくなっており、学生間の違いが大きくなっていることを示唆している。
- 7割近くの学生が、教員の熱意や教員による課題参加への助力を感じ、意欲的に演習に取り組んでいる。

教員の熱意が感じられる：「強くそう思う」、「そう思う」が74.02%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が5.89%。

教員による課題参加への助力：69.76%が「強くそう思う」、「そう思う」、5.3%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。

意欲的な取り組み：74.8%が「強くそう思う」、「そう思う」、5.89%が「あまりそう

第2章 各部門の評価・分析

思わない」,「全くそう思わない」。

- 授業のレベル、進度は約 65%の学生が適切と評価し、ついて行けないと感じている学生は 10%以下。

授業のレベルは適切である：「強くそう思う」,「そう思う」が 65.9%、「あまりそう思わない」,「全くそう思わない」が 9.43%。

授業を進める速さの適切さ：「強くそう思う」,「そう思う」が 64.99%、「あまりそう思わない」,「全くそう思わない」が 7.98%。

- 良好な学習環境の維持、理解しやすい授業、話し方、知的好奇心の喚起、発言・議論の喚起についても 65%以上の学生から高い評価。

教員による良好な学習環境の維持：「強くそう思う」,「そう思う」が 69.74%、「あまりそう思わない」,「全くそう思わない」が 7.79%。

理解しやすい授業：67.15%が「強くそう思う」,「そう思う」, 8.25%が「あまりそう思わない」,「全くそう思わない」。

教員の話し方：69.96%が「強くそう思う」,「そう思う」, 6.28%が「あまりそう思わない」,「全くそう思わない」。

知的好奇心の喚起：61.78%が「強くそう思う」,「そう思う」, 7.47%が「あまりそう思わない」,「全くそう思わない」。

教員による参加者の発言・議論の喚起：65.85%が「強くそう思う」,「そう思う」, 7.2%が「あまりそう思わない」,「全くそう思わない」。

- 総合評価では、70%以上の学生が授業を高く評価し、6%程度の学生が低く評価している。

総合的な評価：71.92%が「強くそう思う」,「そう思う」, 6.09%が「あまりそう思わない」,「全くそう思わない」。

- 平均値の経年変化を見ると、平成 23 年度は平成 22 年度とほぼ同じである。平成 22 年度は、「出席率」,「授業への意欲的な取り組み」,「授業レベルの適切さ」,「教員の熱意」,「教員による良好な学習環境の維持」,「理解しやすい授業」,「教員の話し方」,「知的好奇心の喚起」,「教員による発言・議論の喚起」,「教員による課題参加への助力」,及び「総合評価」が過去 5 年で最も高い数値となり、最も低い数値となった項目は無かったという結果であったので、平成 23 年度は、過去 5 年間継続した改善がほぼ横ばいとなったといえる。

2. 今後の授業改善に向けて

講義科目の 2011 年度の授業評価アンケートの平均値は、全 13 項目の質問中 11 項目で過去 5 年間の最高点であった。残る 2 項目は、「この授業のレベルは適切である」と「この授業を進める速さは適切である」であり、これら 2 つの平均値は 2007 年度に最も高く、2008 年度と 2009 年度に低くなったあと、2010 年度と 2011 年度にかけ

て上昇するという推移であった。

演習科目については、2010年度に全13項目中12項目で過去5年で最も高い平均値となった。2011年度は、回答者ベースでは5項目で2010年度とまったく同じ平均値となり、科目ベースでは5項目で2010年度よりもさらに高い平均値となった。2011年度の回収率が2010年度よりも10%程度高かったことと合わせると、2011年度は2010年度に引き続き改善の傾向であったといえる。例外となる質問項目は「この授業のレベルは適切である」であり、2007年度の平均値が最も高い結果であった。この項目の経年変化は、講義科目と同様である。

授業のレベルと進度の適切性については、2002年度（高校は2003年度）から施行された学習指導要領の影響を考慮する必要がある。2011年度に大学3年生であった学生は、2002年度に小学校6年生であった場合が多数であり、2007年度に大学3年生であった学生は、2002年度に高校1年生であった場合が多数である。2002年度から実施された学習指導要領は、学習内容が大幅に削減されており、私立学校と公立学校の学習内容の差が大きくなったといわれている。学習院大学理学部では、高校と大学のギャップを小さくするための1年生用の科目を新設するなどの対応を行なっているが、卒業時点の到達レベルを組織的に見なおすことは行われていない。過去5年間は、より低い年齢から2002年度実施学習指導要領で学んできた学生の割合が年々増える中で、授業改善の試みを行ってきたといえ、上述のように、多くの質問項目の平均が上昇していることは、その試みが全体として成果を上げていることを示している。

懸念される点としては、学生間の違いが大きくなっている兆候があることである。講義については、およそ6分の1の学生が授業を理解し難いと感じているという結果となっており、回収率が55%弱であることを考慮すると、その割合は更に多いことが推測される。少人数教育であるという学習院大学理学部の特長を生かして、引き続き改善を図っていくことが必要であろう。

第2章 各部門の評価・分析

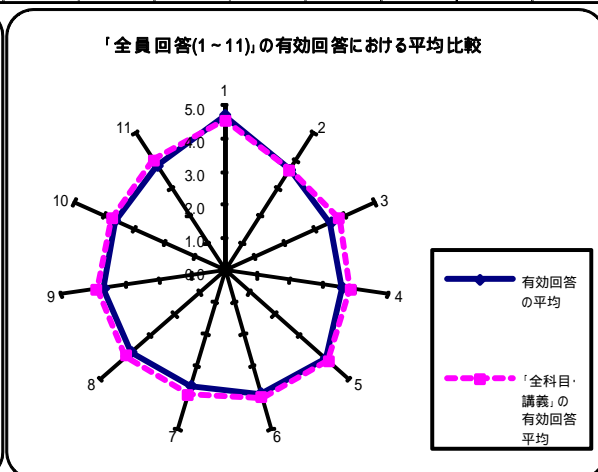
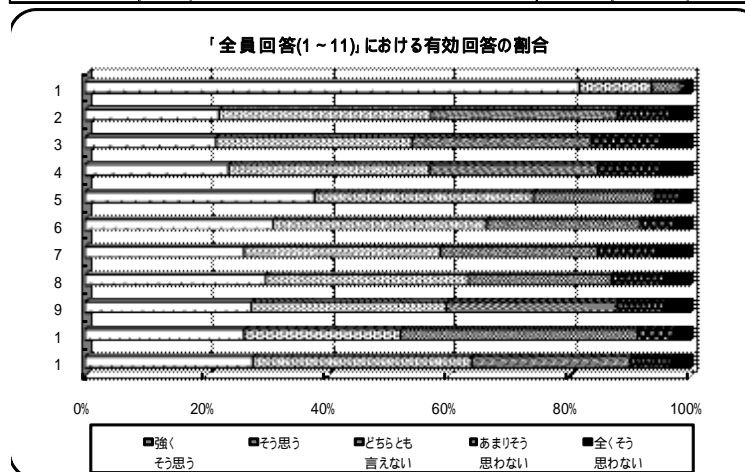
学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 理学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	4,773	8,753	54.53%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース							
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差				
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	3,889	567	224	46	37	10	4,773	4.73	0.666	4.69	0.222				
			81.48%	11.88%	4.69%	0.96%	0.78%	0.21%	100.00%								
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,055	1,664	1,468	406	167	13	4,773					3.64	1.027	3.65	0.385
			22.10%	34.86%	30.76%	8.51%	3.50%	0.27%	100.00%								
	3	この授業のレベルは適切である	1,031	1,537	1,407	537	245	16	4,773					3.54	1.103	3.62	0.508
			21.60%	32.20%	29.48%	11.25%	5.13%	0.34%	100.00%								
	4	この授業を進める速さは適切である	1,129	1,581	1,319	488	243	13	4,773					3.60	1.107	3.72	0.503
			23.65%	33.12%	27.63%	10.22%	5.09%	0.27%	100.00%								
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,804	1,716	946	192	97	18	4,773					4.04	0.960	4.11	0.425
			37.80%	35.95%	19.82%	4.02%	2.03%	0.38%	100.00%								
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,479	1,680	1,200	266	134	14	4,773					3.86	1.011	3.95	0.429
		30.99%	35.20%	25.14%	5.57%	2.81%	0.29%	100.00%									
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,250	1,541	1,231	458	276	17	4,773	3.64	1.139	3.73	0.576					
		26.19%	32.29%	25.79%	9.60%	5.78%	0.36%	100.00%									
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,419	1,598	1,115	410	213	18	4,773	3.76	1.106	3.86	0.551					
		29.73%	33.48%	23.36%	8.59%	4.46%	0.38%	100.00%									
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,303	1,526	1,332	367	212	33	4,773	3.70	1.087	3.79	0.474					
		27.30%	31.97%	27.91%	7.69%	4.44%	0.69%	100.00%									
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 48.17%)	644	634	957	145	71	23	4,773	3.67	1.020	3.71	0.395					
		13.49%	13.28%	20.05%	3.04%	1.49%	0.48%	100.00%									
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,313	1,706	1,233	322	153	46	4,773	3.78	1.028	3.86	0.502					
		27.51%	35.74%	25.83%	6.75%	3.21%	0.96%	100.00%									
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,380	1,542	1,074	409	194	174	4,773	3.76	1.101	3.84	0.525				
			28.91%	32.31%	22.50%	8.57%	4.06%	3.65%	100.00%								
13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,367	1,553	1,233	277	158	185	4,773	3.81	1.039	3.86	0.446					
		28.64%	32.54%	25.83%	5.80%	3.31%	3.88%	100.00%									



学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

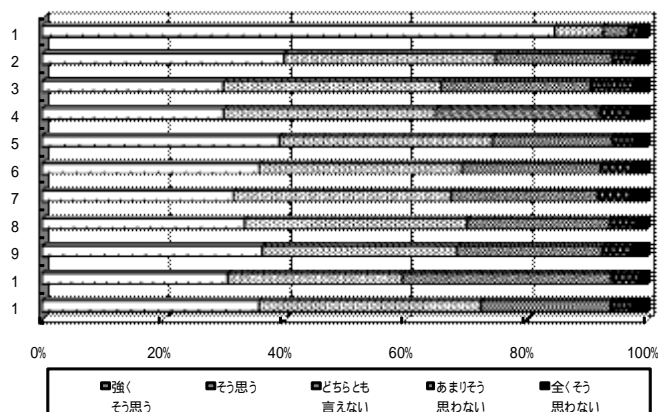
部門名 理学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,528	2,360	64.75%

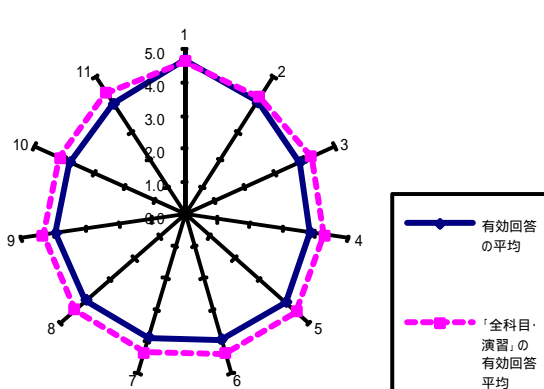
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く 思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない					部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,292	122	63	26	23	2	1,528	4.73	0.752	4.66	0.416
			84.55%	7.98%	4.12%	1.70%	1.51%	0.13%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	610	533	293	58	32	2	1,528	4.07	0.964	4.03	0.463
			39.92%	34.88%	19.18%	3.80%	2.09%	0.13%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	458	549	376	104	40	1	1,528	3.84	1.014	3.83	0.400
			29.97%	35.93%	24.61%	6.81%	2.62%	0.07%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	459	534	411	79	43	2	1,528	3.84	1.003	3.81	0.398
			30.04%	34.95%	26.90%	5.17%	2.81%	0.13%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	597	534	300	57	33	7	1,528	4.06	0.966	4.01	0.368
			39.07%	34.95%	19.63%	3.73%	2.16%	0.46%	100.00%				
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	548	510	348	75	44	3	1,528	3.95	1.021	3.91	0.408
		35.86%	33.38%	22.77%	4.91%	2.88%	0.20%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	481	545	367	80	46	9	1,528	3.88	1.014	3.82	0.420	
		31.48%	35.67%	24.02%	5.24%	3.01%	0.59%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	510	559	357	65	31	6	1,528	3.95	0.960	3.92	0.345	
		33.38%	36.58%	23.36%	4.25%	2.03%	0.39%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	551	486	364	69	45	13	1,528	3.94	1.025	3.90	0.471	
		36.06%	31.81%	23.82%	4.52%	2.95%	0.85%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 45.62%)	252	236	283	37	12	11	1,528	3.83	0.968	3.82	0.362	
		16.49%	15.45%	18.52%	2.42%	0.79%	0.72%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	544	555	324	51	42	12	1,528	3.99	0.978	3.95	0.425	
		35.60%	36.32%	21.20%	3.34%	2.75%	0.79%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	452	492	371	70	40	103	1,528	3.87	1.006	3.86	0.431
			29.58%	32.20%	24.28%	4.58%	2.62%	6.74%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	586	480	273	50	31	108	1,528	4.08	0.967	4.05	0.432
			38.35%	31.41%	17.87%	3.27%	2.03%	7.07%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 理学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.270(**)	1											
Q3	.103(**)	.561(**)	1										
Q4	.085(**)	.470(**)	.766(**)	1									
Q5	.138(**)	.413(**)	.525(**)	.593(**)	1								
Q6	.110(**)	.415(**)	.535(**)	.584(**)	.667(**)	1							
Q7	.086(**)	.484(**)	.730(**)	.740(**)	.633(**)	.649(**)	1						
Q8	.104(**)	.424(**)	.609(**)	.712(**)	.638(**)	.627(**)	.774(**)	1					
Q9	.135(**)	.537(**)	.607(**)	.615(**)	.596(**)	.572(**)	.663(**)	.638(**)	1				
Q10	0.025	.282(**)	.300(**)	.285(**)	.223(**)	.264(**)	.286(**)	.260(**)	.337(**)	1			
Q11	.132(**)	.533(**)	.714(**)	.739(**)	.694(**)	.676(**)	.804(**)	.751(**)	.735(**)	.309(**)	1		
Q12	.104(**)	.420(**)	.566(**)	.659(**)	.585(**)	.602(**)	.710(**)	.717(**)	.585(**)	.267(**)	.718(**)	1	
Q13	.109(**)	.452(**)	.598(**)	.621(**)	.568(**)	.575(**)	.663(**)	.628(**)	.591(**)	.264(**)	.701(**)	.739(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 理学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.465(**)	1											
Q3	.248(**)	.585(**)	1										
Q4	.233(**)	.551(**)	.764(**)	1									
Q5	.243(**)	.498(**)	.623(**)	.680(**)	1								
Q6	.244(**)	.493(**)	.595(**)	.647(**)	.691(**)	1							
Q7	.216(**)	.506(**)	.663(**)	.722(**)	.705(**)	.678(**)	1						
Q8	.221(**)	.465(**)	.607(**)	.682(**)	.667(**)	.661(**)	.770(**)	1					
Q9	.283(**)	.585(**)	.625(**)	.654(**)	.592(**)	.660(**)	.651(**)		1				
Q10	.062(*)	.207(**)	.259(**)	.261(**)	.236(**)	.236(**)	.293(**)	.261(**)	.290(**)	1			
Q11	.261(**)	.548(**)	.684(**)	.711(**)	.728(**)	.691(**)	.776(**)	.739(**)	.735(**)	.255(**)	1		
Q14	.215(**)	.427(**)	.547(**)	.574(**)	.593(**)	.570(**)	.648(**)	.629(**)	.573(**)	.283(**)	.649(**)	1	
Q15	.263(**)	.455(**)	.562(**)	.587(**)	.616(**)	.551(**)	.673(**)	.666(**)	.626(**)	.216(**)	.693(**)	.706(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立つ(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 理学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.73	0.666	4.69	0.222	4.67	0.742	4.63	0.265	4.64	0.758	4.60	0.252	4.54	0.881	4.53	0.287	4.57	0.872	4.57	0.322
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.64	1.027	3.65	0.385	3.60	1.024	3.61	0.333	3.50	1.028	3.52	0.334	3.47	1.017	3.50	0.381	3.38	0.983	3.41	0.377
	3	この授業のレベルは適切である	3.54	1.103	3.62	0.508	3.52	1.109	3.56	0.482	3.41	1.128	3.44	0.504	3.43	1.096	3.45	0.507	3.72	1.471	3.71	0.666
	4	この授業を進める速さは適切である	3.60	1.107	3.72	0.503	3.60	1.107	3.66	0.478	3.47	1.123	3.54	0.517	3.49	1.108	3.55	0.535	3.86	1.479	3.95	0.726
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.04	0.960	4.11	0.425	4.03	0.970	4.09	0.408	3.89	1.042	3.94	0.459	3.91	1.017	3.98	0.543	3.95	0.935	4.04	0.468
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.86	1.011	3.95	0.429	3.83	1.014	3.90	0.395	3.71	1.045	3.80	0.446	3.74	1.022	3.83	0.478	3.73	0.993	3.86	0.459
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.64	1.139	3.73	0.576	3.63	1.135	3.69	0.520	3.48	1.182	3.55	0.584	3.53	1.157	3.59	0.603	3.48	1.115	3.60	0.573
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.76	1.106	3.86	0.551	3.73	1.109	3.80	0.517	3.58	1.144	3.66	0.556	3.62	1.117	3.69	0.582	3.58	1.073	3.69	0.515
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.70	1.087	3.79	0.474	3.66	1.099	3.74	0.463	3.54	1.122	3.61	0.474	3.64	1.104	3.73	0.534	3.54	1.043	3.69	0.512
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.67	1.020	3.71	0.395	3.59	1.022	3.61	0.377	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	3.78	1.028	3.86	0.502	3.77	1.031	3.84	0.475	3.65	1.078	3.71	0.499	3.70	1.067	3.79	0.572	3.67	1.009	3.79	0.515
'講義' '語学' のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.76	1.101	3.84	0.525	3.73	1.096	3.79	0.467	3.56	1.148	3.63	0.542	3.55	1.120	3.63	0.590	3.51	1.105	3.62	0.579
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.81	1.039	3.86	0.446	3.79	1.027	3.85	0.416	3.67	1.043	3.72	0.426	3.70	0.995	3.76	0.472	3.64	0.951	3.71	0.417

部門名 理学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.73	0.752	4.66	0.416	4.74	0.730	4.66	0.403	4.73	0.706	4.66	0.313	4.68	0.759	4.62	0.374	4.69	0.764	4.61	0.412
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.07	0.964	4.03	0.463	4.07	0.966	3.97	0.476	3.94	1.015	3.86	0.472	3.79	1.031	3.73	0.507	3.72	1.009	3.65	0.508
	3	この授業のレベルは適切である	3.84	1.014	3.83	0.400	3.86	1.031	3.79	0.397	3.72	1.027	3.65	0.432	3.61	1.025	3.55	0.436	3.74	1.440	3.76	0.480
	4	この授業を進める速さは適切である	3.84	1.003	3.81	0.398	3.89	1.004	3.84	0.380	3.79	1.021	3.75	0.428	3.69	0.998	3.64	0.383	4.05	1.393	4.09	0.369
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.06	0.966	4.01	0.368	4.07	0.966	4.04	0.428	3.99	0.995	3.95	0.430	3.90	0.972	3.88	0.391	3.85	0.966	3.82	0.456
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.95	1.021	3.91	0.408	3.95	1.000	3.90	0.427	3.84	1.050	3.79	0.456	3.68	1.038	3.65	0.423	3.57	1.047	3.55	0.453
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.88	1.014	3.82	0.420	3.88	1.035	3.84	0.438	3.78	1.093	3.75	0.487	3.67	1.013	3.65	0.429	3.47	1.064	3.47	0.498
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.95	0.960	3.92	0.345	3.97	0.971	3.94	0.370	3.89	1.025	3.84	0.402	3.74	1.010	3.73	0.397	3.54	1.009	3.54	0.451
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.94	1.025	3.90	0.471	3.94	1.043	3.85	0.489	3.81	1.079	3.74	0.534	3.70	1.055	3.67	0.462	3.59	1.079	3.56	0.564
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.83	0.968	3.82	0.362	3.80	1.022	3.75	0.434	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	3.99	0.978	3.95	0.425	3.99	0.963	3.96	0.443	3.90	1.044	3.84	0.504	3.78	0.999	3.74	0.430	3.67	1.017	3.64	0.558
'演習' '語学' のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3.87	1.006	3.86	0.431	3.97	0.983	3.94	0.421	3.87	1.018	3.86	0.436	3.79	1.019	3.80	0.447	3.66	1.030	3.63	0.497
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.08	0.967	4.05	0.432	4.17	0.966	4.12	0.464	4.09	1.000	4.05	0.423	3.99	0.973	3.98	0.413	3.83	1.006	3.81	0.429

・ 計算機センター

計算機センターで開講している科目には次のような特徴がある。授業形態は講義のみであるが、座学のみだけではなく、学生1人に1台のパソコンを割当て、実際にパソコンを操作しながら学ぶ形態を講義の中に取り入れている。また、受講者の多い「初等情報処理1」はほとんどの学科で選択科目であるが、学内の実習室等で計算機センターのコンピュータを利用する権利を得るためには単位取得が必要であり、実質的に必修科目に近い。

以上のような科目の特徴をふまえて、本年度の授業評価アンケートの設問 Q1 から Q13 の集計結果について、2006 年度～2011 年度の過去 6 年間の経年変化を考慮しつつ分析した後、今後の改善点について検討する。

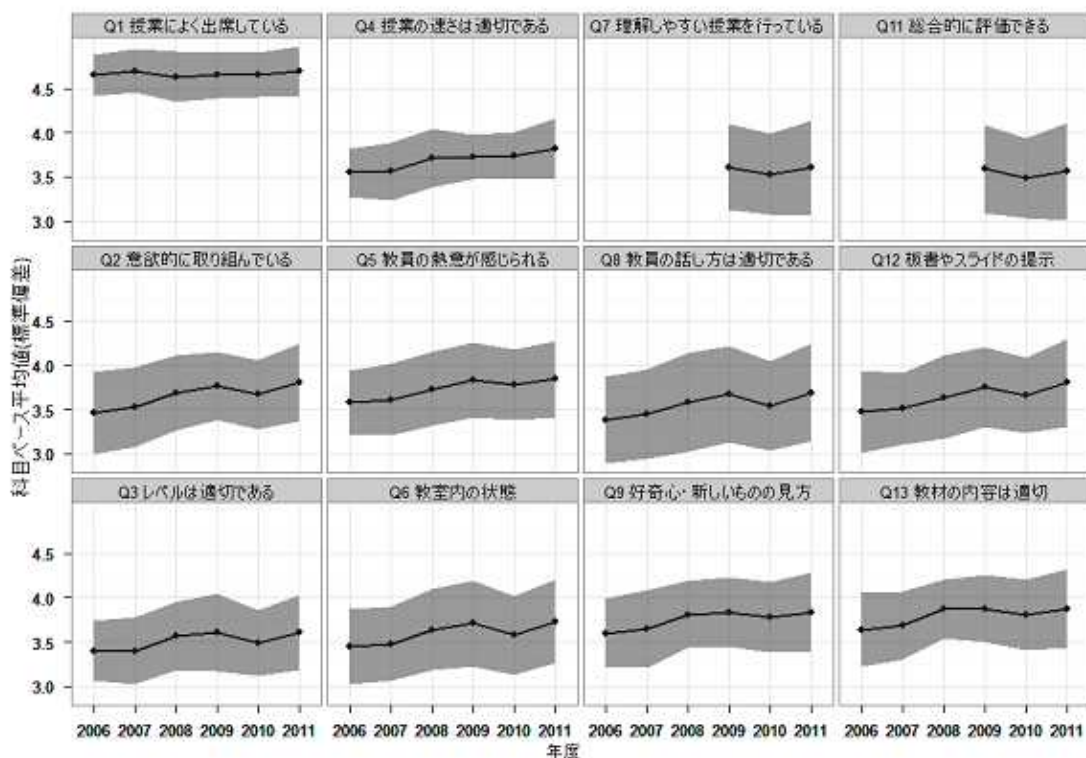


図 1. 科目ベースの評価平均と標準偏差の経年変化

1. 集計データからわかること

図 1 に 2006 年度から 2011 年度までの評価の科目ベースの部門別・形態別平均の経年変化を折れ線グラフで示す（グレーの帯は標準偏差を表す）。図 2 に 2011 年度のアンケート項目間の回答傾向の類似性を示す。回答傾向が似ている設問ほど右側で合流する（相関係数を距離に変換し階層クラスタリングによりデンドログラムを作成した）。

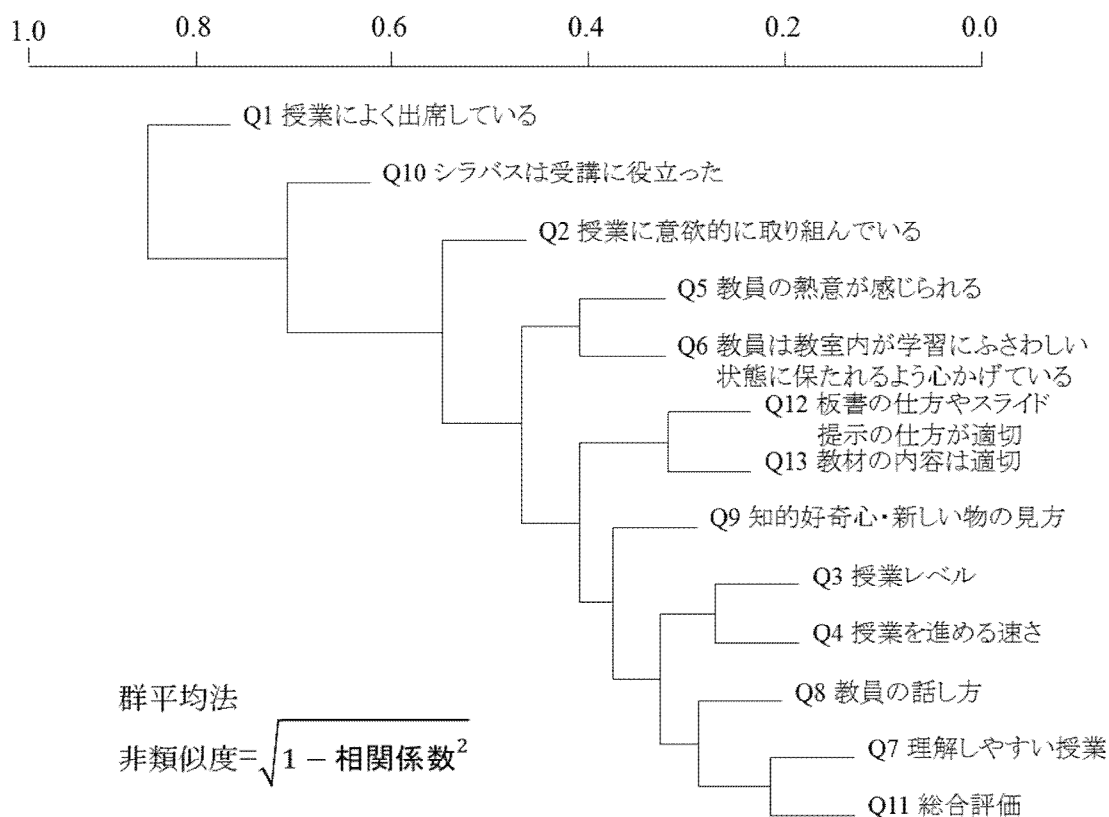


図 2. 設問間の類似度（設問間の相関係数に基づく階層クラスタリング）

Q1 出席率： 計算機センターの部門別平均 4.69(標準偏差 0.282)は、大学全体の講義の平均 4.59(標準偏差 0.287)と比べ高く、標準偏差も小さい。この結果は、過去 5 年間と同様に計算機センターで開講している講義科目では、学生全体の出席率が高いことが読み取れる。一方で、出席率(Q1)と意欲(Q2)の相関係数は、0.206 と低く、必ずしも学習意欲が出席率に結びついているわけではない。計算機センター開講授業のうち「初等情報処理 1」の単位取得は、計算機センターのコンピュータを卒業まで利用するための条件となっており、義務的・受け身的な態度で授業を受ける学生が多いためであると考えられる。

Q2 意欲的か： 計算機センターの部門別平均 3.82(標準偏差 0.344)は、大学全体の講義の平均 0.370(標準偏差 0.415)よりも高く、学生は意欲をもって授業に臨んでいる。しかし、学習意欲(Q2)と、理解度(Q7)及び総合評価(Q11)との相関は低い。学生の学習意欲に十分に応える授業内容になっていないことや、学生が義務的・受け身的な態度で授業を受けていることが、可能性として考えられる。

Q3 授業レベルの適切さ・Q4 授業の速さの適切さ： 図 2 よりこの 2 つの設問は同様の回答傾向があることがわかる。授業レベル(Q3)の評価については、計算機センターの部門別平均 3.60(標準偏差 0.543)は、大学全体の講義の平均 3.87(標準偏差 0.483)より低い。また、

第2章 各部門の評価・分析

授業の速さ(Q4)の評価においても計算機センターの部門別平均 3.56(標準偏差 0.550)は、大学全体の講義の平均 3.93(標準偏差 0.485)より低い。計算機センターで開講している科目は、授業レベルや速さが適切でないと感じている学生が比較的多いことが読み取れる。また、大学入学時点でのコンピュータの習熟度には大きな差があり、そのことが回答者ベースの標準偏差の相対的な大きさにもあらわれていると考えられる(計算機センター講義と大学講義の標準偏差はそれぞれ 1.157 と 1.008)。

Q5 教員の熱意 Q6 教員の環境保全 Q7 授業のわかりやすさ Q8 教員の話し方 Q9 新たな知見 Q11 総合評価： Q5～Q9、Q11 のいずれの設問においても計算機センターの部門別平均は、過去5年の結果と同様に大学全体よりも若干低い。ただし、2010年度は評価が頭打ちになり、若干下がる傾向にあったが、2011年度は全体的に再び評価が上がっている。図2から読み取れるように、Q5とQ6は、教員の授業への取り組みの意欲を示しており、同様の回答傾向があることがわかる。授業の総合評価Q11は、主として学生から見た授業内容の充実度を示すQ7の評価と連動している。

Q10 シラバスと受講： 計算機センターの部門別平均 3.57 は大学平均 3.82 より低い。1年生の計算機センター開講授業「初等情報処理」の時間割は、あらかじめ学科ごとに割り振られているために、シラバスを参考に選択する余地がないためであると考えられる。

Q12 板書・スライドの提示、Q13 教材(教科書、配布資料等)の内容： 図2より、この2つの設問の回答傾向は類似していることがわかる。評価から若干ながら年々改善されている傾向が図1からもうかがえる。

2. 今後の授業改善に向けて

概して学生の授業への評価が全学平均よりもやや低い傾向にあり、個々の学生のニーズ・レベルに合わせて授業の改善をする必要がある。ただし、計算機センター開講科目の特色として、次の2点に留意しなくてはならない。

- 1) 計算機センターで開講している講義科目のほとんど(約75%)は、コンピュータの基本操作等の情報リテラシー教育を行う「初等情報処理」であり、その受講生の大部分は1年生である。100名程度の規模のクラスも少なくない。一般的な傾向として、総履修者数が多くなるほど、授業の総合評価は低くなり、学年が低いほど、授業の総合評価は低くなっており、計算機センターの開講科目も、同様の傾向を示していることがわかる。
- 2) 特に初等情報処理の一学期開講科目である「初等情報処理 1」においては、この単

位を修得した学生に限り、卒業まで継続してコンピュータを利用できる権利を与えている。すなわち在学中に継続して大学でコンピュータを利用したい学生の大部分
3) は、「初等情報処理 1」の単位を修得する必要がある、出席は必須である。

「初等情報処理 1」を履修する学生のコンピュータ操作のスキルには、大きな個人差がある上に、実際にコンピュータを操作しながら授業を進める形態であることから、授業に一度ついていけなくなると、その後授業内容がわからないままに、ただ義務的・受身的に授業に出席するという状態に陥りやすい。

今後、義務的に出席している学生が、よりいっそう学習意欲や好奇心を感じられるように授業を改善してゆく必要がある。図 2 からは、学習意欲はあるにもかかわらず(Q2)、学生の好奇心を十分に満たせていない状況(Q9)も読み取れる。これは、授業がコンピュータ操作の訓練の場として受け止められており、他の講義科目と同様に予習・復習を前提とした科目であるという認識が薄いことも一因であろう。コンピュータの操作に終始せず、その背後にある原理や応用についても学生の知的好奇心を満たすことができる充実した内容にしてゆくことが一層望まれる。

また、高等学校では平成 25 年度の学習指導要領の改訂にともない教科「情報」から、「社会と情報」および「情報の科学」の 2 科目に再編される。情報科学や情報社会に関するより自由度の高い指導内容となっており、個々の学生の理解やスキルの差はさらに広がってゆくと考えられる。すべての学生に満足のいくレベルの授業を行うことはいっそう難しくなりつつあり、今後は、学生の学習意欲を高めるために、能力別クラス編成の導入などの柔軟な情報処理教育体制も視野に入れて、授業の改善を進める必要がある。

「初等情報処理 1,2」はクラスが多く、多数の教員が担当している。図 1 の設問 Q3,4,7 のグラフは、他の設問と比較して標準偏差の値が大きく、学生に理解しやすい授業をしているクラスとそうでないクラスの差が大きいことを示している。総合評価に対する回帰分析を行ったところ、教員、学科の順で評価に及ぼす影響が大きいことがわかっている。このような状況を鑑み、共通のシラバスのもとで多数の教員が授業をする科目については、特に教員間で授業改善のための工夫を共有し、学生の声を反映させるための仕組みを作ることが望まれる。

第2章 各部門の評価・分析

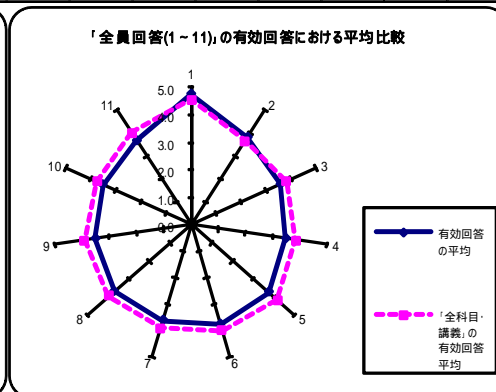
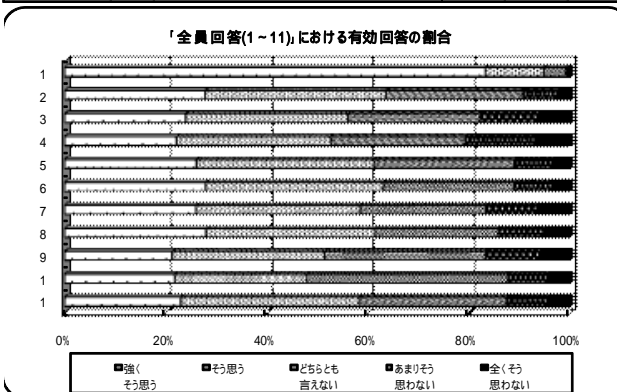
学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 計算機センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	4,048	5,492	73.71%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80-80% 3:出席率70-70% 2:出席率60-50% 1:出席率40%以下	3,361	467	176	22	12	10	4,048	4.77	0.577	4.69	0.282
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,122	1,444	1,092	267	110	13	4,048	3.79	1.008	3.82	0.344
	3	この授業のレベルは適切である	968	1,293	1,054	461	257	15	4,048	3.56	1.157	3.60	0.543
	4	この授業を進める速さは適切である	895	1,230	1,070	558	281	14	4,048	3.47	1.178	3.56	0.550
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,053	1,413	1,117	299	146	20	4,048	3.73	1.043	3.81	0.441
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,125	1,421	1,043	298	148	13	4,048	3.76	1.052	3.84	0.434
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,049	1,313	997	414	262	13	4,048	3.61	1.163	3.69	0.552
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,129	1,349	981	356	216	17	4,048	3.70	1.126	3.80	0.497
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	856	1,212	1,280	429	243	28	4,048	3.50	1.119	3.61	0.426
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 47.73%)	457	547	833	162	96	21	4,048	3.53	1.056	3.57	0.384
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	918	1,415	1,154	323	183	55	4,048	3.64	1.062	3.73	0.471
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,084	1,281	1,003	280	131	269	4,048	3.77	1.052	3.84	0.444
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,120	1,319	1,002	215	114	278	4,048	3.83	1.017	3.88	0.444



相関係数表 部門名 計算機センター
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.206(**)	1											
Q3	.082(**)	.439(**)	1										
Q4	.051(**)	.357(**)	.792(**)	1									
Q5	.045(**)	.410(**)	.506(**)	.556(**)	1								
Q6	.062(**)	.376(**)	.516(**)	.543(**)	.695(**)	1							
Q7	.043(**)	.361(**)	.669(**)	.715(**)	.668(**)	.661(**)	1						
Q8	.061(**)	.315(**)	.600(**)	.682(**)	.618(**)	.618(**)	.786(**)	1					
Q9	.055(**)	.454(**)	.568(**)	.566(**)	.587(**)	.555(**)	.619(**)	.591(**)	1				
Q10	-.032(*)	.226(**)	.259(**)	.258(**)	.263(**)	.249(**)	.272(**)	.246(**)	.360(**)	1			
Q11	.068(**)	.449(**)	.698(**)	.706(**)	.687(**)	.657(**)	.795(**)	.740(**)	.724(**)	.316(**)	1		
Q12	.061(**)	.340(**)	.563(**)	.606(**)	.594(**)	.577(**)	.704(**)	.666(**)	.559(**)	.255(**)	.699(**)	1	
Q13	.070(**)	.332(**)	.563(**)	.583(**)	.514(**)	.519(**)	.636(**)	.589(**)	.537(**)	.233(**)	.658(**)	.745(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80～80% 3:出席率70～70% 2:出席率60～50% 1:出席率50%未満	4.77	0.577	4.69	0.282	4.73	0.624	4.66	0.254	4.72	0.640	4.65	0.259	4.70	0.679	4.63	0.286	4.75	0.604	4.70	0.241
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.79	1.008	3.82	0.344	3.74	1.029	3.74	0.266	3.72	1.009	3.73	0.254	3.68	1.042	3.71	0.334	3.55	1.033	3.56	0.320
	3	この授業のレベルは適切である	3.56	1.157	3.80	0.543	3.51	1.123	3.53	0.458	3.59	1.117	3.61	0.488	3.50	1.130	3.53	0.472	3.89	1.437	3.88	0.602
	4	この授業を進める速さは適切である	3.47	1.178	3.56	0.550	3.44	1.140	3.49	0.451	3.54	1.144	3.59	0.499	3.40	1.179	3.47	0.516	3.82	1.463	3.86	0.543
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3.73	1.043	3.81	0.441	3.64	1.071	3.67	0.392	3.71	1.031	3.77	0.383	3.59	1.056	3.69	0.426	3.43	1.016	3.53	0.452
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.76	1.052	3.84	0.434	3.74	1.060	3.78	0.397	3.76	1.026	3.83	0.423	3.62	1.045	3.73	0.417	3.51	1.023	3.61	0.407
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.61	1.163	3.69	0.552	3.51	1.170	3.54	0.500	3.63	1.145	3.67	0.544	3.51	1.174	3.58	0.553	3.38	1.114	3.45	0.505
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.70	1.126	3.80	0.497	3.61	1.123	3.66	0.424	3.70	1.105	3.75	0.452	3.55	1.130	3.64	0.468	3.44	1.072	3.51	0.407
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.50	1.119	3.61	0.426	3.43	1.130	3.49	0.376	3.55	1.112	3.61	0.435	3.47	1.095	3.57	0.386	3.30	1.065	3.40	0.377
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ	3.53	1.056	3.57	0.384	3.46	1.097	3.49	0.409	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.64	1.062	3.73	0.471	3.54	1.074	3.58	0.444	3.66	1.056	3.71	0.483	3.56	1.055	3.64	0.461	3.39	1.008	3.48	0.416
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.77	1.052	3.84	0.444	3.75	1.067	3.78	0.395	3.83	1.017	3.84	0.395	3.77	1.024	3.81	0.377	3.59	1.023	3.65	0.440
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.83	1.017	3.88	0.444	3.82	1.027	3.81	0.397	3.87	1.004	3.88	0.380	3.85	0.971	3.87	0.332	3.66	0.978	3.69	0.388

・外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターにおける授業評価アンケートの実施率は98.97%であった。昨年度の実施率が99.97%、一昨年度が98.93%であったことから、今後も実施率が大きく下がらないよう注意する必要がある。ただし、回答率は過去5回において最も高い数値となっており、集計データの信頼性が高まっているといえる。また、すべてのアンケート項目においても、昨年度を上回る数値、あるいは同等の数値が出ている。

アンケート項目別分析

以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私はこの授業によく出席している」

この項目の科目ベースの数値は、これまで授業評価アンケートが実施された過去5回において最も高い数値となっている。これまでも4.5を上回る高い数値であったが、2011年度も4.59とかなり高い数値となっている。語学を必修科目として履修している学生が多いだけでなく、3分の1以上の欠席は認められないという規定が学生に広く認識され、教員による出席確認も十分に行われているためであると思われる。また、40人以下という比較的少人数で授業が実施されていることも学生の高い出席率の理由の一つであると思われる。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

この項目も、これまで授業評価アンケートが実施された過去5回において最も高い数値となっている。例年、少しずつ数値が上昇していたが、2011年度は4.01と初めて4.00を上回る数値となった。また、昨年度同様、70%以上の学生が意欲的に授業に取り組んでいると回答している。Q1の数値に比べると数値は低いが、少しずつ数値が上がってきており、予習をはじめ、課題や小テストのための対策等に取り組む学生が増えてきていると考えることができる。今後もさらに多くの学生が積極的に授業の予習・復習等に取り組めるよう教員側の様々な工夫が求められるだろう。

Q3「この授業のレベルは適切である」

この項目に関しても、数値の計算方法が異なる初年度を除いた過去4年間で最も高い数値となっている。平均が4.08という高い数値であるだけでなく、約76%の学生が肯定的に回答している。否定的な回答は6%を切っており、開講されている授業のレベルに関して少しずつながらも学生の満足度が上がっていると言える。ただし、18%弱の学生が「どちらとも言えない」と回答しており、学生の能力に応じたクラス分け等を行うなど更なる改

善が必要であると思われる。

英語に関しては、2008年度より理学部を対象に緩やかな習熟度別クラス分けを試みているが、教員側からは授業が行いやすくなったという感想があがっている。また、法学部政治学科も2011年度から英語の習熟度別クラス編成を導入している。このような習熟度別クラス編成が、学生と教員の双方の側から効果的であるという分析結果が得られた場合には、全学的に習熟度別クラス編成の導入を検討する必要があるであろう。ここ7年ほどは4月に1年生全員を対象としたTOEICが実施されており、その得点をもとに能力別クラス編成を行うことは可能である。能力別クラス編成が行われた際には、全学的に教育効果の一層の向上が望めるものと期待される。

Q4「この授業を進める速さについて」

この項目もQ3と同様、授業評価アンケート実施初年度である2007年度を除く4年間で最も高い数値となっている。約78%の学生が肯定的な回答をしており、否定的な回答も6%弱となっていることから、概ね適切な速さで授業が進められていると考えられる。「どちらとも言えない」との回答が16.35%となっているが、この数値を低くするためには、Q3同様、習熟度別クラス編成の導入等の改善が必要ではないかと思われる。これは、Q4とQ3の相関係数が0.765と高い数値になっていることから明らかである。

Q5「授業に対する教員の熱意が感じられる」

この項目も、科目ベースの平均が4.35とこれまでに実施された5年間で最も高い数値となっている。年々数値が少しずつ上がってきており、2011年度は肯定的な回答が約85%、否定的な回答は約2.9%と低くなっていることから、多くの教員が熱意をもって授業を行っていると考えられる。

Q6「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている」

この項目もこれまで実施された中で最も高い数値となっている。肯定的な回答が約82%と高い数値になっている一方で、否定的な回答は3.1%と昨年度と比べ減少していることから、概ね授業にふさわしい状態が保たれていると考えられる。ただし、約14%が「どちらとも言えない」と回答していることから、改善の余地も残されていると思われる。教室運営には、教員側だけではなく、学生側の要素も大きく影響するため、今後も継続して注視していく必要があるだろう。

Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」

この項目も、科目ベースの平均がこの5年間で最も高い数値となっている。肯定的な回答が約81%、否定的な回答が5.4%となっていることから、概ね理解しやすい授業が行われていると言える。ただし、約13%の学生が「どちらとも言えない」と回答していること

から、さらなる改善が教員側に求められるであろう。

Q8 「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」

この項目は昨年同様、科目ベース平均が 4.25 となっている。肯定的な回答が約 81%、否定的な回答が約 4.5% となっていることから、概ね教員が適切な話し方をしていると考えられる。しかし、約 14% が「どちらとも言えない」と回答しており、否定的な回答も含めて考慮すると、まだまだ改善の余地が大きいと思われる。Q8 と Q7 の相関係数が 0.781 と高くなっていることから、わかりやすい授業には教員の適切な話し方が不可欠であることがわかる。教員の話し方は学生の理解度の上昇につながることから、教員のさらなる努力が求められるであろう。

Q9 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

この項目も、科目ベース平均が 4.02 と過去 5 年間で最も高い数値となっている。肯定的な回答が 70% 強である一方、「どちらとも言えない」が約 20%、否定的な回答が約 7% に達している。語学の授業の場合、会話練習や文法問題、読解問題、作文問題などのある程度パターン化された問題をこなすことも多く、他の専門科目のように知的好奇心を刺激することが難しいことも多い。しかし、そのような中でも、当該言語が使用されている社会の文化を紹介するなど、ビデオや写真等の視聴覚教材を活用しながら努力することが教員側に求められるであろう。そうすることにより、学生の学習意欲が高まることも十分に考えられるからである。

Q10 「この授業のシラバスは役に立った」

この項目は昨年度から新たに追加された項目であり、過去のデータと比較することはできないが、昨年度の科目ベース平均とほぼ同じ 3.91 となっている。これは教員に関する評価項目の中では最も低い値となっているが、ほかの項目との相関係数が極めて低いことから相互の影響はかなり限定的であると思われる。語学の場合、登録すべき科目が決められている学科も多いことから、シラバスを読まない学生が 42.54% に達していると考えられる。また、初級クラスの場合、学ぶべき文法項目や会話パターンの多くは共通していることからシラバスに大きな差が生じず、科目選択の際にシラバスが果たす役割が他の専門科目と比べて大きくないことも、低い数値に反映されていると思われる。だが、中級以上の科目ではシラバスの内容に差が生じることも多く、学生が科目選択をする際に役立つシラバスを作成することが教員側にさらに求められるであろう。

Q11 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均が昨年と同様の 4.22 となっている。昨年同様、約 80% の学生が肯定的な回答をしており、否定的な回答は約 4% である。したがって、概ね学生は授

業を高く評価していると言える。相関係数を考慮した場合、この項目と最も相関関係が高いのはQ7「教員は理解しやすい授業を行っている」の0.789となっており、次いでQ8「教員の話し方は適切である」の0.722、Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の0.717となる。したがって、総合的に評価が高い授業とは、理解しやすい授業、そして教員の話し方が適切であり、かつ知的好奇心が刺激される授業であることがわかる。今後、このような授業を提供できるよう、教員の一層の努力が求められる。

Q12 「板書の仕方やスライドの提示の仕方は適切である」

科目ベースの平均点は4.10となっており、昨年度よりも高い数値となっている。過去5年間、平均値は少しずつ高くなっているが、肯定的な回答は全体の約73%となっており、まだ改善の余地があると思われる。授業における教員の一層の努力と工夫が求められるであろう。

Q13 「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」

科目ベースの平均点は4.17となっており、この値は過去5年間で最も高い数値である。肯定的な回答も約76%に達しており、否定的な回答は約4%となっていることから、大方学生の要望にあった教材が使用されていると思われる。ただし、「どちらとも言えない」との回答が約16%となっており、この数値を低くするために更なる教員の努力が求められるであろう。

Q14 「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心掛けていた」

科目ベースの平均点は4.20であり、昨年度と同じ数値となっている。肯定的な回答は約73%となっており、否定的な回答も約4%と低い。したがって、教員が学生の発言や議論を促していると学生が理解していると解釈することができる。「どちらとも言えない」との回答が約16%となっているが、初級の言語の場合、ドリル的な練習が多いことから、学生が活発に発言や議論を行っているとは感じていない可能性もあると考えられる。その一方で、学生が発言しにくい状態にあるという解釈も可能であることから、教員の一層の努力が求められるであろう。

Q15 「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」

この項目の科目ベース平均点は4.21となっており、昨年度よりも少し高い数値となっている。肯定的な回答は約74%、その一方で、否定的な回答は約4%と低くなっており、教員が学生を支援する姿勢をとっていることがわかる。語学の場合、例文の暗唱からレポートまで課題が多岐にわたるが、それぞれの課題に合わせたよりよい支援に取り組む努力が教員に求められるであろう。

Q16 「1回1回の授業のねらいが明確である」

この項目の科目ベース平均点は4.13となっており、これまでで最も高い数値となっている。ただし、肯定的な回答は約68%となっており、必ずしも高い数値とは言えない。否定的な回答が約4%と低いことを考慮しても、もう少し改善の余地があると思われる。無回答も10%と高く、今後注視していく必要があるだろう。講読のような授業の場合、一回一回のねらい・目標を学生が意識していない可能性が高いとも考えられることから、教員側が毎回、ねらい・目標を明確に示し、学生に伝えていくことも求められるであろう。

Q17 「教員は授業時間を有効に活用している」

科目ベースの平均点が4.20となっており、過去5年間で最も高い数値となっている。肯定的な回答も約71%となっており、否定的な回答も約4%と低いことから、学生の多くが授業時間は有効に活用されていると捉えていると考えることができる。ただし、無回答が10%と高く、この数値が今後どのように変化するのか、教員は努力を重ねながら注視していく必要があるであろう。

2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学の授業に関しては、全般的に学生からの評価は肯定的であると捉えてよいと思われる。ただし、まだ改善の余地があると思われるアンケート項目も見受けられ、今後も教員の改善への努力が求められるであろう。指導方法の改善やカリキュラムの見直し等によって、改善できる点も小さくはないと思われる。教員相互の情報交換や講習会などを今後も継続して行い、より良い授業となるよう教員が努力することが重要となってくるであろう。

英語に関しては、入学時に行うTOEICの結果から、入学者の英語力に大きな開きがあることが明らかになっている。現在、理学部、および法学部政治学科においては習熟度に応じたクラス分けが行われているが、全学的に習熟度別クラス編成が行われることが望まれるであろう。

また、語学の授業では、少人数教育を徹底し、学生一人一人のきめ細かい指導が必要となる。今後も、少人数教育を徹底できるよう、一クラスあたりの履修者数のさらなる管理が必要とされるであろう。

現在の授業評価アンケートは、すべてマークシート回答の方式をとっており、具体的に学生が何を求めているのかを把握しにくい状態にある。以前、外国語教育研究センターが試行したアンケートのように、記述式項目を取り入れ、学生がより具体的に意見を述べる場を提供することが必要ではないかと思われる。

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

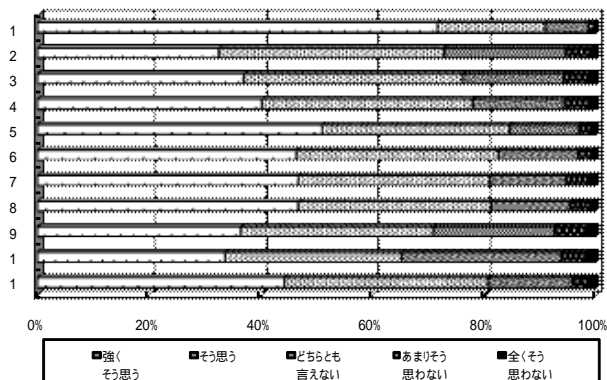
部門名 外国語教育研究センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	10,393	13,257	78.40%

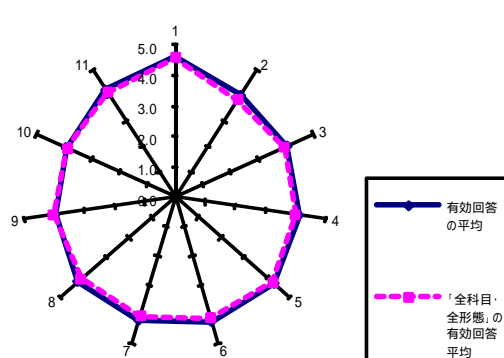
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全(そ)う 思わない				無回答	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	7,438 71.57%	2,006 19.30%	797 7.67%	122 1.17%	18 0.17%	12 0.12%	10,393 100.00%	4.61	0.695	4.59	0.236
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3,374 32.46%	4,183 40.25%	2,253 21.68%	453 4.36%	111 1.07%	19 0.18%	10,393 100.00%	3.99	0.902	4.01	0.341
	3	この授業のレベルは適切である	3,837 36.92%	4,071 39.17%	1,863 17.93%	444 4.27%	160 1.54%	18 0.17%	10,393 100.00%	4.06	0.925	4.08	0.394
	4	この授業を進める速さは適切である	4,175 40.17%	3,918 37.70%	1,699 16.35%	444 4.27%	140 1.35%	17 0.16%	10,393 100.00%	4.11	0.920	4.14	0.406
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	5,296 50.96%	3,482 33.50%	1,293 12.44%	215 2.07%	89 0.86%	18 0.17%	10,393 100.00%	4.32	0.833	4.35	0.403
	6	教員は教室が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4,812 46.30%	3,758 36.16%	1,473 14.17%	250 2.41%	81 0.78%	19 0.18%	10,393 100.00%	4.25	0.843	4.29	0.369
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4,850 46.67%	3,559 34.24%	1,402 13.49%	409 3.94%	153 1.47%	20 0.19%	10,393 100.00%	4.21	0.922	4.24	0.454
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4,846 46.63%	3,591 34.55%	1,452 13.97%	370 3.56%	116 1.12%	18 0.17%	10,393 100.00%	4.22	0.895	4.25	0.410
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3,773 36.30%	3,564 34.29%	2,234 21.50%	560 5.39%	209 2.01%	53 0.51%	10,393 100.00%	3.98	0.990	4.02	0.445
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 42.54%)	1,996 19.21%	1,878 18.07%	1,690 16.26%	246 2.37%	123 1.18%	39 0.38%	10,393 100.00%	3.91	0.982	3.90	0.436
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,553 43.81%	3,767 36.25%	1,533 14.75%	287 2.76%	153 1.47%	100 0.96%	10,393 100.00%	4.19	0.894	4.22	0.446
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,888 37.41%	3,643 35.05%	2,053 19.75%	420 4.04%	112 1.08%	277 2.67%	10,393 100.00%	4.07	0.921	4.10	0.424
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4,205 40.46%	3,720 35.79%	1,736 16.70%	319 3.07%	128 1.23%	285 2.74%	10,393 100.00%	4.14	0.899	4.17	0.392
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が 行えるよう心がけていた	4,297 41.35%	3,324 31.98%	1,687 16.23%	350 3.37%	111 1.07%	624 6.00%	10,393 100.00%	4.16	0.912	4.20	0.433
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4,211 40.52%	3,516 33.83%	1,597 15.37%	316 3.04%	114 1.10%	639 6.15%	10,393 100.00%	4.17	0.896	4.21	0.416
「語学」 のみ	16	1回1回の授業のねらいが明確である	3,784 36.41%	3,307 31.82%	1,759 16.92%	357 3.44%	131 1.26%	1,055 10.15%	10,393 100.00%	4.10	0.929	4.13	0.417
	17	教員は授業時間を有効に活用している	4,078 39.24%	3,357 32.30%	1,417 13.63%	326 3.14%	128 1.23%	1,087 10.46%	10,393 100.00%	4.17	0.908	4.20	0.407

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17
Q1	1																
Q2	.315(**)	1															
Q3	.141(**)	.534(**)	1														
Q4	.121(**)	.479(**)	.765(**)	1													
Q5	.107(**)	.436(**)	.573(**)	.617(**)	1												
Q6	.111(**)	.425(**)	.559(**)	.600(**)	.690(**)	1											
Q7	.093(**)	.451(**)	.659(**)	.692(**)	.695(**)	.681(**)	1										
Q8	.092(**)	.412(**)	.608(**)	.665(**)	.631(**)	.627(**)	.781(**)	1									
Q9	.097(**)	.509(**)	.579(**)	.568(**)	.612(**)	.586(**)	.645(**)	.620(**)	1								
Q10	0.012	.228(**)	.245(**)	.215(**)	-.195(**)	.211(**)	.215(**)	.212(**)	.323(**)	1							
Q11	.112(**)	.494(**)	.683(**)	.704(**)	.711(**)	.674(**)	.789(**)	.722(**)	.717(**)	.253(**)	1						
Q12	.103(**)	.429(**)	.587(**)	.594(**)	.601(**)	.593(**)	.675(**)	.647(**)	.603(**)	.242(**)	.679(**)	1					
Q13	.105(**)	.431(**)	.623(**)	.622(**)	.611(**)	.595(**)	.676(**)	.634(**)	.614(**)	.238(**)	.698(**)	.753(**)	1				
Q14	.111(**)	.427(**)	.511(**)	.553(**)	.604(**)	.578(**)	.590(**)	.549(**)	.557(**)	.200(**)	.621(**)	.584(**)	.590(**)	1			
Q15	.101(**)	.434(**)	.559(**)	.588(**)	.642(**)	.613(**)	.665(**)	.620(**)	.614(**)	.229(**)	.694(**)	.644(**)	.648(**)	.749(**)	1		
Q16	.092(**)	.435(**)	.557(**)	.588(**)	.602(**)	.592(**)	.662(**)	.614(**)	.621(**)	.256(**)	.686(**)	.662(**)	.658(**)	.602(**)	.665(**)	1	
Q17	.083(**)	.422(**)	.553(**)	.620(**)	.638(**)	.628(**)	.665(**)	.631(**)	.603(**)	.221(**)	.712(**)	.647(**)	.650(**)	.623(**)	.670(**)	.763(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立つ（シラバスを読まなかった人は「0」をマーク）
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

- Q 16 1回1回の授業のねらいが明確である
- Q 17 教員は授業時間を有効に活用している

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.61	0.695	4.59	0.236	4.57	0.729	4.55	0.252	4.54	0.753	4.52	0.256	4.55	0.747	4.53	0.260	4.58	0.712	4.56	0.248
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.99	0.902	4.01	0.341	3.95	0.909	3.97	0.352	3.94	0.927	3.95	0.368	3.89	0.910	3.91	0.374	3.76	0.921	3.80	0.373
	3	この授業のレベルは適切である	4.06	0.925	4.08	0.394	4.02	0.939	4.04	0.412	4.01	0.949	4.01	0.442	3.95	0.946	3.97	0.401	4.30	1.159	4.31	0.474
	4	この授業を進めるペースは適切である	4.11	0.920	4.14	0.406	4.08	0.920	4.11	0.416	4.06	0.943	4.07	0.456	3.99	0.942	4.01	0.432	4.39	1.139	4.41	0.470
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.32	0.833	4.35	0.403	4.31	0.833	4.33	0.393	4.29	0.852	4.31	0.438	4.26	0.844	4.29	0.406	4.10	0.857	4.15	0.438
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.25	0.843	4.29	0.369	4.22	0.849	4.26	0.356	4.19	0.878	4.21	0.384	4.17	0.849	4.21	0.363	4.03	0.879	4.09	0.385
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.21	0.922	4.24	0.454	4.19	0.920	4.23	0.460	4.15	0.959	4.17	0.508	4.11	0.935	4.15	0.453	3.98	0.967	4.04	0.496
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.22	0.895	4.25	0.410	4.22	0.896	4.25	0.418	4.17	0.923	4.19	0.453	4.13	0.913	4.18	0.422	3.98	0.954	4.05	0.461
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.98	0.990	4.02	0.445	3.95	0.998	4.00	0.445	3.95	1.004	3.99	0.476	3.92	0.976	3.97	0.450	3.80	0.975	3.87	0.467
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ	3.91	0.982	3.90	0.436	3.88	0.981	3.89	0.435	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.19	0.894	4.22	0.446	4.19	0.881	4.22	0.425	4.17	0.912	4.19	0.474	4.14	0.896	4.18	0.437	4.00	0.921	4.06	0.463
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.07	0.921	4.10	0.424	4.04	0.918	4.07	0.423	4.02	0.940	4.03	0.454	3.97	0.912	4.00	0.401	3.81	0.932	3.86	0.447
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.14	0.899	4.17	0.392	4.12	0.902	4.15	0.399	4.10	0.918	4.12	0.431	4.06	0.887	4.10	0.378	3.92	0.905	3.97	0.403
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.16	0.912	4.20	0.433	4.16	0.914	4.20	0.441	4.12	0.932	4.15	0.455	4.07	0.927	4.12	0.460	3.98	0.936	4.05	0.477
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.17	0.896	4.21	0.416	4.16	0.895	4.20	0.419	4.12	0.923	4.15	0.451	4.08	0.914	4.12	0.439	3.96	0.924	4.03	0.471
「語学」 のみ	16	1回1回の授業のねらいが明確である	4.10	0.929	4.13	0.417	4.08	0.930	4.11	0.434	4.05	0.954	4.08	0.468	4.00	0.940	4.04	0.445	3.88	0.955	3.93	0.463
	17	教員は授業時間を有効に活用している	4.17	0.908	4.20	0.407	4.16	0.910	4.18	0.427	4.15	0.920	4.17	0.439	4.08	0.925	4.11	0.438	3.93	0.949	3.98	0.451

．スポーツ・健康科学センター

集計データからわかる事及び今後の授業改善に向けて

今年度も全体を通して平均を超える評価を受けている。

集計データから、どのような項目が「総合評価」の高さと相関しているかを見てみる。

「Q11 総合的評価」と相関の高い項目を見てみると、「Q4 進行の速さ」「Q5 教員の熱意」「Q6 環境の保全」「Q7 理解しやすい」「Q8 話し方が適切」の5つの項目で、相関係数が0.7以上という結果であった。

教員が履修している学生の個々の運動能力・理解能力を把握した上で授業内容を決定しているため、このような結果になったのであろう。

また、スポーツ・健康科学関連の項目間で最も相関が高かったのは、「Q26 身体や運動に関する知識」「Q27 自分の身体の健康、体力の再確認」(0.738)との間で、次いで「Q23 体力・健康状態の改善」「Q24 運動技術の向上」(0.737)であった。

これは、必修授業において健康体力の維持増進についての知識・実践の理解を深めるといふ科目の目的と合致している。また、選択授業で、各種目の新たな技術や戦術を学習させていることも評価されたと思われる。

次に授業への「Q1 出席率」と評価の関係をみてみると、最も相関が高いのは「Q2 意欲」(0.303)であり、ほかの相関係数も統計的には有意ではあるが、全体的に相関は高くなかった。

「Q2 意欲」と相関が高かったのは、「Q3 レベルの適切さ」(0.494)であり、ついで「Q9 新たな知見を得た」(0.490)、「Q11 総合評価」(0.488)であり、「Q10 シラバスが役に立った」以外のすべての項目(スポ・健のみの項目を除く)で相関が比較的高かった。授業の評価と関連を持っているのは、出席率の高さではなく意欲を持って出席しているかどうかであることが推測される。

また、経年変化比較表からは、過去5年間で4.50以上の項目が最も多い結果となっている。

以上のように当センターの授業は例年高い評価を得ているが、現状に甘んじることなく更に質の高い授業を提供できるように努力していく必要がある。

第2章 各部門の評価・分析

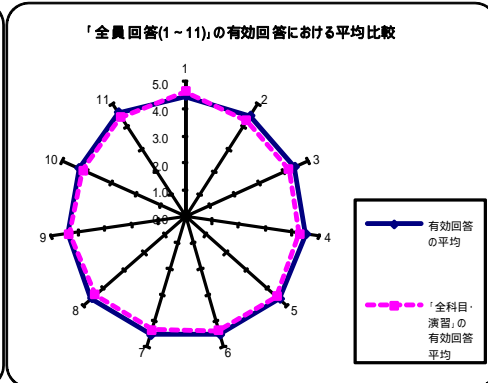
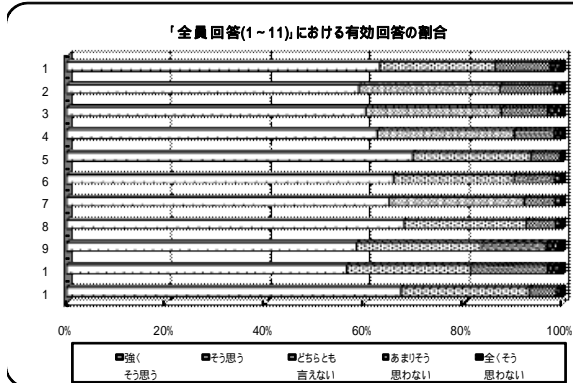
学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 スポーツ・健康科学センター

形態名 演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,718	2,407	71.38%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89-80% 3:出席率79-70% 2:出席率69-50% 1:出席率49%以下	1,079	397	189	33	13	7	1,718	4.46	0.823	4.46	0.282
			62.81%	23.11%	11.00%	1.92%	0.76%	0.41%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,008	486	185	22	11	6	1,718	4.44	0.785	4.50	0.302
			58.67%	28.29%	10.77%	1.28%	0.64%	0.35%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,030	466	158	48	7	9	1,718	4.44	0.806	4.49	0.387
			59.95%	27.12%	9.20%	2.79%	0.41%	0.52%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,069	471	136	26	6	10	1,718	4.51	0.737	4.56	0.336
			62.22%	27.42%	7.92%	1.51%	0.35%	0.58%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,193	406	100	8	4	7	1,718	4.62	0.639	4.66	0.270
			69.44%	23.63%	5.82%	0.47%	0.23%	0.41%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,126	414	140	20	10	8	1,718	4.54	0.744	4.59	0.324
		65.54%	24.10%	8.15%	1.16%	0.58%	0.47%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,113	465	106	22	7	5	1,718	4.55	0.705	4.60	0.317	
		64.78%	27.07%	6.17%	1.28%	0.41%	0.29%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,163	420	102	17	9	7	1,718	4.58	0.697	4.63	0.305	
		67.69%	24.45%	5.94%	0.99%	0.52%	0.41%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	993	428	223	38	20	16	1,718	4.37	0.878	4.46	0.407	
		57.80%	24.91%	12.98%	2.21%	1.16%	0.93%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立った (シラバスを読まなかった人 34.05%)	632	278	174	25	11	13	1,718	4.33	0.887	4.37	0.398	
		36.79%	16.18%	10.13%	1.46%	0.64%	0.76%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,138	435	94	14	9	28	1,718	4.59	0.684	4.64	0.334	
		66.24%	25.32%	5.47%	0.81%	0.52%	1.63%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	553	295	186	26	15	643	1,718	4.25	0.921	4.36	0.453
			32.19%	17.17%	10.83%	1.51%	0.87%	37.43%	100.00%				
15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	643	279	124	15	8	649	1,718	4.43	0.808	4.54	0.387	
		37.43%	16.24%	7.22%	0.87%	0.47%	37.78%	100.00%					
スポーツ・ 健康科学科目	22	運動量は	934	468	98	36	14	168	1,718	4.47	0.790	4.53	0.321
			54.37%	27.24%	5.70%	2.10%	0.81%	9.78%	100.00%				
	23	体力・健康状態が改善された	746	481	282	25	15	169	1,718	4.24	0.871	4.34	0.400
			43.42%	28.00%	16.41%	1.46%	0.87%	9.84%	100.00%				
	24	運動技術が向上した	774	465	265	33	13	168	1,718	4.26	0.874	4.35	0.400
			45.05%	27.07%	15.42%	1.92%	0.76%	9.78%	100.00%				
	25	履修したスポーツ種目等について新しい知識が 得られた	864	462	184	22	17	169	1,718	4.38	0.831	4.43	0.371
			50.29%	26.89%	10.71%	1.28%	0.99%	9.84%	100.00%				
26	身体や運動に対する関心が高まった	839	445	226	27	12	169	1,718	4.34	0.845	4.42	0.401	
		48.84%	25.90%	13.15%	1.57%	0.70%	9.84%	100.00%					
27	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	902	467	151	14	13	171	1,718	4.44	0.773	4.51	0.340	
		52.50%	27.18%	8.79%	0.81%	0.76%	9.95%	100.00%					
28	自分の生活習慣を見直す機会となった	825	443	221	42	18	169	1,718	4.30	0.893	4.37	0.369	
		48.02%	25.79%	12.86%	2.44%	1.05%	9.84%	100.00%					
29	施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	1,047	383	101	13	5	169	1,718	4.58	0.680	4.63	0.309	
		60.94%	22.29%	5.88%	0.76%	0.29%	9.84%	100.00%					



相関係数表 部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q22	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	Q29	
Q1	1																					
Q2	.303(**)	1																				
Q3	.166(**)	.494(**)	1																			
Q4	.148(**)	.484(**)	.782(**)	1																		
Q5	.131(**)	.432(**)	.571(**)	.667(**)	1																	
Q6	.118(**)	.404(**)	.581(**)	.649(**)	.695(**)	1																
Q7	.117(**)	.493(**)	.628(**)	.707(**)	.693(**)	.735(**)	1															
Q8	.128(**)	.441(**)	.589(**)	.695(**)	.693(**)	.721(**)	.792(**)	1														
Q9	.109(**)	.490(**)	.524(**)	.583(**)	.553(**)	.570(**)	.645(**)	.625(**)	1													
Q10	0.029	.163(**)	.211(**)	.205(**)	.181(**)	.205(**)	.212(**)	.203(**)	.264(**)	1												
Q11	.144(**)	.488(**)	.653(**)	.722(**)	.710(**)	.706(**)	.784(**)	.770(**)	.673(**)	.219(**)	1											
Q14	.071(**)	.390(**)	.501(**)	.527(**)	.519(**)	.558(**)	.614(**)	.588(**)	.634(**)	.223(**)	.586(**)	1										
Q15	.099(**)	.393(**)	.529(**)	.619(**)	.636(**)	.625(**)	.667(**)	.699(**)	.612(**)	.224(**)	.697(**)	.747(**)	1									
Q22	.097(**)	.273(**)	.305(**)	.321(**)	.350(**)	.321(**)	.306(**)	.328(**)	.370(**)	.147(**)	.379(**)	.353(**)	.374(**)	1								
Q23	.093(**)	.396(**)	.436(**)	.448(**)	.437(**)	.448(**)	.467(**)	.473(**)	.553(**)	.270(**)	.515(**)	.517(**)	.540(**)	.533(**)	1							
Q24	.102(**)	.432(**)	.435(**)	.493(**)	.440(**)	.457(**)	.507(**)	.478(**)	.594(**)	.256(**)	.530(**)	.555(**)	.569(**)	.483(**)	.737(**)	1						
Q25	.089(**)	.355(**)	.421(**)	.495(**)	.492(**)	.460(**)	.481(**)	.470(**)	.575(**)	.253(**)	.495(**)	.470(**)	.507(**)	.467(**)	.600(**)	.682(**)	1					
Q26	.092(**)	.468(**)	.505(**)	.504(**)	.473(**)	.478(**)	.531(**)	.500(**)	.668(**)	.290(**)	.578(**)	.590(**)	.577(**)	.475(**)	.714(**)	.707(**)	.724(**)	1				
Q27	.096(**)	.401(**)	.428(**)	.479(**)	.467(**)	.492(**)	.483(**)	.495(**)	.536(**)	.280(**)	.537(**)	.509(**)	.520(**)	.462(**)	.684(**)	.627(**)	.624(**)	.738(**)	1			
Q28	0.05	.358(**)	.399(**)	.443(**)	.412(**)	.425(**)	.462(**)	.425(**)	.534(**)	.268(**)	.482(**)	.528(**)	.508(**)	.416(**)	.669(**)	.606(**)	.563(**)	.712(**)	.718(**)	1		
Q29	.093(**)	.357(**)	.473(**)	.525(**)	.508(**)	.528(**)	.532(**)	.577(**)	.451(**)	.193(**)	.567(**)	.445(**)	.548(**)	.398(**)	.542(**)	.518(**)	.529(**)	.566(**)	.605(**)	.538(**)	1	

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「スポーツ・健康科学センター」の場合のみ回答】

- Q 22 運動量は(十分、 おおむね十分、 どちらともいえない、 やや不足、 不十分)
- Q 23 体力・健康状態が改善された
- Q 24 運動技術が向上した
- Q 25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた
- Q 26 身体や運動に対する関心が高まった
- Q 27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた
- Q 28 自分の生活習慣を見直す機会となった
- Q 29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~89% 3:出席率70~79% 2:出席率60~59% 1:出席率49%以下	4.46	0.823	4.46	0.282	4.44	0.837	4.45	0.329	4.43	0.861	4.44	0.298	4.33	0.911	4.35	0.331	4.37	0.876	4.35	0.341
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.44	0.785	4.50	0.302	4.43	0.790	4.45	0.324	4.43	0.801	4.45	0.346	4.37	0.816	4.41	0.331	4.27	0.879	4.30	0.357
	3	この授業のレベルは適切である	4.44	0.806	4.49	0.387	4.43	0.824	4.46	0.353	4.44	0.803	4.46	0.318	4.39	0.799	4.41	0.347	4.44	1.154	4.40	0.449
	4	この授業を進める速さは適切である	4.51	0.737	4.56	0.336	4.52	0.735	4.57	0.330	4.55	0.695	4.56	0.286	4.47	0.745	4.48	0.305	4.65	0.976	4.63	0.341
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.62	0.639	4.66	0.270	4.63	0.653	4.67	0.267	4.66	0.598	4.68	0.243	4.64	0.604	4.66	0.235	4.51	0.715	4.53	0.332
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.54	0.744	4.59	0.324	4.56	0.703	4.62	0.316	4.57	0.671	4.59	0.274	4.56	0.679	4.58	0.251	4.42	0.778	4.45	0.354
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.55	0.705	4.60	0.317	4.57	0.734	4.63	0.347	4.58	0.686	4.60	0.299	4.57	0.670	4.59	0.291	4.44	0.789	4.47	0.408
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.58	0.697	4.63	0.305	4.61	0.684	4.66	0.301	4.64	0.624	4.66	0.251	4.62	0.623	4.65	0.280	4.47	0.770	4.51	0.372
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.37	0.878	4.46	0.407	4.39	0.864	4.46	0.407	4.43	0.807	4.47	0.386	4.40	0.790	4.44	0.349	4.24	0.911	4.30	0.462
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.33	0.887	4.37	0.398	4.32	0.914	4.35	0.402	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.59	0.684	4.64	0.334	4.62	0.678	4.67	0.313	4.63	0.638	4.66	0.306	4.61	0.628	4.64	0.271	4.49	0.763	4.52	0.415
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.25	0.921	4.36	0.453	4.31	0.903	4.39	0.470	4.32	0.830	4.35	0.447	4.28	0.857	4.30	0.470	4.15	0.916	4.19	0.538
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.43	0.808	4.54	0.387	4.45	0.836	4.53	0.457	4.48	0.751	4.50	0.414	4.48	0.719	4.53	0.349	4.34	0.831	4.37	0.445
「スポ健」 のみ	22	運動量は	4.47	0.790	4.53	0.321	4.52	0.733	4.57	0.302	4.50	0.728	4.54	0.269	4.42	0.778	4.45	0.323	4.36	0.857	4.39	0.355
	23	体力・健康状態が改善された	4.24	0.871	4.34	0.400	4.25	0.889	4.31	0.403	4.23	0.857	4.28	0.405	4.12	0.882	4.16	0.401	4.00	0.922	4.08	0.478
	24	運動技術が向上した	4.26	0.874	4.35	0.400	4.25	0.877	4.33	0.416	4.24	0.879	4.30	0.447	4.16	0.892	4.20	0.421	4.03	0.909	4.11	0.446
	25	履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られ た	4.38	0.831	4.43	0.371	4.40	0.813	4.45	0.330	4.35	0.839	4.39	0.360	4.30	0.841	4.31	0.340	4.24	0.865	4.29	0.392
	26	身体や運動に対する関心が高まった	4.34	0.845	4.42	0.401	4.34	0.857	4.40	0.402	4.32	0.851	4.36	0.403	4.27	0.840	4.29	0.390	4.16	0.894	4.22	0.437
	27	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	4.44	0.773	4.51	0.340	4.47	0.758	4.51	0.336	4.44	0.737	4.47	0.324	4.39	0.750	4.41	0.330	4.29	0.802	4.33	0.406
	28	自分の生活習慣を見直す機会となった	4.30	0.893	4.37	0.369	4.30	0.905	4.36	0.393	4.27	0.884	4.31	0.376	4.18	0.906	4.20	0.389	4.04	0.972	4.09	0.449
	29	施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	4.58	0.680	4.63	0.309	4.63	0.646	4.65	0.263	4.58	0.667	4.61	0.305	4.54	0.690	4.56	0.270	4.45	0.749	4.49	0.315

VIII. 基礎教養科目運営委員会

本学では、いわゆる教養教育的科目を「総合基礎科目」と位置付けており、通称、学習院ベーシックとしている。基礎教養科目運営委員会は、この「総合基礎科目（学習院ベーシック）」のうち、外国語科目・体育科目・情報処理科目を除く科目の運営を担当している。このため、本章で分析する「基礎教養科目」は、「総合基礎科目」のうち基礎教養科目運営委員会が担当する科目のみを対象とする。

A) 集計データからわかること

基礎教養科目に関しては、授業評価アンケートの対象となる 79 科目（開講数は 73 科目）すべてについてアンケートを実施したため、実施率は昨年同様に 100%であった。

学生の回答率（回答者数 / 総履修者数）は 44.79%で、大学全体の回答率（51.82%）と比較すると 7.03%低かった（ . 実施に関わる全体的な状況と評価 図表 1 参照）。

この理由としては、基礎教養科目が、全学的にかなり回答率が高い演習科目（大学全体の回答率 75.38%）が 1 科目のみの開講であり、対象となるほぼすべての科目が、比較的の回答率の低い講義科目であったことによるものと考えられる。なお、講義科目のみの平均と比較した場合では、大学全体の回答率（43.26%）に対し、基礎教養科目の回答率は（44.72%）であり、若干上回った。

回答率の経年変化を見ると、37.50%（平成 19 年度）、42.57%（平成 20 年度）と、平成 20 年度までは、増加傾向が見られたものの、平成 21 年度は 38.67%とやや減少したが、平成 22 年度は 41.72%、今年度は 44.79%となっている。

回答率（出席率）を向上させるための施策については、全学的な検討を要する課題と位置づけられるものと思われる。

以下、質問内容別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が 1 科目のみであるため、記載する数値は、すべて講義形態のものを引用する。

Q 1 私はこの授業によく出席している

出席状況は、昨年同様、大学全体の平均を若干下回った。出席率別で見ると、90%以上出席している学生（70.42%）では大学全体の平均（72.80%）を下回るものの、89%以下の各区分では、概ね大学全体の平均を上回った。例年同様、他の質問項目との相関係数は非常に低く、授業への出席率が高くても、学生の意欲や満足度には必ずしも結びついていないことがわかる。

Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

学生の授業への意欲度についても、昨年同様、大学全体の平均を下回った。とりわけ、肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率（以下、「肯定の割合」と略す）が 54.12%で、大学全体としての「肯定の割合」56.70%に対し、若干低かった。

どの部門の講義科目においても、語学や演習の形態の授業に比して低い傾向が見られることから、講義科目は、自ら参加しているという意識を持ちにくい科目であると捉えることができる。他の質問項目との相関係数はやや低く、意欲的に授業に取り組んでいても、必ずしも満足度の高さに結びついていないことがわかる。

Q3 この授業のレベルは適切である

授業のレベルの適切度については、昨年同様に大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」では 73.55%であった（大学全体の「肯定の割合」は 66.66%）。授業を進める速さの適切度（Q4）や授業の理解しやすさ（Q7）や授業への総合的評価（Q11）との相関係数が昨年同様に高かった。

Q4 この授業を進める速さは適切である

授業を進める速さの適切度についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 74.93%となった（大学全体の「肯定の割合」は 67.72%）。授業の理解しやすさ（Q7）教員の話し方（Q8）授業への総合的評価（Q11）との相関係数が、昨年同様に高かった。

Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる

授業に対する教員の熱意についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 83.59%であった（大学全体は 78.75%）。昨年同様に授業への総合的評価（Q11）との相関係数が高く、教員の熱意が授業への総合的評価に直接反映されていることがわかる。

Q6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

教室内が学習にふさわしい状態に保たれているかについては、今回は大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 75.39%であった（大学全体は 72.40%）。

Q7 教員は理解しやすい授業を行っている

授業の理解しやすさについても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 76.27%であった（大学全体は 69.64%）。授業への総合的評価（Q11）との相関係数が 0.759 と、相関係数表の中でも例年同様に最も高い数値を示し、授業の理解しやすさが、そのまま授業への総合的評価に強く結びついていることがわかる。

Q8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

教員の話し方についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 77.53%と、昨年同様に、ほぼ 8 割の受講生から評価を得られた結果となった（大学全体は 71.34%）。授業への総合的評価（Q11）との相関係数が 0.685 と高く、教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）が、授業への総合的評価に例年同様に強く結びついていることがわかる。

Q9 この授業によって知的な好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的な好奇心の刺激についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 77.01%であった（大学全体では 68.51%）。授業への総合的評価（Q11）との相関係数が 0.703 と高く、知的な好奇心が刺激されるような授業は、例年同様に授業への総合的評価に強く結びつくことがわかる。

Q10 この授業のシラバスは受講に役立つ

一昨年度から新設された設問であり、「肯定の割合」は 44.75%（昨年度は 46.40%）と、昨年度よりも更に低く（大学全体でも 42.36% 39.48%と低下した）昨年同様に、設問中、最も低い数値を示した。一方で、否定を意味する「全くそう思わない」「あまりそう思わない」という回答の合計比率も 4.72%（昨年度は 5.33%）（大学全体は 5.00% 5.02%）と低かったことから、シラバスが受講に役立たなかったということでもないということがわかる。つまり、シラバスが受講に役立ったか否かということよりも、そもそもシラバスを読まずに履修したという回答が 27.68%（昨年度は 25.47%、大学全体でも 31.17% 33.86%）と、昨年度を更に上回った。このアンケート結果から、基礎教養科目では受講生の 4 人に 1 人（大学全体は、およそ 3 人に 1 人）が、シラバスを読まずに履修登録したことがわかる。なお、本設問は、他のどの質問項目との相関係数も、昨年同様に低い数値を示した。

Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業への総合的評価については、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 78.54%と、ほぼ 8 割の受講生から評価を得られた結果となった（大学全体は 72.35%）。授業のレベルの適切度（Q3）、授業を進める速さの適切度（Q4）、授業に対する教員の熱意（Q5）、授業の理解しやすさ（Q7）、教員の話し方（Q8）、知的好奇心の刺激（Q9）といった多くの項目と本設問との相関係数が例年同様に非常に高い傾向にある。この傾向は基礎教養科目に限らず全学的に見られるものであり、教員の授業に対する取り組み姿勢が、そのまま授業に対する満足度としての評価につながっていることが分かる。

Q12 板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である

板書の仕方やすライド提示の仕方については、大学全体の平均を上回った。教材（教科書、配布資料等）の内容の適切度（Q13）との相関係数が 0.668 と最も高く、必ずしも配布するわけではないスライドも、受講生にとっては教材の 1 つと受け止められていることがわかる。

Q13 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

教材の内容の適切度についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 76.11%であった（大学全体は 71.15%）。例年同様、授業への総合的評価（Q11）との相関係数が高く、教材の内容の適切度が、そのまま授業への満足度に結びついていることがわかる。

Q18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

本設問は、基礎教養科目に特化した項目であり、「肯定の割合」は前年（85.16%）を上回る 85.58%という高い結果であった。この比率は、学年進行とともに高くなる傾向が従前どおり見られる。また、総履修者数ランク別で見ると、「50 名以下」の場合は、その比率は 90%を超える非常に高い数値を示した。

Q19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

「肯定の割合」は 75.36%という結果であった。この比率も、学年進行とともに高くなり、4 年生では 90%に達していた。なお、総履修者数ランク別で見ると、「肯定の割合」は、「50

第2章 各部門の評価・分析

名以下」の場合がほぼ90%であったのに対し、「51名以上」になると低くなる傾向が見られた。

授業形態別の分析

基礎教養科目は、演習科目が1科目のみの開講であり、ほぼすべて「講義」の形態で授業が行われている。全体のアンケート結果を見ると、「演習」形式の授業が、多くの項目で「講義」形式の授業より評価が高いことがわかる（第4章資料集参照）。

その理由として、「演習」は、比較的履修者数が少ないために教員の目が届きやすいこと、発表やディスカッションなど履修者参加型の授業形式であることが挙げられる。

基礎教養科目の場合、履修者数が多い科目の比重が他の科目に比して高く、教員から学生への一方通行型の講義となる傾向になりがちであることから、学生が授業に参加しているという一体感を持てるような工夫が個々の教員に求められる。

学年別の分析

今回のアンケート結果からは、例年同様、授業への出席状況を除くすべての質問項目において、学年進行に比例して、評価が高くなる傾向にあることがうかがえる（第4章資料集参照）。この理由については、アンケート結果のみで即断することはできないが、高学年になるにつれて、必修科目や選択必修科目の履修登録数が減少してくるため、結果的に時間割に余裕が生じ、学生は自らの意思で学びたい科目を履修しているということが影響しているものと思われる。

なお、出席率については、例年同様、学年進行と反比例し、1年生が最も高い数値という結果になった。

総履修者数ランク別の分析

総履修者数規模を「25名以下」「26～50名」「51名～100名」「101～200名」「201名以上」という5つのランクに分類し、これらのランク別に平均値の差について分析した（第4章資料集参照）。

Q2 学生の授業への意欲度、Q3 授業のレベルの適切度、Q4 授業の速さの適切度、Q5 授業に対する教員の熱意、Q6 教室内の学習環境、Q7 授業の理解しやすさ、Q8 教員の話し方、Q9 知的好奇心の刺激、Q11 授業への総合的評価、といった多くの項目で高い評価を得ているのは「25名以下」および「26～50名」のランクの科目であることがわかる。この理由としては、学生と教員との距離感が近く、双方にとって適度な緊張感が生まれているためと考えられる。一方、「101～200名以上」「201名以上」という履修者数の多い科目では、評価の低い項目が目立つ傾向にある。

履修者数が非常に多い基礎教養科目（注1）が、いくつかの項目で大学全体の平均を下回った原因のひとつが、こうした傾向によるものであるならば、例えば今後、履修者数の

多い科目を増設・分散化したり、あるいは履修者数制限を行うなど、1科目当りの履修者数の抑制（適正化）を図ることで、学生の授業に対する満足度を向上させるように、基礎教養科目運営委員会において、引き続き審議していく必要がある。

注1) 平成23年度の講義科目における1科目当りの履修者数平均は、法学部が最も多く191名で、続いて経済学部が159名、基礎教養科目が151名であった。因みに、文学部は80名、理学部は65名、大学全体では121名であった。

B) 今後の課題

今回の授業評価アンケートは6回目の実施となり、これまでのアンケート結果を踏まえた各担当教員の授業内容に対する改善の努力が、随所で数字にも表われている。しかし、履修登録のみで実際には授業に出席しない学生への対応や、学生を意欲的に授業に取り組ませるための施策や、履修者全員が着座して授業を聴講できるようにするための体制作り等、全学的に取り組むべき課題として残されている。

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

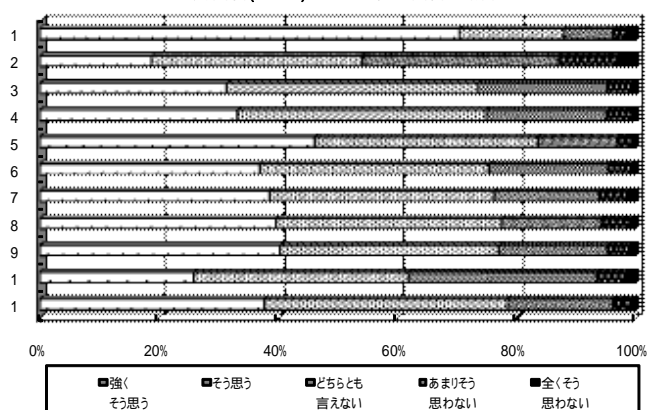
部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回収率
回収数	5,317	11,889	44.72%

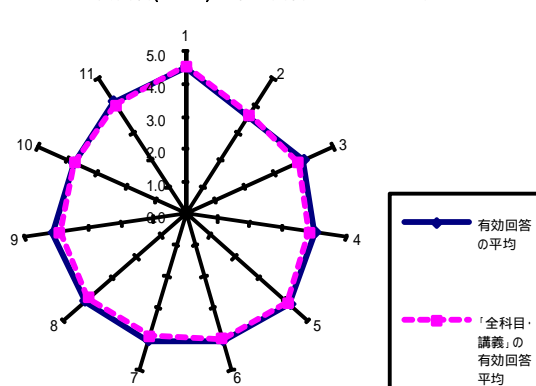
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率40%以下	3,738	932	435	108	95	9	5,317	4.53	0.866	4.49	0.301
			70.30%	17.53%	8.18%	2.03%	1.79%	0.17%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	995	1,876	1,747	514	173	12	5,317	3.57	1.005	3.60	0.374
			18.71%	35.28%	32.86%	9.67%	3.25%	0.23%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,662	2,237	1,145	211	46	16	5,317	3.99	0.876	3.99	0.334
			31.26%	42.07%	21.53%	3.97%	0.87%	0.30%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,760	2,215	1,070	221	39	12	5,317	4.02	0.875	4.05	0.322
			33.10%	41.66%	20.12%	4.16%	0.73%	0.23%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	2,449	1,985	703	127	40	13	5,317	4.26	0.831	4.29	0.355
			46.06%	37.33%	13.22%	2.39%	0.75%	0.24%	100.00%				
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,960	2,038	1,058	198	49	14	5,317	4.07	0.893	4.11	0.334
		36.86%	38.33%	19.90%	3.72%	0.92%	0.26%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,048	1,998	927	256	76	12	5,317	4.07	0.937	4.10	0.410	
		38.52%	37.58%	17.43%	4.81%	1.43%	0.23%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	2,100	2,009	887	249	55	17	5,317	4.10	0.913	4.14	0.361	
		39.50%	37.78%	16.68%	4.68%	1.03%	0.32%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	2,129	1,941	964	185	66	32	5,317	4.11	0.908	4.17	0.295	
		40.04%	36.51%	18.13%	3.48%	1.24%	0.60%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 27.57%)	989	1,381	1,210	178	72	21	5,317	3.79	0.942	3.84	0.270	
		18.60%	25.97%	22.76%	3.35%	1.35%	0.39%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,980	2,145	926	153	48	65	5,317	4.12	0.860	4.14	0.340	
		37.24%	40.34%	17.42%	2.88%	0.90%	1.22%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,590	1,848	1,166	457	97	159	5,317	3.85	1.017	3.93	0.434
			29.90%	34.76%	21.93%	8.60%	1.82%	2.99%	100.00%				
13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,815	2,096	1,015	154	59	178	5,317	4.06	0.878	4.11	0.315	
		34.14%	39.42%	19.09%	2.90%	1.11%	3.35%	100.00%					
基礎教養	18	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	942	779	231	43	16	3,306	5,317	4.29	0.811	4.31	0.390
			17.72%	14.65%	4.34%	0.81%	0.30%	62.18%	100.00%				
19	授業の内容や構成は全体としてみとまりのあるもの だった(複数講師による授業の場合のみ回答)	227	238	118	23	11	4,700	5,317	4.05	0.932	4.19	0.538	
		4.27%	4.48%	2.22%	0.43%	0.21%	88.40%	100.00%					

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

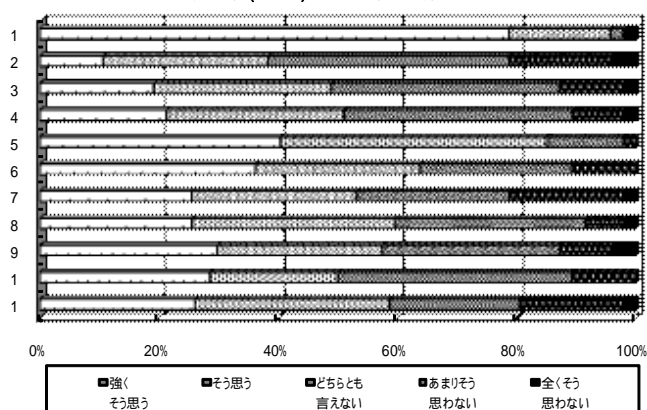
部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回収率
回収数	47	86	54.65%

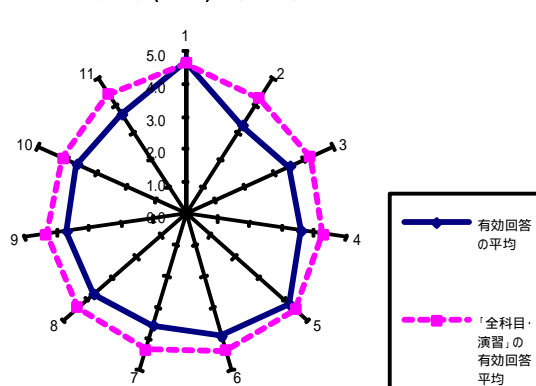
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	37	8	1	0	1	0	47	4.70	0.720	4.70	-
			78.72%	17.02%	2.13%	0.00%	2.13%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	5	13	19	8	2	0	47	3.23	1.005	3.23	-
			10.64%	27.66%	40.43%	17.02%	4.26%	0.00%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	9	14	18	5	1	0	47	3.53	0.997	3.53	-
			19.15%	29.79%	38.30%	10.64%	2.13%	0.00%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	10	14	18	4	1	0	47	3.60	0.993	3.60	-
			21.28%	29.79%	38.30%	8.51%	2.13%	0.00%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	19	21	6	1	0	0	47	4.23	0.758	4.23	-
			40.43%	44.68%	12.77%	2.13%	0.00%	0.00%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	17	13	12	5	0	0	47	3.89	1.026	3.89	-
		36.17%	27.66%	25.53%	10.64%	0.00%	0.00%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	12	13	12	9	1	0	47	3.55	1.138	3.55	-	
		25.53%	27.66%	25.53%	19.15%	2.13%	0.00%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	12	16	15	3	1	0	47	3.74	0.988	3.74	-	
		25.53%	34.04%	31.91%	6.38%	2.13%	0.00%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	14	13	14	4	2	0	47	3.70	1.121	3.70	-	
		29.79%	27.66%	29.79%	8.51%	4.26%	0.00%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立った (シラバスを読まなかった人 40.43%)	8	6	11	3	0	0	47	3.68	1.020	3.68	-	
		17.02%	12.77%	23.40%	6.38%	0.00%	0.00%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	12	15	10	8	1	1	47	3.63	1.123	3.63	-	
		25.53%	31.91%	21.28%	17.02%	2.13%	2.13%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	6	7	18	9	7	0	47	2.91	1.213	2.91	-
			12.77%	14.89%	38.30%	19.15%	14.89%	0.00%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	13	16	10	7	1	0	47	3.70	1.102	3.70	-
			27.66%	34.04%	21.28%	14.89%	2.13%	0.00%	100.00%				
基礎教養	18	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	16	13	7	3	1	7	47	4.00	1.062	4.00	-
			34.04%	27.66%	14.89%	6.38%	2.13%	14.89%	100.00%				
	19	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった (複数講師による授業の場合のみ回答)	5	2	2	0	0	38	47	4.33	0.866	4.33	-
			10.64%	4.26%	4.26%	0.00%	0.00%	80.85%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	.354(**)	1													
Q3	.170(**)	.527(**)	1												
Q4	.142(**)	.428(**)	.716(**)	1											
Q5	.169(**)	.388(**)	.546(**)	.592(**)	1										
Q6	.140(**)	.378(**)	.491(**)	.531(**)	.603(**)	1									
Q7	.141(**)	.436(**)	.681(**)	.670(**)	.647(**)	.604(**)	1								
Q8	.132(**)	.388(**)	.575(**)	.659(**)	.615(**)	.573(**)	.738(**)	1							
Q9	.175(**)	.481(**)	.555(**)	.512(**)	.558(**)	.470(**)	.598(**)	.571(**)	1						
Q10	.090(**)	.265(**)	.240(**)	.221(**)	.205(**)	.206(**)	.222(**)	.213(**)	.273(**)	1					
Q11	.177(**)	.505(**)	.671(**)	.653(**)	.672(**)	.573(**)	.759(**)	.685(**)	.703(**)	.277(**)	1				
Q12	.077(**)	.371(**)	.488(**)	.555(**)	.498(**)	.471(**)	.597(**)	.600(**)	.491(**)	.239(**)	.606(**)	1			
Q13	.137(**)	.367(**)	.525(**)	.569(**)	.537(**)	.500(**)	.622(**)	.593(**)	.519(**)	.237(**)	.635(**)	.668(**)	1		
Q18	.144(**)	.386(**)	.576(**)	.529(**)	.560(**)	.487(**)	.626(**)	.539(**)	.553(**)	.232(**)	.678(**)	.491(**)	.553(**)	1	
Q19	.137(**)	.370(**)	.557(**)	.618(**)	.613(**)	.514(**)	.659(**)	.619(**)	.570(**)	.249(**)	.695(**)	.559(**)	.582(**)	.763(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	.339(*)	1													
Q3	0.256	.655(**)	1												
Q4	.376(**)	.664(**)	.815(**)	1											
Q5	0.131	.498(**)	.436(**)	.504(**)	1										
Q6	0.28	.573(**)	.630(**)	.640(**)	.703(**)	1									
Q7	0.099	.607(**)	.731(**)	.722(**)	.552(**)	.740(**)	1								
Q8	0.196	.587(**)	.737(**)	.690(**)	.517(**)	.680(**)	.785(**)	1							
Q9	0.076	.411(**)	.592(**)	.612(**)	.288(*)	.501(**)	.575(**)	.538(**)	1						
Q10	0.102	.457(**)	.552(**)	.603(**)	.316(*)	.394(**)	.520(**)	.524(**)	.475(**)	1					
Q11	.308(*)	.739(**)	.785(**)	.790(**)	.519(**)	.671(**)	.762(**)	.626(**)	.713(**)	.533(**)	1				
Q14	0.219	.623(**)	.650(**)	.675(**)	.401(**)	.534(**)	.728(**)	.562(**)	.525(**)	.585(**)	.735(**)	1			
Q15	0.242	.614(**)	.682(**)	.623(**)	0.268	.587(**)	.689(**)	.747(**)	.367(*)	.464(**)	.602(**)	.599(**)	1		
Q18	.471(**)	.681(**)	.645(**)	.690(**)	.498(**)	.653(**)	.651(**)	.665(**)	.609(**)	.598(**)	.749(**)	.595(**)	.569(**)	1	
Q19	-0.183	0.545	.639	.881(**)	0.612	.751(**)	.924(**)	.924(**)	.881(**)	0.49	.881(**)	.739(*)	.704(*)	1.000(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「基礎教養科目運営委員会」の場合のみ回答】

- Q 18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった
- Q 19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ)

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 基礎教養
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.53	0.866	4.49	0.301	4.47	0.914	4.43	0.276	4.38	1.012	4.38	0.409	4.32	1.026	4.30	0.344	4.38	1.004	4.38	0.360
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.57	1.005	3.60	0.374	3.58	1.025	3.61	0.414	3.48	1.047	3.55	0.418	3.35	1.035	3.42	0.419	3.16	1.033	3.25	0.449
	3	この授業のレベルは適切である	3.99	0.876	3.99	0.334	4.04	0.883	4.05	0.355	3.97	0.921	3.95	0.400	3.90	0.917	3.87	0.372	4.38	1.135	4.29	0.494
	4	この授業を進める速さは適切である	4.02	0.875	4.05	0.322	4.11	0.856	4.12	0.316	4.06	0.884	4.03	0.361	4.00	0.853	4.01	0.298	4.57	0.983	4.53	0.296
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.26	0.831	4.29	0.355	4.31	0.814	4.31	0.357	4.23	0.869	4.24	0.416	4.20	0.858	4.22	0.390	4.01	0.882	4.09	0.383
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.07	0.893	4.11	0.334	4.08	0.934	4.10	0.353	3.99	0.946	4.04	0.388	3.90	0.944	3.95	0.374	3.67	1.028	3.82	0.423
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.07	0.937	4.10	0.410	4.13	0.927	4.15	0.438	4.04	0.975	4.04	0.507	3.98	0.954	3.98	0.429	3.71	1.045	3.77	0.483
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.10	0.913	4.14	0.361	4.15	0.910	4.19	0.403	4.10	0.923	4.13	0.440	4.05	0.917	4.09	0.395	3.78	0.996	3.87	0.401
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.11	0.908	4.17	0.295	4.15	0.927	4.18	0.343	4.09	0.960	4.11	0.371	4.05	0.943	4.09	0.344	3.91	0.990	3.98	0.379
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.79	0.942	3.84	0.270	3.81	0.966	3.83	0.320	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	4.12	0.860	4.14	0.340	4.16	0.873	4.17	0.382	4.10	0.925	4.11	0.434	4.05	0.910	4.06	0.404	3.85	0.957	3.92	0.418
'講義' '語学' のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.85	1.017	3.93	0.434	3.94	1.013	3.98	0.444	3.90	1.008	3.93	0.477	3.80	1.029	3.83	0.463	3.53	1.109	3.69	0.535
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.06	0.878	4.11	0.315	4.09	0.910	4.13	0.408	3.99	0.949	4.04	0.431	3.95	0.937	3.97	0.426	3.73	0.979	3.83	0.424
'基礎教養' のみ	18	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいも のだった	4.29	0.811	4.31	0.390	4.33	0.804	4.30	0.411	4.23	0.899	4.19	0.443	4.23	0.849	4.14	0.416	4.09	0.908	4.04	0.407
	19	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるも のだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	4.05	0.932	4.19	0.538	4.05	0.923	4.14	0.573	3.90	1.019	4.10	0.545	3.96	0.921	3.95	0.502	3.75	1.001	3.87	0.516

部門名 基礎教養
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.70	0.720	4.70	-	4.21	0.940	4.21	-	4.48	0.802	4.48	-	4.48	0.750	4.48	-	-	-	-	-
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.23	1.005	3.23	-	3.72	0.960	3.72	-	3.11	1.311	3.11	-	2.95	0.899	2.95	-	-	-	-	-
	3	この授業のレベルは適切である	3.53	0.997	3.53	-	3.83	0.889	3.83	-	3.52	1.221	3.52	-	3.23	0.869	3.23	-	-	-	-	-
	4	この授業を進める速さは適切である	3.60	0.993	3.60	-	4.17	0.889	4.17	-	3.93	1.174	3.93	-	3.68	0.945	3.68	-	-	-	-	-
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.23	0.758	4.23	-	4.31	0.967	4.31	-	4.04	1.126	4.04	-	4.09	0.921	4.09	-	-	-	-	-
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.89	1.026	3.89	-	4.28	1.066	4.28	-	3.56	1.086	3.56	-	3.73	0.883	3.73	-	-	-	-	-
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.55	1.138	3.55	-	4.21	0.978	4.21	-	3.74	1.095	3.74	-	3.32	1.086	3.32	-	-	-	-	-
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.74	0.988	3.74	-	4.21	0.902	4.21	-	4.00	1.109	4.00	-	4.00	1.024	4.00	-	-	-	-	-
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.70	1.121	3.70	-	4.21	1.048	4.21	-	3.96	1.091	3.96	-	3.82	1.053	3.82	-	-	-	-	-
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.68	1.020	3.68	-	3.96	0.878	3.96	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	3.63	1.123	3.63	-	4.31	0.930	4.31	-	3.96	1.055	3.96	-	3.82	0.733	3.82	-	-	-	-	-
'演習' '語学' のみ	14	教員は参加者が発表に発言や議論が行えるよ う心がけていた	2.91	1.213	2.91	-	3.68	1.307	3.68	-	3.17	1.154	3.17	-	2.55	0.963	2.55	-	-	-	-	-
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3.70	1.102	3.70	-	4.07	0.917	4.07	-	3.39	1.076	3.39	-	3.14	0.941	3.14	-	-	-	-	-
'基礎教養' のみ	18	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいも のだった	4.00	1.062	4.00	-	4.32	0.988	4.32	-	5.00	-	5.00	-	4.17	0.835	4.17	-	-	-	-	-
	19	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるも のだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	4.33	0.866	4.33	-	4.38	0.961	4.38	-	-	-	-	-	4.00	0.817	4.00	-	-	-	-	-

・教職課程

1. 集計データから分かること

教職課程において、学生による授業評価は、本学全体におけると同様に平成18(2006)年度から実施している。

結果を見た場合、演習の場合の「Q1 私はこの授業によく出席している」では、出席率90%以上が79.90%を占め、学生回答単純集計平均4.76となっている。また講義の場合の同設問においては、出席率90%以上73.55パーセントを占め、学生回答単純集計平均4.63である。なかんずく演習に関しては、教職課程の場合は100名超の受講学生数の授業が多く占める実態があり、そのことを斟酌すれば、この出席率は良好な結果を得ていると考えることができる。学生の授業への出席は、学習効果を高めるための最も基本的な課題であることを念頭に置き、今後も授業改善に努めていきたい。

一方で、単に授業に出席しているだけでは、とりわけ教職課程の目ざす中等教育の教員としての高い資質の育成という点では不十分であり、学生の主体的な授業への意欲を引き出せているかが問われなければならない。この点で、「Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」では、学生回答単純集計平均が演習で4.18、講義で3.82である。とりわけ講義においては、さらに意欲を高めることができるよう工夫が望まれる結果となっている。

さらに、授業を受けた結果、学生がそれをどう評価しているのかという点では、「Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」が、演習が4.28、講義が4.11となっている。これらは、わずかだが、年々ポイントを落とし続けている実態があることを示している。

以上から見たとき、おおむね良好な授業評価を学生から得てはいるが、資格取得を目指す学生が受講している部門であるので当然の結果ともいえる。現状に満足することなくさらに授業改善に努め、より充実した授業を目指したい。

2. 今後の授業改善に向けて

学生による授業評価の実施は、授業に対する問題点を解決していく糸口になり得るものであり、今後も、授業改善にそれをどう活かすのかを、引き続き議論していく。

教職課程では、21年度から教育実習（実習事前講義）を3年時に集中講義方式で行うことのほか、「教育課程論」を必修科目として開設した。また、文部科学省の指導により、来年度から、教育実習を終えた4年生を対象とする「教職実践演習」を新規に開設することになる。これらのカリキュラム改革によって教職課程の授業体系が改善され、より実践力の身に付いた学生を輩出することが可能になる見込みである。しかし、必修科目がますます増加することで、教職課程履修に対する学生の負担感が一層高まることは間違いない。今後教員採用の増加が見込まれるだけに、このような負担増が教職課程履修希望者の減少を引き起こさないよう、新たな工夫を重ねていく必要があると考えている。

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

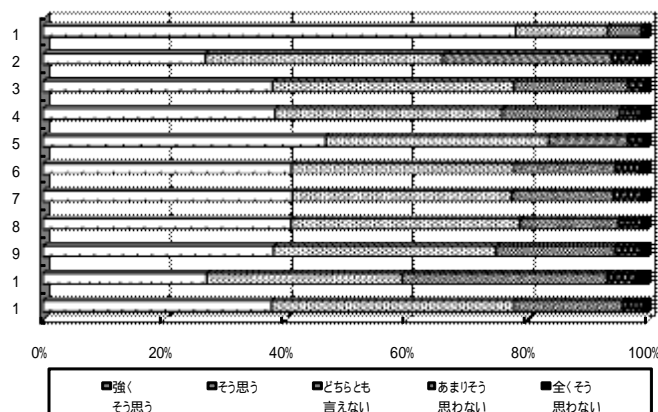
部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,647	2,500	65.88%

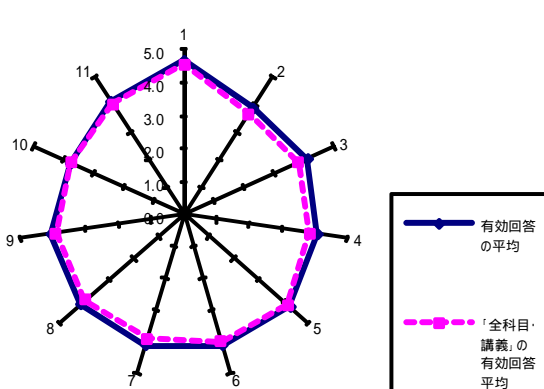
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全(そ)う 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によ(出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下)	1,284	251	89	12	9	2	1,647	4.70	0.656	4.69	0.153
			77.96%	15.24%	5.40%	0.73%	0.55%	0.12%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	441	644	455	79	24	4	1,647	3.85	0.921	3.87	0.283
			26.78%	39.10%	27.63%	4.80%	1.46%	0.24%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	623	654	308	43	14	5	1,647	4.11	0.858	4.18	0.316
			37.83%	39.71%	18.70%	2.61%	0.85%	0.30%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	629	616	316	57	23	6	1,647	4.08	0.914	4.16	0.356
			38.19%	37.40%	19.19%	3.46%	1.40%	0.36%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	768	604	215	38	18	4	1,647	4.26	0.851	4.31	0.266
			46.63%	36.67%	13.05%	2.31%	1.09%	0.24%	100.00%				
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	674	603	272	66	26	6	1,647	4.12	0.931	4.18	0.324
		40.92%	36.61%	16.51%	4.01%	1.58%	0.36%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	677	595	273	75	22	5	1,647	4.11	0.932	4.19	0.375	
		41.11%	36.13%	16.58%	4.55%	1.34%	0.30%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	673	620	266	64	19	5	1,647	4.14	0.902	4.21	0.370	
		40.86%	37.64%	16.15%	3.89%	1.15%	0.30%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	623	600	320	69	23	12	1,647	4.06	0.932	4.13	0.317	
		37.83%	36.43%	19.43%	4.19%	1.40%	0.73%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立った (シラバスを読まなかった人 36.79%)	280	334	349	47	24	7	1,647	3.77	0.974	3.81	0.264	
		17.00%	20.28%	21.19%	2.85%	1.46%	0.43%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	616	653	290	57	15	16	1,647	4.10	0.876	4.17	0.336	
		37.40%	39.65%	17.61%	3.46%	0.91%	0.97%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	432	495	456	145	53	66	1,647	3.70	1.068	3.87	0.507
			26.23%	30.05%	27.69%	8.80%	3.22%	4.01%	100.00%				
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	580	590	324	52	28	73	1,647	4.04	0.930	4.13	0.341
			35.22%	35.82%	19.67%	3.16%	1.70%	4.43%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

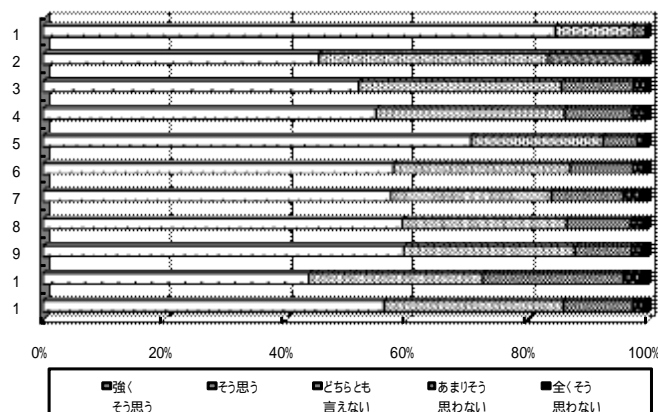
部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,852	2,299	80.56%

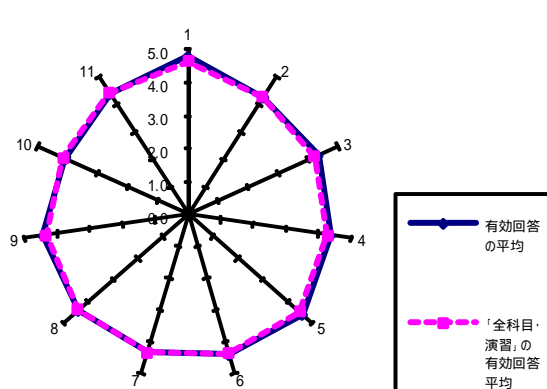
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,561	235	39	8	2	7	1,852	4.81	0.483	4.80	0.163
			84.29%	12.69%	2.11%	0.43%	0.11%	0.38%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	841	698	263	26	17	7	1,852	4.26	0.820	4.31	0.249
			45.41%	37.69%	14.20%	1.40%	0.92%	0.38%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	961	615	219	38	9	10	1,852	4.35	0.804	4.35	0.312
			51.89%	33.21%	11.83%	2.05%	0.49%	0.54%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,015	574	204	37	14	8	1,852	4.38	0.817	4.40	0.323
			54.81%	30.99%	11.02%	2.00%	0.76%	0.43%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,302	401	104	19	16	10	1,852	4.60	0.720	4.59	0.311
			70.30%	21.65%	5.62%	1.03%	0.86%	0.54%	100.00%				
	6	教員は教室が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,068	537	190	30	19	8	1,852	4.41	0.819	4.44	0.309
		57.67%	29.00%	10.26%	1.62%	1.03%	0.43%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,057	488	218	50	27	12	1,852	4.36	0.898	4.41	0.394	
		57.07%	26.35%	11.77%	2.70%	1.46%	0.65%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,093	500	192	36	20	11	1,852	4.42	0.837	4.47	0.345	
		59.02%	27.00%	10.37%	1.94%	1.08%	0.59%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,095	520	171	27	25	14	1,852	4.43	0.827	4.44	0.336	
		59.13%	28.08%	9.23%	1.46%	1.35%	0.76%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立った (シラバスを読まなかった人 24.78%)	604	394	320	37	20	18	1,852	4.11	0.948	4.16	0.326	
		32.61%	21.27%	17.28%	2.00%	1.08%	0.97%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,026	540	207	30	18	31	1,852	4.39	0.826	4.42	0.356	
		55.40%	29.16%	11.18%	1.62%	0.97%	1.67%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	1,020	446	217	24	27	118	1,852	4.39	0.871	4.39	0.383
			55.08%	24.08%	11.72%	1.30%	1.46%	6.37%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	955	503	224	27	22	121	1,852	4.35	0.857	4.39	0.322
			51.57%	27.16%	12.10%	1.46%	1.19%	6.53%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 教職課程
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.279(**)	1											
Q3	.188(**)	.562(**)	1										
Q4	.148(**)	.477(**)	.791(**)	1									
Q5	.168(**)	.418(**)	.637(**)	.674(**)	1								
Q6	.126(**)	.417(**)	.608(**)	.616(**)	.639(**)	1							
Q7	.138(**)	.457(**)	.722(**)	.736(**)	.673(**)	.704(**)	1						
Q8	.150(**)	.445(**)	.652(**)	.684(**)	.624(**)	.631(**)	.785(**)	1					
Q9	.186(**)	.501(**)	.622(**)	.587(**)	.565(**)	.539(**)	.654(**)	.626(**)	1				
Q10	.111(**)	.262(**)	.240(**)	.228(**)	.207(**)	.194(**)	.225(**)	.223(**)	.286(**)	1			
Q11	.146(**)	.508(**)	.709(**)	.710(**)	.686(**)	.642(**)	.760(**)	.685(**)	.737(**)	.281(**)	1		
Q12	.097(**)	.425(**)	.551(**)	.537(**)	.499(**)	.502(**)	.604(**)	.574(**)	.508(**)	.303(**)	.632(**)	1	
Q13	.109(**)	.385(**)	.598(**)	.579(**)	.571(**)	.550(**)	.615(**)	.537(**)	.532(**)	.250(**)	.652(**)	.705(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 教職課程
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.242(**)	1											
Q3	.179(**)	.538(**)	1										
Q4	.137(**)	.413(**)	.750(**)	1									
Q5	.126(**)	.334(**)	.564(**)	.623(**)	1								
Q6	.128(**)	.372(**)	.562(**)	.591(**)	.650(**)	1							
Q7	.130(**)	.403(**)	.671(**)	.673(**)	.630(**)	.661(**)	1						
Q8	.150(**)	.413(**)	.635(**)	.648(**)	.625(**)	.641(**)	.812(**)	1					
Q9	.184(**)	.449(**)	.620(**)	.590(**)	.608(**)	.601(**)	.679(**)	.683(**)	1				
Q10	.082(**)	.287(**)	.326(**)	.306(**)	.238(**)	.292(**)	.316(**)	.310(**)	.344(**)	1			
Q11	.185(**)	.450(**)	.706(**)	.691(**)	.653(**)	.646(**)	.784(**)	.753(**)	.770(**)	.349(**)	1		
Q14	.148(**)	.385(**)	.491(**)	.511(**)	.515(**)	.528(**)	.517(**)	.539(**)	.529(**)	.249(**)	.579(**)	1	
Q15	.105(**)	.375(**)	.546(**)	.565(**)	.555(**)	.554(**)	.600(**)	.580(**)	.568(**)	.284(**)	.650(**)	.736(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 教職課程
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率60%以下	4.70	0.656	4.69	0.153	4.63	0.740	4.56	0.281	4.60	0.719	4.58	0.162	4.64	0.756	4.60	0.231	4.70	0.650	4.71	0.151
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.85	0.921	3.87	0.283	3.82	0.959	3.82	0.283	3.81	0.937	3.80	0.293	3.88	0.893	3.85	0.314	3.62	0.898	3.65	0.338
	3	この授業のレベルは適切である	4.11	0.858	4.18	0.316	4.09	0.874	4.10	0.286	4.12	0.875	4.10	0.383	4.16	0.827	4.15	0.290	4.68	0.874	4.67	0.268
	4	この授業を進める速さは適切である	4.08	0.914	4.16	0.356	4.09	0.917	4.09	0.300	4.13	0.902	4.12	0.467	4.18	0.816	4.18	0.320	4.61	0.938	4.60	0.250
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.26	0.851	4.31	0.266	4.32	0.810	4.33	0.310	4.28	0.885	4.29	0.364	4.38	0.757	4.39	0.278	4.14	0.861	4.20	0.393
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.12	0.931	4.18	0.324	4.16	0.875	4.17	0.304	4.14	0.922	4.15	0.320	4.27	0.809	4.29	0.237	4.08	0.914	4.11	0.394
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.11	0.932	4.19	0.375	4.14	0.950	4.13	0.354	4.17	0.940	4.17	0.416	4.24	0.861	4.25	0.375	3.99	0.983	4.05	0.505
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.14	0.902	4.21	0.370	4.16	0.933	4.16	0.371	4.20	0.910	4.20	0.416	4.26	0.851	4.30	0.404	4.01	0.960	4.09	0.477
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.06	0.932	4.13	0.317	4.03	0.940	4.05	0.303	4.15	0.962	4.16	0.386	4.24	0.831	4.26	0.235	4.03	0.965	4.07	0.398
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ	3.77	0.974	3.81	0.284	3.86	0.977	3.90	0.309	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.10	0.876	4.17	0.336	4.11	0.880	4.12	0.314	4.19	0.913	4.20	0.418	4.25	0.807	4.27	0.290	4.00	0.952	4.07	0.452
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	3.70	1.068	3.87	0.507	3.80	1.079	3.83	0.451	3.84	1.017	3.87	0.470	3.84	1.003	3.92	0.471	3.51	1.083	3.62	0.562
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.04	0.930	4.13	0.341	4.08	0.922	4.07	0.325	4.09	0.916	4.09	0.392	4.20	0.839	4.23	0.310	3.96	0.907	4.02	0.400

部門名 教職課程
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率60%以下	4.81	0.483	4.80	0.163	4.76	0.538	4.74	0.169	4.81	0.518	4.73	0.236	4.79	0.494	4.75	0.201	4.82	0.492	4.78	0.209
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.26	0.820	4.31	0.249	4.18	0.872	4.23	0.310	4.29	0.801	4.26	0.302	4.22	0.793	4.25	0.265	4.08	0.847	4.12	0.415
	3	この授業のレベルは適切である	4.35	0.804	4.35	0.312	4.23	0.896	4.25	0.364	4.33	0.870	4.27	0.389	4.24	0.869	4.31	0.380	4.66	0.873	4.64	0.397
	4	この授業を進める速さは適切である	4.38	0.817	4.40	0.323	4.24	0.914	4.27	0.373	4.33	0.874	4.29	0.390	4.26	0.884	4.31	0.393	4.71	0.814	4.71	0.343
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.60	0.720	4.59	0.311	4.50	0.801	4.51	0.322	4.51	0.814	4.49	0.388	4.54	0.743	4.57	0.313	4.40	0.762	4.43	0.342
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.41	0.819	4.44	0.309	4.33	0.898	4.37	0.330	4.40	0.840	4.39	0.399	4.33	0.853	4.38	0.353	4.29	0.815	4.34	0.321
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.36	0.898	4.41	0.394	4.25	0.991	4.28	0.447	4.38	0.889	4.35	0.421	4.21	0.979	4.29	0.447	4.14	0.924	4.23	0.465
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.42	0.837	4.47	0.345	4.32	0.940	4.38	0.392	4.43	0.866	4.39	0.412	4.31	0.905	4.40	0.379	4.19	0.897	4.29	0.412
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.43	0.827	4.44	0.336	4.27	0.984	4.31	0.398	4.39	0.869	4.39	0.392	4.42	0.811	4.49	0.286	4.25	0.850	4.32	0.312
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ	4.11	0.948	4.16	0.326	3.95	1.047	3.97	0.366	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.39	0.826	4.42	0.356	4.28	0.958	4.33	0.419	4.42	0.843	4.40	0.422	4.37	0.862	4.43	0.345	4.26	0.841	4.33	0.377
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.39	0.871	4.39	0.383	4.31	0.932	4.30	0.417	4.30	0.907	4.29	0.502	4.23	0.973	4.34	0.487	4.17	0.906	4.18	0.544
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.35	0.857	4.39	0.322	4.26	0.956	4.29	0.417	4.28	0.918	4.29	0.416	4.23	0.916	4.34	0.363	4.14	0.883	4.21	0.477

・学芸員資格取得に関する委員会

1. 全体的に見て

2007年度より2010年度までと同様、2011年度もまた学芸部門は高い数値を維持している。学芸員資格取得の中心は言うまでも無く、4年次に履修が割り当てられている「博物館実習」(通年の演習形式授業)であるが、この授業に対する学生の評価は、Q3～Q9、Q11においていずれも全学10部門の中で最高となっている。各数値を見ると、回答のうち、「5.強くそう思う」が65～80%を占めており、大部分の学生から十分な評価を受けていることが分る。また、Q1「私はこの授業によく出席している」およびQ2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」の項目に関しては、必ずしも全学の中でトップクラスの数値を示しているわけではないが、アンケートの回答率を見ると、83.02%と、全学で唯一80%を超える高率を示しており、学生の出席率、学習意欲は実際はきわめて高いと考えられる。まじめに授業に取り組んでいる者ほど、自己に対する評価が厳しいということは専門科目の演習にも見られる傾向であり、Q1、Q2の数値は必ずしも額面どおりには受け取れないと思われる。

いずれにせよ、そのような高い評価は、資格取得のため卒業に必要な単位を越えて自発的に選択するという学生の側の意識と、優れた後進を育てたいと考える授業担当者(多くが美術館・博物館・資料館等の現場で活躍する学芸員である)の側の意欲とがうまく噛み合っている結果である。また、昨年度の報告にも記したが、重要なことであるので今年も繰り返すならば、そうした両者の意識がうまく噛み合うという状況は、単に個々の授業の内容、進め方の良し悪しというだけではなく、カリキュラムの設定、非常勤講師の選任についての十分な検討、実習に必要な設備や備品の充実、学生に対して行なわれる徹底したガイダンス、事務室窓口での決め細やかな指導・アドバイスなど、授業以前の、あるいは授業を取り巻く環境の整備によるところが極めて大きいと考えられる。ある非常勤講師(美術館学芸員)からは、「学習院大学では私が教壇に上がると、すぐに私語が収まりシーンと静まり返るまことに心地よい」というお褒めの言葉をいただくほどである。言い換えるならば、FDにとって重要なのは、個々の教員の意識の問題だけではなく、教員が自らの理想とする授業を展開できる状況や枠組、学生が自ら積極的に参加したいと考えるような授業を用意できる状況や枠組を、外側から積極的に構築してゆくということであり、そのような全体としてのFDの仕組が学芸員資格取得関係の履修システムの中に組み込まれているということである。こうした環境は今後とも維持してゆきたいと考えている。

2. 学芸部門の課題について

文部科学省による博物館法施行規則の改正により、平成24年4月から学芸員資格取得に関するカリキュラムが変更された。本学では以前より博物館関係の授業は充実しているため、新課程への移行とは言っても、さほど大幅な変更は生じない。担当教員の顔ぶれも以前の教員がそのまま引き継がれるので、FDという点においても全く問題はない。ただし、文部科学省の新指針に従って、設定科目は以前よりも細分化され、専門性が強くなるので、各科目の内容設定は、これから数年試行錯誤を行わなければならない。そのことは、Q10「この授業のシラバスは受講に役立った」の数値が全学的にも部門としてもさほど高くないということとも関連して、今後の課題となるだろう。

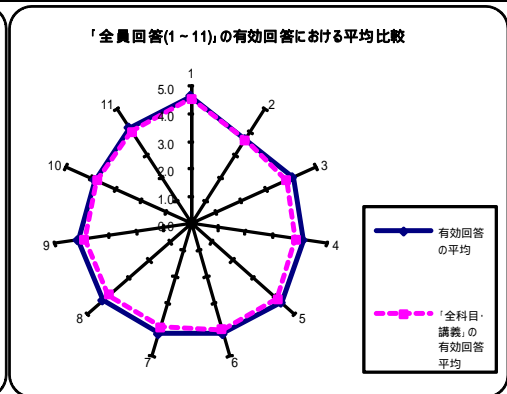
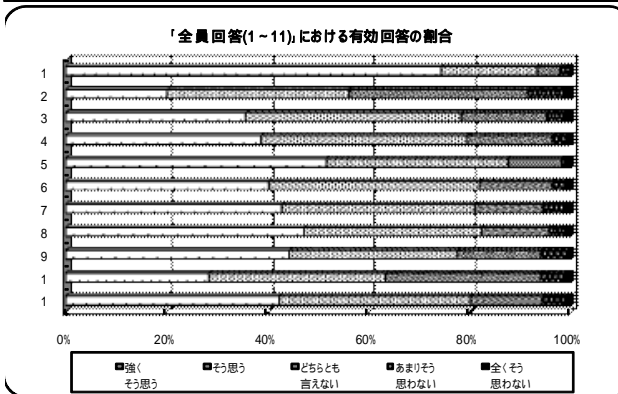
学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

形態名 講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	585	832	70.31%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80-80% 3:出席率70-70% 2:出席率60-50% 1:出席率40%以下	433	111	26	11	2	2	585	4.65	0.687	4.61	0.162
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	117	210	206	41	9	2	585	3.66	0.928	3.70	0.378
	3	この授業のレベルは適切である	208	249	99	18	10	1	585	4.07	0.894	4.02	0.426
	4	この授業を進める速さは適切である	226	238	98	16	6	1	585	4.13	0.860	4.13	0.291
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	301	210	61	5	6	2	585	4.36	0.785	4.45	0.328
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	235	243	84	14	8	1	585	4.17	0.859	4.23	0.267
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	250	223	78	24	9	1	585	4.17	0.916	4.16	0.406
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	275	205	77	19	7	2	585	4.24	0.887	4.23	0.403
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	256	193	95	30	5	6	585	4.15	0.933	4.22	0.379
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 23.76%)	126	155	136	20	7	2	585	3.84	0.943	3.83	0.326
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	243	218	81	26	7	10	585	4.15	0.912	4.22	0.388
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	243	206	94	19	9	14	585	4.15	0.919	4.23	0.302
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	250	193	99	14	7	22	585	4.18	0.894	4.25	0.319



第2章 各部門の評価・分析

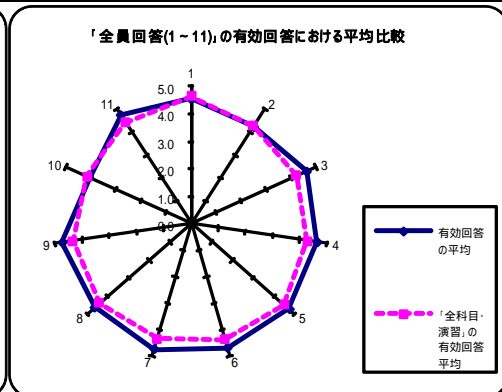
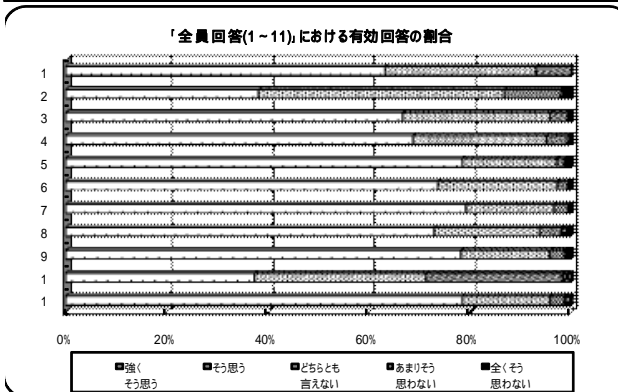
学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

	合計	総履修者数	回収率
回収数	144	174	82.76%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5	4	3	2	1	学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						無回答
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	91	43	10	0	0	0	144	4.56	0.623	4.56	0.258
			63.17%	29.86%	6.94%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	55	70	16	1	2	0	144	4.22	0.777	4.20	0.315
			38.19%	48.61%	11.11%	0.69%	1.39%	0.00%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	96	42	5	0	1	0	144	4.61	0.627	4.60	0.248
			66.67%	29.17%	3.47%	0.00%	0.69%	0.00%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	99	38	6	1	0	0	144	4.63	0.600	4.62	0.205
			68.75%	26.39%	4.17%	0.69%	0.00%	0.00%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	113	27	2	1	1	0	144	4.74	0.591	4.72	0.330
			78.47%	18.75%	1.39%	0.69%	0.69%	0.00%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	106	34	3	0	1	0	144	4.69	0.583	4.68	0.260
		73.61%	23.61%	2.08%	0.00%	0.69%	0.00%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	114	25	4	0	1	0	144	4.74	0.576	4.73	0.319	
		79.17%	17.36%	2.78%	0.00%	0.69%	0.00%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	105	30	6	2	1	0	144	4.64	0.696	4.63	0.288	
		72.92%	20.83%	4.17%	1.39%	0.69%	0.00%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	111	25	4	1	1	2	144	4.72	0.623	4.70	0.319	
		77.08%	17.36%	2.78%	0.69%	0.69%	1.39%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 20.14%)	43	39	31	2	0	0	144	4.07	0.845	4.06	0.320	
		29.86%	27.08%	21.53%	1.39%	0.00%	0.00%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	113	25	4	2	0	0	144	4.73	0.582	4.72	0.297	
		78.47%	17.36%	2.78%	1.39%	0.00%	0.00%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	82	38	17	1	0	6	144	4.46	0.736	4.43	0.441
			56.94%	26.39%	11.81%	0.69%	0.00%	4.17%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組みのを助けた	96	33	8	1	0	6	144	4.62	0.630	4.62	0.288
			66.67%	22.92%	5.56%	0.69%	0.00%	4.17%	100.00%				



相関係数表	部門名 形態名	学芸員 講義	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1			1												
Q2			.227(**)	1											
Q3			0.034	.582(**)	1										
Q4			-0.004	.506(**)	.781(**)	1									
Q5			0.056	.429(**)	.559(**)	.589(**)	1								
Q6			-0.008	.423(**)	.605(**)	.608(**)	.599(**)	1							
Q7			-0.003	.549(**)	.790(**)	.721(**)	.631(**)	.675(**)	1						
Q8			-0.001	.492(**)	.678(**)	.707(**)	.629(**)	.635(**)	.824(**)	1					
Q9			0.003	.521(**)	.615(**)	.578(**)	.577(**)	.600(**)	.702(**)	.677(**)	1				
Q10			0.013	.263(**)	.235(**)	.192(**)	.262(**)	.189(**)	.282(**)	.217(**)	.328(**)	1			
Q11			0.048	.594(**)	.731(**)	.658(**)	.687(**)	.684(**)	.809(**)	.775(**)	.799(**)	.303(**)	1		
Q12			0.029	.469(**)	.571(**)	.609(**)	.520(**)	.588(**)	.679(**)	.679(**)	.611(**)	.232(**)	.718(**)	1	
Q13			0.043	.494(**)	.650(**)	.641(**)	.577(**)	.606(**)	.717(**)	.677(**)	.624(**)	.250(**)	.746(**)	.783(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表	部門名 形態名	学芸員 演習	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1			1												
Q2			.167(*)	1											
Q3			0.099	.618(**)	1										
Q4			0.034	.546(**)	.788(**)	1									
Q5			0.102	.551(**)	.740(**)	.631(**)	1								
Q6			0.014	.486(**)	.610(**)	.616(**)	.617(**)	1							
Q7			0.016	.484(**)	.689(**)	.655(**)	.723(**)	.722(**)	1						
Q8			-0.044	.468(**)	.638(**)	.584(**)	.651(**)	.519(**)	.709(**)	1					
Q9			0.028	.578(**)	.643(**)	.606(**)	.761(**)	.575(**)	.728(**)	.724(**)	1				
Q10			0.023	.196(*)	.186(*)	0.099	.194(*)	.240(**)	.284(**)	.217(**)	.262(**)	1			
Q11			0.037	.563(**)	.706(**)	.654(**)	.787(**)	.600(**)	.750(**)	.689(**)	.846(**)	.265(**)	1		
Q14			-0.12	.397(**)	.419(**)	.400(**)	.473(**)	.510(**)	.568(**)	.450(**)	.471(**)	.230(**)	.581(**)	1	
Q15			-0.03	.369(**)	.449(**)	.415(**)	.475(**)	.457(**)	.585(**)	.511(**)	.480(**)	.232(**)	.597(**)	.515(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成23(2011)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.65	0.687	4.61	0.162	4.61	0.673	4.59	0.256	4.53	0.783	4.49	0.237	4.41	0.949	4.40	0.346	4.55	0.829	4.53	0.220
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.66	0.928	3.70	0.378	3.74	0.969	3.76	0.393	3.62	0.982	3.71	0.427	3.43	0.950	3.55	0.305	3.33	0.940	3.49	0.417
	3	この授業のレベルは適切である	4.07	0.894	4.02	0.426	4.21	0.808	4.14	0.440	4.12	0.817	4.18	0.322	3.89	0.854	4.04	0.310	4.59	0.915	4.54	0.345
	4	この授業を進める速さは適切である	4.13	0.860	4.13	0.291	4.27	0.799	4.23	0.295	4.20	0.815	4.26	0.279	3.95	0.862	4.11	0.303	4.63	0.876	4.70	0.414
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.36	0.785	4.45	0.328	4.44	0.742	4.45	0.300	4.44	0.752	4.52	0.315	4.24	0.818	4.43	0.319	4.11	0.870	4.19	0.325
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.17	0.859	4.23	0.267	4.24	0.785	4.25	0.249	4.19	0.844	4.28	0.298	3.94	0.857	4.11	0.339	3.92	0.900	4.02	0.287
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.17	0.916	4.16	0.406	4.30	0.817	4.23	0.409	4.20	0.887	4.31	0.358	4.05	0.883	4.20	0.303	3.95	0.948	3.98	0.403
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.24	0.887	4.23	0.403	4.33	0.759	4.30	0.300	4.32	0.807	4.39	0.292	4.17	0.807	4.32	0.300	4.04	0.892	4.10	0.360
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.15	0.933	4.22	0.379	4.31	0.809	4.34	0.271	4.21	0.863	4.32	0.321	4.14	0.851	4.33	0.284	4.04	0.875	4.17	0.271
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.84	0.943	3.83	0.326	3.90	0.940	3.95	0.256	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.15	0.912	4.22	0.388	4.27	0.818	4.24	0.306	4.22	0.849	4.32	0.370	4.03	0.850	4.21	0.318	4.02	0.864	4.08	0.295
'講義' '語学' のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.15	0.919	4.23	0.302	4.19	0.874	4.22	0.322	4.12	0.951	4.23	0.372	3.92	0.930	4.06	0.302	3.88	0.979	3.97	0.359
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.18	0.894	4.25	0.319	4.17	0.893	4.16	0.422	4.20	0.874	4.28	0.348	3.93	0.908	4.14	0.362	3.97	0.921	4.10	0.353

部門名 学芸員
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				2007年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.56	0.623	4.56	0.258	4.60	0.693	4.59	0.189	4.60	0.705	4.60	0.283	4.46	0.693	4.46	0.184	4.65	0.618	4.63	0.264
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.22	0.777	4.20	0.315	4.15	0.831	4.15	0.213	4.13	0.780	4.11	0.317	3.94	0.833	3.95	0.362	3.92	0.863	3.92	0.418
	3	この授業のレベルは適切である	4.61	0.627	4.60	0.248	4.62	0.583	4.62	0.241	4.51	0.657	4.51	0.205	4.50	0.685	4.51	0.320	4.81	0.705	4.81	0.218
	4	この授業を進める速さは適切である	4.63	0.600	4.62	0.205	4.67	0.560	4.67	0.239	4.53	0.634	4.52	0.215	4.50	0.744	4.51	0.307	4.87	0.570	4.86	0.126
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.74	0.591	4.72	0.330	4.77	0.487	4.77	0.177	4.67	0.531	4.66	0.208	4.73	0.561	4.72	0.189	4.40	0.713	4.39	0.387
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.69	0.583	4.68	0.260	4.73	0.539	4.74	0.165	4.52	0.634	4.50	0.213	4.63	0.592	4.64	0.178	4.41	0.766	4.41	0.386
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.74	0.576	4.73	0.319	4.72	0.520	4.72	0.208	4.67	0.545	4.66	0.212	4.69	0.551	4.69	0.226	4.45	0.745	4.46	0.445
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.64	0.696	4.63	0.288	4.74	0.490	4.74	0.176	4.63	0.595	4.62	0.220	4.73	0.586	4.73	0.205	4.49	0.720	4.49	0.384
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.72	0.623	4.70	0.319	4.75	0.563	4.74	0.173	4.69	0.591	4.69	0.244	4.68	0.591	4.68	0.242	4.56	0.663	4.58	0.261
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.07	0.845	4.06	0.320	4.21	0.865	4.21	0.408	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.73	0.582	4.72	0.297	4.70	0.519	4.69	0.203	4.64	0.619	4.63	0.250	4.66	0.599	4.66	0.284	4.48	0.665	4.48	0.355
'演習' '語学' のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.46	0.736	4.43	0.441	4.47	0.751	4.47	0.410	4.41	0.726	4.37	0.436	4.34	0.812	4.35	0.531	4.04	0.824	4.02	0.271
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.62	0.630	4.62	0.288	4.65	0.602	4.66	0.289	4.55	0.650	4.53	0.297	4.57	0.622	4.57	0.339	4.39	0.707	4.40	0.341

第3章

授業への取り組み例

． 法学部

講義形態の授業を対象とする教員相互の授業参観を実施した。具体的には、5月、6月中に、少なくとも1回、可能であれば、複数回、法学部の講義を参観し、「その授業に関してよいと思ったところ」について所定の書式を用いて報告書を作成し、学部長室において取りまとめを行った。

法学科で、入学式後の時間を利用して、新生に対する法学の導入授業を行い、法律を学ぶ上で必要となる考え方や基礎知識の紹介を行った。

． 経済学部

授業の映像化～授業科目「ミクロ経済学」

授業を全て映像化し、それを図書館で閲覧できるようにしている。欠席した学生が授業に事後的に参加できるとともに、出席した学生も授業内容を確認したり復習したりすることが可能になる。ただし、映像化のためにかける担当教員の負担は大きく、組織的な支援体制の整備が必要である等の課題も多い。

授業内容の最新化～授業科目「経営数学1, 2」

経営学科には、数学が苦手なために数学関連科目を履修しない学生がいるので、1年生の多くが履修する数学関連の最重要基礎科目である経営数学の履修者を増やし、学生の経営数学のスキルを向上させるために2009年度からヘルプデスクを開設した。ヘルプデスクは週1回、1コマ、教員とともにSA, TAが履修学生の質問にマンツーマンで答えるもので、参加者の評価は高く確実に効果をあげている。教員の時間がとられること、TAおよびSAのアルバイト料等のコストがかかることともに、数学を教えられるSAおよびTAの人材を経営学科の中だけで確保することが難しいことが課題である。現在は、数学科の学生を活用しているが、今後は、人材不足を補うために、SA募集の対象を理学部全体に広げていきたいと考えている。



． 文学部

演習形式の授業において、参加者が多すぎることに係る学生からの不満があったので、クラスを二つに分割することで改善を図り、学生からも評価を得た。(哲学科)

講義科目において板書が少なめであるという意見があったが、文献からの引用が必要とされるために板書ではなく配付資料上の情報量を増やし、あわせて書誌情報を追加することで改善を行った。(哲学科)

初年次教育を重視する観点から、履修者の多い一年次生向け演習科目に関して増コマの処置を行い、できる限り「少人数教育」の方針を維持することに努めた。(哲学科)

哲学科教員全員によるオムニバス形式の講義では、以前からの蓄積を踏まえて各講義の関係を見直すと共に、配付資料の内容についてさらなる充実を期した。(哲学科)

学生の学修達成度の検証と授業への反映

本学科では4年次に作成する卒業論文の完成を目標にカリキュラムと指導を構成している。最終的な達成物としての卒業論文を主査・副査・三査の目を通して厳格に点検したうえで、口頭試問における質疑応答を全教員が陪席して確認する。教員間で指導過程や方針に関する疑義を質したうえで最終的な評価を下す形を取っており、中間段階における演習や講義における当該学生の取り組みについて、他の教員からの所見も反映する原則である。卒業論文を通じて学生の学修達成度を吟味したうえで、指導態勢の手直しについて論議することを基本に据えている。

この前提となる各学年段階についても、履修状況に問題を抱える学生については、学科会議にて状況を検討したうえで、指導教員のほか、学科主任・助教が学生を呼び出して状況を聴取し、適宜、家庭とも連絡をとって指導を行う態勢をとっている。(史学科)

授業および指導の改善についての現在の主たる関心

現在、特に注意を払っている点は、4年次に卒業論文の提出に辿り着けない学生が増加し、文学部7学科の中でも4年次原級残留者の割合が特に高い点にある。

4年次原級残留者の内訳を検討したところ、1～3年次における単位取得状況に問題があり、学修姿勢の維持に困難を来している者と、卒業論文の作成過程で壁にぶつかって完成に辿り着けない者とが、ほぼ同程度の割合になることが看取された。

前者については、学生集団の学年毎の傾向に差異があり、特に語学などの基礎的な必修科目の修得で問題を生じる者の割合が高い学年があることが確認された。従来は演習などの場で各指導教員が履修状況に問題を抱える学生に対して個別に注意を行うことは少なく、

第3章 授業への取り組み例

個々の学生に対する従来型の指導では深さが足りないと判断された。

以前から、履修状況に問題のある学生について教務委員・助教が個別に注意を払って指導する態勢をとってきた。近年は、学科会議にて各指導教員に担当学生のうち履修状況に問題のある者を周知し、意識的に学修状況の把握に努める態勢を強めている。

4年次になって卒業論文の作成に困難を抱える者においては、複数年次にわたって原級残留を続ける者が少なくないため、年度当初から主任・指導教員が積極的に学生、場合によっては家庭とも連絡を取って、履修上の困難を解決する指導を行う態勢をとりつつある。また、4年次在学者全般について、題目届けや中間報告会・最終報告会などの節目毎に、出欠状況などを通じて学習状況を点検し、学科会議にて個々の学生の状況についての所見を意見交換し、対策に努めつつある。(史学科)

授業のバラエティの確保および先端的研究分野へのアプローチの提供

伝統的な史学部門のなかでも、新しい研究分野に関わる授業を提供するよう努力している。イスラム、東南アジア、出土文字史料、考古学的な知見を紹介するため、専門家を非常勤講師として招聘したり、個々の担当教員の授業展開でも意識的に右の点に注意を払っている。このため、近年の社会状況も反映して、学生のなかでも、イスラムへの関心、資料管理などへの関心が強まっている。(史学科)

アンケート結果の授業への反映について

授業のスタイルや内容については教員それぞれに持ち味があるため、各自が学生の反応を踏まえて授業に反映することを基本としている。

近年の新生入学生に共通する傾向として、授業で教わることを憶えてゆけば良しと考えて、研究テーマや文献・史料を自発的に探索することの不可欠性をじゅうぶんに理解できていないという傾向がある。授業中の私語などは非常に少ないのだが、逆に、自分の意見や疑問を表明して討論するという点に弱点があることも指摘されている。研究上の論議に接近するためのリテラシーとして、文献やテーマの探索という要領を体得させるため、基礎演習の段階から T.A.制度を活用して取り組んでいる。尊重すべき研究文献の水準の見極めや探索要領を、実地に即して指導するということである。

また、テーマ探索のきっかけになる刺激的な図書や辞典などの工具書について、学科としての推奨図書を知らせ、自分で探索する要領を身につけるよう助長している。討論の習慣を身につけさせる点についても、各教員それぞれのやり方で演習の運営について工夫を重ね、学生同士の討論を活発にするよう図っている。(史学科)

日本古典文学の授業では、授業評価アンケートから、学生の関心の低さと退屈ぶりがうかがえた。これは、学生の古文読解力の不足(高校までの教育に問題があろう)に一つの原因があると思われるが、なんとか学生の関心を高めるために、以下のような対策を

とった。(日本語日本文学科)

- 1 古文の実例を示す時には、必ず現代語訳を付すこと。そのために、2年かかって教材をすべて作りかえた。
- 2 古代のことを説明するのに、それに近い現代の例を持ち出し、「古代や中世では…」と話を進めるようにした。
- 3 授業の進行にあたっては、学生に問いかけを繰り返して、話題に意識を集中させるようにした。

日本古典文学の一年生向けの授業では、「シラバスが受講に役立った」「自分(学生のこと)は意欲的に取り組んでいる」という二点が、他に比べて評価が低かった。前者については、文系の場合、理系のような組織的なカリキュラムに則ったものにはなりにくいので、仕方ない一面もあるが、なるべく具体的な内容を提示できるよう努力することにした。また、後者については、一年生は取らなくてはならない単位も多く、すべての科目に意欲を発揮するのは難しいと思われるが、

- 1 現代の問題にも通じるような形で問題提起をする。
- 2 現代語訳を丁寧にする。
- 3 図版や表を多用し、視覚的にも伝える。

というようなことを心がけて、興味・関心を高めるようにした。二年生以上の科目についてはおおむね問題はない。(日本語日本文学科)

日本近代文学の授業では、学生のアンケートで、特に1年生向けの授業内容の難しさが指摘された。しかし授業の難易度を急速に落とすことは、教育のレベル低下を招く恐れがある。そこで、具体例を多くし、質問の時間を充分に取るように心掛け、また重要なポイントについては授業で話した内容をプリントにして配布して、復習をしてもらうように求めるなどの対策を講じた。特に具体例の呈示に関しては、映像資料を見せて学生の理解を容易にするといった方法も試みている。(日本語日本文学科)

日本近代文学の授業では、いわゆるゆとり教育世代に属する昨今の学生のレベルに対応する一方で、従来の授業の難易度をできるだけ維持する工夫をしている。そのため、授業の導入部分では、学生にとって身近な話題を多めに取り入れ、図像や映像資料による例示を増やすなど、できるだけ具体的な局面から入ることで、学生に関心をもってもらよう授業内容を改善してきた。またその上で、抽象度の高い論理的な文章や、微妙な感情を読みとる必要のある文章を少しずつ加えて行くことで、最終的にはこれまで通りの教育レベルに達するようにしている。授業の節目節目で十分に質問の時間をとり、小レポートを課して学生の理解をいっそう確かなもの機会を増やすとともに、重要なポイントに関しては授業で話した内容をプリントにして配布し、復習してやることを求める

第3章 授業への取り組み例

といったことなども、ゆとり教育世代 対策として打ち出された変更点といえる。現在までのところ、授業アンケートの結果からみても、これら一連の取り組みは一定の評価を得ているものと考えている。(日本語日本文学科)

日本語教育の授業では、学生の授業アンケートで特に指摘された不満、改善要求はなかった。個別の授業での学生からの要望事項を踏まえて、日本語教育実践を目的とした授業では、昨年度、事情により中止となった協定校からの日本語研修の実現にむけて、折衝をかさね、7月に受け入れが決定した。協定校の希望に添うべく、伝統文化活動やホームステイプログラムの導入など、今年はいくつかの新機軸を導入し、学部生、院生が企画、運営を担当し、実践を重視した教育に取り組んでいる。また、外部資金の導入をはかり、海外日本語教育インターンシップを推進している。派遣先は、2009年度はマレーシア・シンガポール、タイ、オーストラリア、2010年度は台湾、オーストラリアを予定している。教育対象も、高等教育から中等、初等教育、民間日本語学校まで射程にいれている。(日本語日本文学科)

日本語教育・日本語学の授業では、学生による授業アンケートにおいて、特別な不満や改善要求は見られなかった。しかし、日本語学・日本語に関する授業については、授業内容のレベルについての意見が多少分かれる傾向があるため、内容の理解度、わかりにくさの原因を探るため、いくつかの授業においては、授業に関するコメントシートの記入を毎回実施し、その結果を授業改善に役立てている。また、日本語教育を専攻する学生には、日本語教育の現場を知りたいという要望や、日本語・外国語によるコミュニケーション能力を高めたいという要望が強くあるため、長年にわたり、海外日本語教育研修をマレーシア、シンガポール、台湾、韓国等で実施してきた。これに加え、外部資金の導入により、海外日本語教育インターンシップの推進をはかり、2009年度及び2010年度にはオーストラリアとタイ、2011年度にはオーストラリア、タイ、アメリカ合衆国(予定)へ、学生を派遣している。(日本語日本文学科)

講義科目に関して、授業のスピードが早く、内容理解が難しい、或いはノートが取りづらいとの指摘があった。これは担当者が早口であることが大きな要因と思われるが、同時に授業内でより多くの内容を伝えようとするあまり、急ぎ足で解説を行ってしまった部分もあったと感じている。今後、講義形式の授業については、毎回の授業で扱う範囲をもう少し絞りこむ一方で、ひとつのテーマに関する解説をより丁寧に行うことで学生の内容理解を助けたい。また、教科書や参考書についても、これまで以上に積極的に使用し、学生が講義内容を補えるようにしたい。(英語英米文化学科)

昨年度のLLの授業では、CNNニュースを教材に、Shadowingという方法を用いたりスニング力の向上を図る訓練を行った。通訳養成にも取り入れられた実効性の高い方法であり、授業中の反応を見る限り、多くの学生が意欲的に取り組み、英語の音声に対する瞬発力と実践力を身につけることができたように思う。ただ、アンケートによれば、約20%の学生がこの授業目標を適正と考えていないとの結果が出ている。この点については、恐らく授業外の自主練習の目標時間（推奨50～100時間、最低35時間）が大きく関係していると考えている。今後は習熟度に応じた段階的な目標時間の設定の導入や、助言・指導の回数を増やすなど、より多くの学生が高い目標に挑戦し達成できるように、きめ細やかな指導・授業運営を心掛けたい。（英語英米文化学科）

現代研究コース演習では、昨年度のFDアンケートの結果を受けて、本年度は出席率の向上と出席者の学習意欲を高めるための以下の工夫を行っている。まず出席率については、就職活動で忙しい4年生にも出席確認の徹底する一方で、受講者全員への課題の割り当ての頻度を高め、またそれらが成績評価へ反映されることを明示し、学生自身が危機感をもって授業へと参加する形を取った。一方、学習意欲に関しては、文献講読を中心としながらも、より学生が主体的に参加できるように、グループワークを積極的に導入し、授業内で扱ったテーマについて、グループごとのリサーチと発表を義務付けることにしている。昨年度好評だった発表やレポートの添削指導は本年度も継続して行う予定である。（英語英米文化学科）

大規模授業では、毎回「質問・コメントカード」を配布し、質問や十分理解できなかった点などを記載させている。興味深い質問や多くの人から集中した質問などは次回の授業で取り上げて、理解の深化や内容の発展に活用している。授業展開などのコメントについては、積極的に取り入れて改善に努めている。受講者の出欠調査としても用いている。（英語英米文化学科）

講義・演習・ゼミの授業では、授業時間全体の流れや大切なポイントが理解でき、かつ集中して受講するように、部分的に空欄を設けた「ワークシート」式のレジメを毎時間用意している。また原書講読の授業では、重要な点を設問形式にしたレジメを準備して、設問を中心に要点を読み取り全体が正しく理解できるように工夫をしている。（英語英米文化学科）

「文化背景演習」と、それと連動する英語講読の授業では、アメリカやイギリスの歴史、あるいは英語の歴史を扱うビデオ教材を使い、音声や映像も通した形で英語圏の文化の背景を学んでいる。この授業をさらに充実させ、学生の理解度を上げるために、大学院生のティーチング・アシスタントが学生の質問に答える時間を設け、英語の読解からレ

第3章 授業への取り組み例

ポートの書き方まで、さまざまな指導をするようにした。また、テキストの音声データをインターネット上で配信し、学生が自宅でもネイティブによる朗読を聞けるようにした。(英語英米文化学科)

基礎教育の充実

本学科では、3年次から各自の関心に応じて3つのコース(現代地域事情、文学・文化、言語情報)のいずれかを選択するカリキュラムとなっているが、コース選択の準備段階として入門ゼミナールという必修科目を設置している。この授業では各コースの基本的知識を学ぶとともに、文献検索の仕方、発表の仕方、レポート作成の基本を習得することを目指しているが、学生に対するきめ細かい指導を行うために、授業時間外にTAによるグループ指導および個別指導を行っている。このTAによる指導によって、発表やレポートの質的向上をはかることができている。(ドイツ語圏文化学科)

大学図書館ガイダンスの活用

毎年5月に、1年生、3年生、また卒業論文を執筆する4年生を対象としたガイダンスを大学図書館に依頼している。該当する学生たちには出席を強く勧め、ガイダンス内容については学年ごとの到達目標を勘案し、本学科教員と図書館職員で密接な打ち合わせを行っている。特に3年生にはより専門的な文献およびドイツ語文献の検索の基本を学ばせることによって、4年生で選択する卒業論文または卒業研究に向けた準備を早くから始めることができるようにしている。また卒業論文を執筆する4年生に対しては、上記のガイダンスのほかに学科教員によるガイダンスを行い、自立的な文献調査ができるよう指導している。(ドイツ語圏文化学科)

リアクション・ペーパーの活用

受講者数の多い講義科目などでは、毎回の授業でリアクション・ペーパーを配布し、授業内容についての質問や疑問などを学生に書かせている。各教員はリアクション・ペーパーに書かれた質問事項について、次回の授業で取り上げて説明するなどの形で、授業に反映させている。リアクション・ペーパーによって学生の理解度をその都度確認しながら授業を進めることが可能となり、また授業に対する学生の要望なども知ることができるために、全学一斉で行われる「学生による授業評価」よりきめ細かい対応が可能となっていると考える。(ドイツ語圏文化学科)

「基礎演習II」 この授業ではフランス語の文法の基礎を復習したあと中級文法を学び、それと同時にフランス語の読解力を向上させることを目的としており、フランス語圏文化学科の科目のなかでも重要な位置を占めている。しかし、ここ数年、授業内容を十分理解できていない学生が目立つようになってきた。そこで、学科教員と外国語教育研究

センターの教員が協力して、学習院大学のレベルに合わせた教科書「フランス語文法」「フランス語解釈」を作成し、それを2010年度より使用している。(フランス語圏文化学科)

「フランス語実習」 フランス語文法にたいする理解力もさることながら、学生のフランス語を学ぶ意欲、動機も弱まりつつあることが、授業評価などを通して明らかになっている。学生自身が自分のフランス語レベルを知り、さらなる向上を目指せるように、2010年度より、「フランス語実習」を履修する学生にフランス版のTOICであるTCF(フランス語学力テスト)の受験料負担を行ったうえで受験を義務化し、そのテスト内容と連動する実践的な授業を行っている。(フランス語圏文化学科)

フランス語圏文化学科では、学生の多様な関心に応えるべく様々な領域の講義、演習科目を用意し、年度ごとに内容を吟味し、改善する努力をしていますが、さらに科の教育内容を客観的に評価するための試みとして、フランス国民教育省による世界共通の試験、「フランス語実力テスト」TCFの受験を、学部3、4年生、および大学院生に事実上義務化し(受験料は全額学部、および科が負担)、そのための特別準備クラスを開設しています(「フランス語実習」2コマ)。学生はこの試験によって自分の実力を客観的に判断できるばかりか、フランスに留学した場合には、フランス語の予備試験を免除されることもあります。今般盛んになりつつあるパリ第 大学、リヨン第 大学との提携留学、およびフランス語圏の政府給費留学生試験の準備のためにも、きわめて重要な位置づけをされている授業です。(フランス語圏文化学科)

「心理学演習」において英語の心理学論文を読んでいるが、アンケートで学生の意見が出にくいという結果が出た。そこで、それまで行っていた授業中における全訳形式を改めて、小グループ形式によるディスカッション形式とした。全訳は担当者個人個人が資料として前もって印刷して担当小グループに配布し、そこで教員が配布したポイントに沿ってディスカッションを行うこととした。(心理学科)

「性格心理学」の授業では、学生の興味を高めるために積極的に心理学検査を教材として購入して実施して自己理解につながる考察を推奨している。今年度は学生自身の自主的学習意欲が高まるように、推薦する心理学文献を積極的に紹介するように心がけようと計画中。(心理学科)

「臨床心理学」の講義に関して、「授業評価アンケート報告書」にて「わかり安い板書」を要望する意見がみられた。講義担当者(筆者)は、必ずしも教科書で記載されているような板書をすることが大学の教育上良いとは考えていないので、板書をその方向で変えていくことは試みなかったが、文字を大きくわかりやすく書くことをこころがけ、ま

第3章 授業への取り組み例

た、受講生の思考を刺激するための素材や文章などをPCから投影したり、レジユメを作成して配布することなどを試みている。(心理学科)

教科書を使わず、独自に資料を作成し、プロジェクターで呈示するとともに受講者全員に配布している。資料は毎年更新し、新しい情報を付加しているが、授業においては資料の解説に終始するのではなく、板書によって発達心理学の構造的理解を促すよう努めている。(心理学科)

1年生の必修科目である「心理学演習」では、平易な英語論文を読むことによって心理学を学ぶことを目的としている。しかし、初年度から英語論文を読むことを可能にするために、授業の最初の数回は準備期間として、論文の読解と理解に役立つ知識を身につけてもらうよう講義形式で行い、それから演習形式に移行するようにしている。・1年生の必修科目である「心理学演習」では、平易な英語論文を読むことによって心理学を学ぶことを目的としている。しかし、初年度から英語論文を読むことを可能にするために、授業の最初の数回は準備期間として、論文の読解と理解に役立つ知識を身につけてもらうよう講義形式で行い、それから演習形式に移行するようにしている。(心理学科)

2年生の必修科目である「心理学演習」では、心理学演習よりも進んだ内容の英語の心理学論文を読んでいる。アンケートの結果からも、また教員からの印象としても、20人～25人の演習では、学生の活発なディスカッションが出にくいという問題があった。そこで、受講生を小グループ形式に分け、教員が配布したポイントに沿ってディスカッションを行うことで問題点を改善した。(心理学科)

「性格心理学」の授業では、単に一方的な講義だけでなく、学生の授業への動機づけと人の性格への関心を高めるために、積極的に心理学検査の実習を取り入れている。この授業方法への学生の反応は、かなり好意的であると判断される。(心理学科)

複数の講義科目において、受講生の思考を刺激するための図や資料などをプロジェクターで呈示すると同時に、受講生全員にそれを印刷物としても配布している。資料は毎年更新し、タイムリーで新しい情報を付加することによって、学生の知的好奇心を刺激するように努めている。(心理学科)

．理学部

電磁気学1、2の授業において、講義の際に使用したスライドをHP上にアップし、予習復習ができるようにしている。また、やや複雑な計算がある個所は、丁寧な計算過程を示した資料や練習問題などもHP上にアップして、理解を深めるように工夫している。

物理実験3について、実験の参考テキストをHP上にアップして実験内容の理解を深めるよう工夫している。

原子物理学概論（物理、2年生）授業への出席の動機付けのため、講義の中で学生への質問、小問題を課すなどの働きかけをしている。

一般物理学（物理、1年生）新棟（南7号館）の教室に移ったので、その設備の有効活用を図っている。ただし、例えば黒板が狭くなるなど、若干使い勝手が悪くなった点もあるので、その使いこなしを検討しつつ、改善すべき点をまとめてより使い易い教室となるよう考えている。

構造化学の講義において、前任者の用いていた教科書に準拠して講義を進めているが、省略されている背景や、図表を補足して理解を深める工夫を行っている。講義で用いた資料はホームページを通して公開し、復習に利用できるようにしている。

「地球化学」を担当していましたが、環境問題に対する重要性を鑑み、環境を重視し「環境地球化学」という科目名にしました。それに合わせて、配付資料やスライド(PowerPoint)の図も充実させました。

分かりにくいという声が聞こえた科目は練習問題のプリントを配ったりして、理解しやすいように工夫しつつあります。

2年生の化学科の学生実験は、新しい校舎に移り実験室が広くなったので、デモンストラーションなども分かり易くし、TAもより効果的に活用していく予定です。また、新しい実験テーマも加え、より充実したものにしていく予定です。

「位相空間」の授業において、これまでいくつかの教科書を使ってきたが、詳しすぎたり、あるいは簡略に流れたり、ちょうどよいものになかなかめぐり合わない。そこで、毎時間、授業の内容をレジюмеにして、簡単な練習問題もつけたプリントとして配布している。

第3章 授業への取り組み例

線形代数の授業において、冒頭に簡単な問題を出して授業の終わりに解答をあつめ、次回には \times で採点して返している。

やさしい問題も手を動かして解くことが大切なので、毎回問題を出して解かせることに意義がある。もっと、大切なことは、ごく簡単な問題とっていたのですが1割くらいしか解けなくて、学生の講義理解が不十分なことがわかることがある。そのことがあると次回の講義で補える。問題は、G-Portに載せて、欠席の学生への配慮を行っている。

演習において、講義で学習する重要な定義・定理を書き出し、それらの関係をまとめたプリントを作成し配布している。

演習では基本的に講義で指定されている教科書に沿った演習問題を作成し学生に解いてもらっているが、学生が熱心によりペースで問題を解いてくれた場合には、やや発展的な内容や講義では触れないかもしれないが、重要または意義のある内容についての問題を作成し、配布している。

計算機（1学期）

昨年度までは授業でプログラム例をたくさん提示しすぎたため、学生が工夫してプログラムを作る余地が殆どありませんでした。そのことに気付き、今年度はプログラム例を極力減らし、文法の説明をして、学生に出来るだけ多くのプログラムを作ってもらうように改めました。その効果が出たのか、中間テストでは昨年度より出来がよくなっています。よい方向に結果が出れば、来年度もこの方法を続けたいと思っています。

微分積分III（1学期）

多変数関数の微積分とベクトル解析初歩が講義内容です。内容が多すぎるため、細かいことには目をつぶって、重要と思われる事柄を中心に講義を行っています。

従来、レジュメとして（証明などは省いて）主要定理をまとめたものをプリントにして講義ごとに配布していたものを、かなり改訂して、教科書では不十分な証明の細部もプリントにできるだけ書き込んだ形にしました。

授業が難しいとの声があったので、基本的な事柄をより時間をかけて、分かりやすく説明するように心掛けている。また、学生の自習・復習を促すために、小テスト数回行う予定である。

一昨年度までは必修科目を担当していなかったため、試験としては期末試験のみ行っていた。昨年度から必修科目を担当するに当たり、中間試験を実施した。今年度からは、中間試験ならびに期末試験の前には、試験範囲の内容についてまとめを行い、特に重要なポイントについて周知徹底を図った。これらの作業によって、学生の習熟度の向上を試みた。

前年度のアンケート結果から担当授業が平均以上の評価を受けていることが分かったので改善点はない。学生への連絡や課題提出などで積極的にG-Portを使っている。

構造化学の講義において、教科書に準拠して講義を進めているが、省略されている背景や、図表を補足して理解を深める工夫を行っている。講義で用いた資料はホームページを通して公開し、復習に利用できるようにしている。毎回演習を行い、学生の理解度を確認しながら講義を進めている。

分光化学の講義において、他の物理化学系の科目で指定されている教科書を中心に引用しながら資料を作成し、それに準拠して講義を行っている。講義で用いた資料はホームページを通して公開し、復習に利用できるようにしている。

「物理化学3」および「物理化学4」では、講義の最後に「宿題」と称する簡単な演習問題を出題して、次の講義の冒頭でその問題に対する解答を示している。講義ノートの内容を出席者に毎回配布するとともに、Webページにも掲載している。

代数Iの講義内容を毎回、配布しその結果をまとめてから、修正してほぼ講義録の形にしてpdf fileにし、G-Portでダウンロードできるようにしている。毎回、レポート問題をだしそれをA、B、Cで評価して返している。

物性物理学1、3（物理、3年生）において、数年前からスライド（PC+プロジェクター）を活用し、板書を補うこととしている。スライドは配付資料として配っているが、前年度まで6スライド/枚としたが、小さすぎたことを反省して、本年度から4スライド/枚とした。

教科書の画像に加えて、学生の理解が深まるよう、オリジナルの画像を工夫している。原則的に、毎回、講義内容に関連した問題を宿題とし、提出されたレポートは添削して次々回に返却している。

今年度は受講者数が倍増し、私語が目立つようになったので授業中に注意する回数を多くした。

学生の反応を目で見ているだけでは、講義をどこまで理解しているのか判断が難しいので、講義の最後にその日の講義に関連した小問をプリント及びスライドで示し、指名するなどして答えさせるといった工夫をした。そして正答を示し、時間の許す限りその理由をその日の授業の中で説明する、という風にしてみた。その結果、授業への集中度が高まり、理解度も進んだ。

基礎科学実験1,2の物理分野および物理実験1のテキスト原稿をweb siteに掲載するようにした。必要に応じてある部分のみを印刷することで予習や復習などに役立てることを期待している。

基礎科学実験1,2の物理分野および物理実験1では、学生の反応や理解度と学問分野を考え、新実験テーマの考案、実験テーマの変更を必要に応じて行っている。具体例1(基礎科学実験2)：化学科と生命化学科の学生に対する電気回路実験の開講時間数を減らし、その代わりに粒子の運動を顕微鏡を通して直接観測するテーマである「ブラウン運動」を新たに加えた。学生の反応はよい。具体例2(基礎科学実験1)：物理学科1年生のテーマである分光計テーマを物理実験1(2年生)で行うようにした。当該テーマは光のスペクトルを観測するための分光器の調整という、「計測器の取り扱い」に注意と時間を要する。それまで実験の経験が全くない1年生にとっては肝心の内容を味わう余裕がなくなっていると判断したため。具体例3(物理実験1)：実際に研究室での研究分野に関連する実験を考え、また、装置の不具合が頻発するテーマを削除した。新たに「画像解析」「フーリエ級数」「電気伝導度の測定」のテーマを考案し、物理実験1のテーマに加えた。具体例4(物理実験1)：従来、実験技術実習で行われていた製図、金属加工のテーマを物理実験1で行うこととし、実験装置の作成のための技術の習得も授業の目的に加えた。

基礎科学実験2の物理分野において、1テーマ当たりの学生の人数が多すぎると教育効果が下がることを考え、必要に応じて開講日程を調整した。

・ 計算機センター

初等情報処理は、全学の1年生を対象とした授業であるが、コンピュータの利用方法や興味の対象は学科毎に異なる。そのため、対象とする学科に応じた目標設定や題材を選ぶことによって、目的意識をもって学べるように配慮した。

初等情報処理の授業では、学生間のスキルや知識の差が大きい。PC操作に慣れていない学生にとっては、授業についてゆくのが困難である反面、すでにスキルのある学生には退屈な授業になりがちである。このような状況を改善するために、すぐに学生の疑問や要望を反映できるように、学生が匿名で書き込みができるWebの簡易チャットを設置し、説明の節目にスクリーンで学生の声を確認しながら授業を進めることにした。

専門的な用語を意識せずに授業で使ってしまった場合、理解できない学生はWebチャットに疑問を書き込むようになった。教員が説明するよりも前に、理解している他の学生や授業補助のインストラクターが回答することもあり、授業の進行がスムーズに行えるようになった。また、スクリーンがみにくい場合や、進行が速くてついていけない場合なども、すぐに学生の率直な声が反映されるため、学生が以前より授業に積極的に参加するようになった。

・ 外国語教育研究センター

コミュニケーションの授業では、授業時間の一部を使い、写真やビデオを見せながら現地の文化や社会等に関する説明を行い、学生たちの興味関心を喚起するよう努めた。

リーディングの授業で、書画カメラでテキストを映し出し、直接原稿に線や矢印等を書き込んで、文の構造や、他の文との関係などを示すことで、学生の読解を助けた。

練習問題を解かせる際に、学生たちの机の間を頻繁に行き来し、理解の不十分な学生を見つけて、分からない点を再度説明したり、より噛み砕いた説明で理解させるように努めた。

コミュニケーションの授業で会話や作文の練習をする際、学生の興味やモチベーションを高めるため、インターネット上の当該言語のサイトを教材に使い、その言語や社会等に対する親近感を持たせるようにした。

リーディングの教材として、新聞や雑誌、インターネットのサイト内のテキスト等のアクティブな題材を取り上げることで、学生の興味を刺激するよう努めた。

文法の授業で、学習内容が定着しやすくなるように、単元毎に試験を行った。

授業への積極的な参加を促す一環として、リーディングの授業においても頻繁にグループ活動を取り入れた。

オンライン学習支援システムを利用して、自宅からアクセスすることで授業後も継続して学習できる環境を提供している。

オンライン学習支援システムで問題ごとの正答率を出して、正答率の低い項目を重点的に復習させるようにした。

言語表現等の上達を図るため、授業中に当該外国語でブログを書かせ、コメントや意見を付け加えて返すようにしている。

．スポーツ・健康科学センター

実技授業全般において、前年の受講者数を参考に、開講時間、開講種目、各次元毎の開講コマ数などをできるだけ学生の要望に応えられるように調整している。

実技（本学のスポーツ・健康科学（必修）、b（選択）、b（野外教育））においては、運動学習理論に基づき指導法の変化をつけ、年次ごとに経験とデータを積み重ねて、指導法に反映させている。野外教育においては、特にサイクリングとトレッキングにおいて受講生の興味と関心を惹起させるよう、また反復履修者の要望を反映し、実習地を毎年変えている。

スポーツ科学演習においては、新説などを取り入れ講義用 PPT の改定逐次おこなっている。また、実地に行う作業を伴った教材（質問紙など）を取り入れ、より研究現場に近い情報を提供している。

．教職課程

「教育基礎」の授業テキストとして「教育基礎資料集」を教職課程独自に作成し、受講生全員に配布している。教育に関する古典をはじめとして今日的な動向について資料収集し、基礎的かつ現代的に「教育とは何か」を考えることに資している。とりわけ現代的な資料に関してはこの一年間に発行された新聞や雑誌等からデータを収集しており、教職を目指す学生にとって新鮮な情報に接することができ、知識を得るだけでなく接した情報について自他者発信型の授業を進めることができている。また古典に関しては、今日的な教育課題に応えうるような言説、実際を抽出し、可能な限り原典（翻訳を含む）で学生に提示している。

・学芸員資格取得に関する委員会

毎年学年初めに行なわれる、非常勤講師との意見交換会において、情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。学芸部門は、とりわけ4年生の実習クラス(演習)が資格取得の総仕上げとして重要なものとなってくるので、学生の意見も充分聞いたうえで、実習環境の整備には常に心がけている。

学生の意見、希望等は常時、学芸員資格取得事務室において聴き取り、必要な場合には担当教員に伝えるようにしている。

第4章

資料集

(質問項目別基礎データクロス表)

第4章 資料集

Q1 私はこの授業によく出席している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5 出席率 90%以上	4 出席率 89～80%	3 出席率 79～70%	2 出席率 69～50%	1 出席率 49%以下	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	3,361 83.23%	467 11.57%	176 4.36%	22 0.54%	12 0.30%	4,038 100.00%	4.77	0.577	4.69	0.282
	外セ	7,438 71.65%	2,006 19.32%	797 7.68%	122 1.18%	18 0.17%	10,381 100.00%	4.61	0.695	4.59	0.236
基礎教養	演習	1,079 63.06%	397 23.20%	189 11.05%	33 1.93%	13 0.76%	1,711 100.00%	4.46	0.823	4.46	0.282
	講義	3,738 70.42%	932 17.56%	435 8.20%	108 2.03%	95 1.79%	5,308 100.00%	4.53	0.866	4.49	0.301
法学部	演習	37 78.72%	8 17.02%	1 2.13%	0 0.00%	1 2.13%	47 100.00%	4.70	0.720	4.70	-
	計	3,775 70.49%	940 17.55%	436 8.14%	108 2.02%	96 1.79%	5,355 100.00%	4.53	0.865	4.49	0.300
経済学部	講義	6,843 73.01%	1,380 14.72%	716 7.64%	250 2.67%	184 1.96%	9,373 100.00%	4.54	0.893	4.51	0.278
	演習	1,376 82.49%	206 12.35%	68 4.08%	12 0.72%	6 0.36%	1,668 100.00%	4.76	0.592	4.73	0.216
文学部	計	8,219 74.44%	1,586 14.36%	784 7.10%	262 2.37%	190 1.72%	11,041 100.00%	4.57	0.858	4.60	0.278
	講義	4,902 67.58%	1,321 18.21%	618 8.52%	232 3.20%	181 2.50%	7,254 100.00%	4.45	0.954	4.46	0.306
理学部	演習	1,277 86.11%	136 9.17%	54 3.64%	13 0.88%	3 0.20%	1,483 100.00%	4.80	0.556	4.75	0.317
	計	6,179 70.72%	1,457 16.68%	672 7.69%	245 2.80%	184 2.11%	8,737 100.00%	4.51	0.908	4.58	0.344
文学部	講義	5,145 66.93%	1,581 20.57%	746 9.70%	156 2.03%	59 0.77%	7,687 100.00%	4.51	0.811	4.45	0.258
	演習	4,322 71.05%	1,253 20.60%	435 7.15%	64 1.05%	9 0.15%	6,083 100.00%	4.61	0.679	4.59	0.274
理学部	計	9,467 68.75%	2,834 20.58%	1,181 8.58%	220 1.60%	68 0.49%	13,770 100.00%	4.55	0.757	4.55	0.276
	講義	3,889 81.65%	567 11.90%	224 4.70%	46 0.97%	37 0.78%	4,763 100.00%	4.73	0.666	4.69	0.222
教職課程	演習	1,292 84.67%	122 7.99%	63 4.13%	26 1.70%	23 1.51%	1,526 100.00%	4.73	0.752	4.66	0.416
	計	5,181 82.38%	689 10.96%	287 4.56%	72 1.14%	60 0.95%	6,289 100.00%	4.73	0.688	4.68	0.279
学芸員	講義	1,284 78.05%	251 15.26%	89 5.41%	12 0.73%	9 0.55%	1,645 100.00%	4.70	0.656	4.69	0.153
	演習	1,561 84.61%	235 12.74%	39 2.11%	8 0.43%	2 0.11%	1,845 100.00%	4.81	0.483	4.80	0.163
学芸員	計	2,845 81.52%	486 13.93%	128 3.67%	20 0.57%	11 0.32%	3,490 100.00%	4.76	0.574	4.76	0.167
	講義	433 74.27%	111 19.04%	26 4.46%	11 1.89%	2 0.34%	583 100.00%	4.65	0.687	4.61	0.162
学芸員	演習	91 63.19%	43 29.86%	10 6.94%	0 0.00%	0 0.00%	144 100.00%	4.56	0.623	4.56	0.258
	計	524 72.08%	154 21.18%	36 4.95%	11 1.51%	2 0.28%	727 100.00%	4.63	0.675	4.58	0.214
合計	48,068 73.34%	11,016 16.81%	4,686 7.15%	1,115 1.70%	654 1.00%	65,539 100.00%	4.60	0.778	4.59	0.282	

【形態別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89～80%	3 出席率 79～70%	2 出席率 69～50%	1 出席率 49%以下	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	29,595 72.80%	6,610 16.26%	3,030 7.45%	837 2.06%	579 1.42%	40,651 100.00%	4.57	0.830	4.54	0.287
演習	11,035 76.07%	2,400 16.54%	859 5.92%	156 1.08%	57 0.39%	14,507 100.00%	4.67	0.672	4.64	0.295
語学	7,438 71.65%	2,006 19.32%	797 7.68%	122 1.18%	18 0.17%	10,381 100.00%	4.61	0.695	4.59	0.236
合計	48,068 73.34%	11,016 16.81%	4,686 7.15%	1,115 1.70%	654 1.00%	65,539 100.00%	4.60	0.778	4.59	0.282

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89～80%	3 出席率 79～70%	2 出席率 69～50%	1 出席率 49%以下			
学部1年	21,144 78.05%	3,909 14.43%	1,485 5.48%	344 1.27%	210 0.78%	27,092 100.00%	4.68	0.705
学部2年	12,179 72.40%	2,957 17.58%	1,257 7.47%	278 1.65%	151 0.90%	16,822 100.00%	4.59	0.774
学部3年	7,235 69.27%	2,015 19.29%	853 8.17%	214 2.05%	127 1.22%	10,444 100.00%	4.53	0.825
学部4年	2,269 50.53%	1,214 27.04%	695 15.48%	205 4.57%	107 2.38%	4,490 100.00%	4.19	1.011

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89～80%	3 出席率 79～70%	2 出席率 69～50%	1 出席率 49%以下				平均	標準偏差
25名以下	7,242 74.76%	1,651 17.04%	656 6.77%	110 1.14%	28 0.29%	9,687 100.00%	4.65	0.683	4.63	0.291
26～50名	11,366 71.80%	3,065 19.36%	1,173 7.41%	187 1.18%	40 0.25%	15,831 100.00%	4.61	0.698	4.59	0.245
51～100名	11,626 77.17%	2,189 14.53%	903 5.99%	225 1.49%	123 0.82%	15,066 100.00%	4.66	0.730	4.60	0.299
101～200名	7,229 71.40%	1,794 17.72%	771 7.62%	199 1.97%	131 1.29%	10,124 100.00%	4.56	0.820	4.49	0.279
201名以上	10,605 71.51%	2,317 15.62%	1,183 7.98%	394 2.66%	332 2.24%	14,831 100.00%	4.52	0.915	4.46	0.273
合計	48,068 73.34%	11,016 16.81%	4,686 7.15%	1,115 1.70%	654 1.00%	65,539 100.00%	4.60	0.778	4.59	0.282

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,122 27.81%	1,444 35.79%	1,092 27.06%	267 6.62%	110 2.73%	4,035 100.00%	3.79	1.008	3.82	0.344
外セ	語学	3,374 32.52%	4,183 40.32%	2,253 21.72%	453 4.37%	111 1.07%	10,374 100.00%	3.99	0.902	4.01	0.341
スガ健	演習	1,008 58.88%	486 28.39%	185 10.81%	22 1.29%	11 0.64%	1,712 100.00%	4.44	0.785	4.50	0.302
基礎教養	講義	995 18.76%	1,876 35.36%	1,747 32.93%	514 9.69%	173 3.26%	5,305 100.00%	3.57	1.005	3.60	0.374
	演習	5 10.64%	13 27.66%	19 40.43%	8 17.02%	2 4.26%	47 100.00%	3.23	1.005	3.23	-
	計	1,000 18.68%	1,889 35.30%	1,766 33.00%	522 9.75%	175 3.27%	5,352 100.00%	3.56	1.006	3.60	0.374
法学部	講義	1,883 20.10%	3,098 33.06%	3,147 33.59%	871 9.30%	371 3.96%	9,370 100.00%	3.56	1.035	3.61	0.451
	演習	733 43.97%	611 36.65%	271 16.26%	42 2.52%	10 0.60%	1,667 100.00%	4.21	0.845	4.33	0.382
	計	2,616 23.70%	3,709 33.61%	3,418 30.97%	913 8.27%	381 3.45%	11,037 100.00%	3.66	1.035	3.90	0.553
経済学部	講義	1,686 23.26%	2,501 34.51%	2,150 29.67%	662 9.13%	248 3.42%	7,247 100.00%	3.65	1.040	3.81	0.489
	演習	870 58.70%	486 32.79%	103 6.95%	18 1.21%	5 0.34%	1,482 100.00%	4.48	0.709	4.48	0.306
	計	2,556 29.28%	2,987 34.22%	2,253 25.81%	680 7.79%	253 2.90%	8,729 100.00%	3.79	1.039	4.09	0.535
文学部	講義	1,506 19.62%	2,788 36.32%	2,574 33.53%	640 8.34%	169 2.20%	7,677 100.00%	3.63	0.962	3.68	0.369
	演習	2,343 38.54%	2,535 41.70%	1,010 16.61%	158 2.60%	33 0.54%	6,079 100.00%	4.15	0.826	4.17	0.321
	計	3,849 27.98%	5,323 38.70%	3,584 26.05%	798 5.80%	202 1.47%	13,756 100.00%	3.86	0.941	4.01	0.410
理学部	講義	1,055 22.16%	1,664 34.96%	1,468 30.84%	406 8.53%	167 3.51%	4,760 100.00%	3.64	1.027	3.65	0.385
	演習	610 39.97%	533 34.93%	293 19.20%	58 3.80%	32 2.10%	1,526 100.00%	4.07	0.964	4.03	0.463
	計	1,665 26.49%	2,197 34.95%	1,761 28.01%	464 7.38%	199 3.17%	6,286 100.00%	3.74	1.029	3.74	0.433
教職課程	講義	441 26.84%	644 39.20%	455 27.69%	79 4.81%	24 1.46%	1,643 100.00%	3.85	0.921	3.87	0.283
	演習	841 45.58%	698 37.83%	263 14.25%	26 1.41%	17 0.92%	1,845 100.00%	4.26	0.820	4.31	0.249
	計	1,282 36.75%	1,342 38.47%	718 20.58%	105 3.01%	41 1.18%	3,488 100.00%	4.07	0.892	4.15	0.336
学芸員	講義	117 20.07%	210 36.02%	206 35.33%	41 7.03%	9 1.54%	583 100.00%	3.66	0.928	3.70	0.378
	演習	55 38.19%	70 48.61%	16 11.11%	1 0.69%	2 1.39%	144 100.00%	4.22	0.777	4.20	0.315
	計	172 23.66%	280 38.51%	222 30.54%	42 5.78%	11 1.51%	727 100.00%	3.77	0.926	3.96	0.421
合計	18,644 28.47%	23,840 36.40%	17,252 26.34%	4,266 6.51%	1,494 2.28%	65,496 100.00%	3.82	0.991	3.99	0.456	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	8,805 21.68%	14,225 35.02%	12,839 31.61%	3,480 8.57%	1,271 3.13%	40,620 100.00%	3.64	1.012	3.70	0.415
演習	6,465 44.58%	5,432 37.46%	2,160 14.89%	333 2.30%	112 0.77%	14,502 100.00%	4.23	0.839	4.28	0.361
語学	3,374 32.52%	4,183 40.32%	2,253 21.72%	453 4.37%	111 1.07%	10,374 100.00%	3.99	0.902	4.01	0.341
合計	18,644 28.47%	23,840 36.40%	17,252 26.34%	4,266 6.51%	1,494 2.28%	65,496 100.00%	3.82	0.991	3.99	0.456

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	6,966 25.73%	9,913 36.61%	7,498 27.69%	1,995 7.37%	704 2.60%	27,076 100.00%	3.75	1.001
学部2年	4,785 28.46%	6,088 36.21%	4,561 27.13%	1,030 6.13%	349 2.08%	16,813 100.00%	3.83	0.979
学部3年	3,222 30.87%	3,810 36.50%	2,570 24.62%	627 6.01%	210 2.01%	10,439 100.00%	3.88	0.981
学部4年	1,635 36.43%	1,571 35.00%	964 21.48%	216 4.81%	102 2.27%	4,488 100.00%	3.99	0.988

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	4,453 45.99%	3,637 37.56%	1,319 13.62%	230 2.38%	43 0.44%	9,682 100.00%	4.26	0.814	4.27	0.377
26～50名	5,420 34.26%	6,181 39.07%	3,394 21.45%	643 4.06%	184 1.16%	15,822 100.00%	4.01	0.908	4.01	0.373
51～100名	3,811 25.32%	5,479 36.40%	4,276 28.40%	1,079 7.17%	409 2.72%	15,054 100.00%	3.74	1.002	3.72	0.375
101～200名	2,013 19.90%	3,552 35.11%	3,379 33.40%	869 8.59%	304 3.00%	10,117 100.00%	3.60	0.995	3.58	0.326
201名以上	2,947 19.88%	4,991 33.68%	4,884 32.95%	1,445 9.75%	554 3.74%	14,821 100.00%	3.56	1.031	3.49	0.332
合計	18,644 28.47%	23,840 36.40%	17,252 26.34%	4,266 6.51%	1,494 2.28%	65,496 100.00%	3.82	0.991	3.99	0.456

第4章 資料集

Q3 この授業のレベルは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	968 24.00%	1,293 32.06%	1,054 26.13%	461 11.43%	257 6.37%	4,033 100.00%	3.56	1.157	3.60	0.543
外セ	語学	3,837 36.98%	4,071 39.24%	1,863 17.96%	444 4.28%	160 1.54%	10,375 100.00%	4.06	0.925	4.08	0.394
スガ健	演習	1,030 60.27%	466 27.27%	158 9.25%	48 2.81%	7 0.41%	1,709 100.00%	4.44	0.806	4.49	0.387
基礎教養	講義	1,662 31.35%	2,237 42.20%	1,145 21.60%	211 3.98%	46 0.87%	5,301 100.00%	3.99	0.876	3.99	0.334
	演習	9 19.15%	14 29.79%	18 38.30%	5 10.64%	1 2.13%	47 100.00%	3.53	0.997	3.53	-
	計	1,671 31.25%	2,251 42.09%	1,163 21.75%	216 4.04%	47 0.88%	5,348 100.00%	3.99	0.878	3.98	0.335
法学部	講義	2,636 28.18%	3,579 38.26%	2,305 24.64%	621 6.64%	213 2.28%	9,354 100.00%	3.83	0.986	3.82	0.444
	演習	764 45.78%	563 33.73%	247 14.80%	74 4.43%	21 1.26%	1,669 100.00%	4.18	0.929	4.31	0.426
	計	3,400 30.84%	4,142 37.58%	2,552 23.15%	695 6.30%	234 2.12%	11,023 100.00%	3.89	0.985	4.02	0.497
経済学部	講義	2,186 30.18%	2,581 35.63%	1,708 23.58%	553 7.63%	215 2.97%	7,243 100.00%	3.82	1.039	3.98	0.505
	演習	834 56.24%	469 31.63%	147 9.91%	26 1.75%	7 0.47%	1,483 100.00%	4.41	0.777	4.42	0.368
	計	3,020 34.61%	3,050 34.95%	1,855 21.26%	579 6.64%	222 2.54%	8,726 100.00%	3.92	1.023	4.17	0.500
文学部	講義	2,406 31.34%	3,209 41.79%	1,627 21.19%	345 4.49%	91 1.19%	7,678 100.00%	3.98	0.901	4.04	0.359
	演習	2,616 43.04%	2,369 38.98%	867 14.26%	184 3.03%	42 0.69%	6,078 100.00%	4.21	0.845	4.23	0.356
	計	5,022 36.51%	5,578 40.55%	2,494 18.13%	529 3.85%	133 0.97%	13,756 100.00%	4.08	0.884	4.16	0.368
理学部	講義	1,031 21.67%	1,537 32.31%	1,407 29.58%	537 11.29%	245 5.15%	4,757 100.00%	3.54	1.103	3.62	0.508
	演習	458 29.99%	549 35.95%	376 24.62%	104 6.81%	40 2.62%	1,527 100.00%	3.84	1.014	3.83	0.400
	計	1,489 23.70%	2,086 33.20%	1,783 28.37%	641 10.20%	285 4.54%	6,284 100.00%	3.61	1.090	3.67	0.491
教職課程	講義	623 37.94%	654 39.83%	308 18.76%	43 2.62%	14 0.85%	1,642 100.00%	4.11	0.858	4.18	0.316
	演習	961 52.17%	615 33.39%	219 11.89%	38 2.06%	9 0.49%	1,842 100.00%	4.35	0.804	4.35	0.312
	計	1,584 45.46%	1,269 36.42%	527 15.13%	81 2.32%	23 0.66%	3,484 100.00%	4.24	0.838	4.29	0.323
学芸員	講義	208 35.62%	249 42.64%	99 16.95%	18 3.08%	10 1.71%	584 100.00%	4.07	0.894	4.02	0.426
	演習	96 66.67%	42 29.17%	5 3.47%	0 0.00%	1 0.69%	144 100.00%	4.61	0.627	4.60	0.248
	計	304 41.76%	291 39.97%	104 14.29%	18 2.47%	11 1.51%	728 100.00%	4.18	0.874	4.32	0.449
合計	22,325 34.10%	24,497 37.42%	13,553 20.70%	3,712 5.67%	1,379 2.11%	65,466 100.00%	3.96	0.981	4.07	0.471	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
	強く思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義	11,720 28.87%	15,339 37.79%	9,653 23.78%	2,789 6.87%	1,091 2.69%	40,592 100.00%	3.83	1.008	3.87	0.483
演習	6,768 46.68%	5,087 35.09%	2,037 14.05%	479 3.30%	128 0.88%	14,499 100.00%	4.23	0.874	4.29	0.400
語学	3,837 36.98%	4,071 39.24%	1,863 17.96%	444 4.28%	160 1.54%	10,375 100.00%	4.06	0.925	4.08	0.394
合計	22,325 34.10%	24,497 37.42%	13,553 20.70%	3,712 5.67%	1,379 2.11%	65,466 100.00%	3.96	0.981	4.07	0.471

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強く思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	7,964 29.42%	10,345 38.22%	6,255 23.11%	1,821 6.73%	684 2.53%	27,069 100.00%	3.85	1.000
学部2年	5,740 34.17%	6,484 38.60%	3,387 20.16%	865 5.15%	322 1.92%	16,798 100.00%	3.98	0.960
学部3年	4,206 40.32%	3,880 37.19%	1,794 17.20%	444 4.26%	108 1.04%	10,432 100.00%	4.12	0.909
学部4年	2,247 50.06%	1,467 32.68%	599 13.34%	126 2.81%	50 1.11%	4,489 100.00%	4.28	0.877

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強く思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	4,741 48.97%	3,337 34.47%	1,217 12.57%	299 3.09%	88 0.91%	9,682 100.00%	4.27	0.863	4.29	0.412
26～50名	6,126 38.72%	6,046 38.21%	2,753 17.40%	686 4.34%	211 1.33%	15,822 100.00%	4.09	0.920	4.09	0.413
51～100名	4,253 28.27%	5,337 35.47%	3,659 24.32%	1,233 8.19%	564 3.75%	15,046 100.00%	3.76	1.065	3.79	0.499
101～200名	2,939 29.08%	3,995 39.52%	2,405 23.79%	595 5.89%	174 1.72%	10,108 100.00%	3.88	0.952	3.88	0.391
201名以上	4,266 28.81%	5,782 39.05%	3,519 23.76%	899 6.07%	342 2.31%	14,808 100.00%	3.86	0.978	3.80	0.402
合計	22,325 34.10%	24,497 37.42%	13,553 20.70%	3,712 5.67%	1,379 2.11%	65,466 100.00%	3.96	0.981	4.07	0.471

Q4 この授業を進める速さは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	895 22.19%	1,230 30.49%	1,070 26.52%	558 13.83%	281 6.97%	4,034 100.00%	3.47	1.178	3.56	0.550
外セ	語学	4,175 40.24%	3,918 37.76%	1,699 16.37%	444 4.28%	140 1.35%	10,376 100.00%	4.11	0.920	4.14	0.406
入ボ健	演習	1,069 62.59%	471 27.58%	136 7.96%	26 1.52%	6 0.35%	1,708 100.00%	4.51	0.737	4.56	0.336
基礎教養	講義	1,760 33.18%	2,215 41.75%	1,070 20.17%	221 4.17%	39 0.74%	5,305 100.00%	4.02	0.875	4.05	0.322
	演習	10 21.28%	14 29.79%	18 38.30%	4 8.51%	1 2.13%	47 100.00%	3.60	0.993	3.60	-
	計	1,770 33.07%	2,229 41.65%	1,088 20.33%	225 4.20%	40 0.75%	5,352 100.00%	4.02	0.877	4.05	0.324
法学部	講義	2,765 29.54%	3,523 37.64%	2,150 22.97%	688 7.35%	234 2.50%	9,360 100.00%	3.84	1.010	3.89	0.451
	演習	851 51.14%	532 31.97%	214 12.86%	55 3.31%	12 0.72%	1,664 100.00%	4.30	0.866	4.42	0.400
	計	3,616 32.80%	4,055 36.78%	2,364 21.44%	743 6.74%	246 2.23%	11,024 100.00%	3.91	1.003	4.10	0.503
経済学部	講義	2,311 31.89%	2,591 35.75%	1,494 20.62%	550 7.59%	301 4.15%	7,247 100.00%	3.84	1.084	4.03	0.503
	演習	895 60.31%	437 29.45%	134 9.03%	16 1.08%	2 0.13%	1,484 100.00%	4.49	0.715	4.49	0.317
	計	3,206 36.72%	3,028 34.68%	1,628 18.65%	566 6.48%	303 3.47%	8,731 100.00%	3.95	1.060	4.23	0.488
文学部	講義	2,632 34.28%	3,160 41.15%	1,469 19.13%	335 4.36%	83 1.08%	7,679 100.00%	4.03	0.897	4.12	0.347
	演習	2,820 46.40%	2,273 37.40%	761 12.52%	179 2.95%	44 0.72%	6,077 100.00%	4.26	0.840	4.29	0.369
	計	5,452 39.63%	5,433 39.50%	2,230 16.21%	514 3.74%	127 0.92%	13,756 100.00%	4.13	0.880	4.23	0.371
理学部	講義	1,129 23.72%	1,581 33.21%	1,319 27.71%	488 10.25%	243 5.11%	4,760 100.00%	3.60	1.107	3.72	0.503
	演習	459 30.08%	534 34.99%	411 26.93%	79 5.18%	43 2.82%	1,526 100.00%	3.84	1.003	3.81	0.398
	計	1,588 25.26%	2,115 33.65%	1,730 27.52%	567 9.02%	286 4.55%	6,286 100.00%	3.66	1.088	3.74	0.481
教職課程	講義	629 38.33%	616 37.54%	316 19.26%	57 3.47%	23 1.40%	1,641 100.00%	4.08	0.914	4.16	0.356
	演習	1,015 55.04%	574 31.13%	204 11.06%	37 2.01%	14 0.76%	1,844 100.00%	4.38	0.817	4.40	0.323
	計	1,644 47.17%	1,190 34.15%	520 14.92%	94 2.70%	37 1.06%	3,485 100.00%	4.24	0.877	4.32	0.352
学芸員	講義	226 38.70%	238 40.75%	98 16.78%	16 2.74%	6 1.03%	584 100.00%	4.13	0.860	4.13	0.291
	演習	99 68.75%	38 26.39%	6 4.17%	1 0.69%	0 0.00%	144 100.00%	4.63	0.600	4.62	0.205
	計	325 44.64%	276 37.91%	104 14.29%	17 2.34%	6 0.82%	728 100.00%	4.23	0.839	4.39	0.349
合計	23,740 36.26%	23,945 36.57%	12,569 19.20%	3,754 5.73%	1,472 2.25%	65,480 100.00%	3.99	0.993	4.14	0.474	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		12,347 30.40%	15,154 37.32%	8,986 22.13%	2,913 7.17%	1,210 2.98%	40,610 100.00%	3.85	1.029	3.93	0.485
演習		7,218 49.80%	4,873 33.62%	1,884 13.00%	397 2.74%	122 0.84%	14,494 100.00%	4.29	0.855	4.36	0.395
語学		4,175 40.24%	3,918 37.76%	1,699 16.37%	444 4.28%	140 1.35%	10,376 100.00%	4.11	0.920	4.14	0.406
合計		23,740 36.26%	23,945 36.57%	12,569 19.20%	3,754 5.73%	1,472 2.25%	65,480 100.00%	3.99	0.993	4.14	0.474

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	8,331 30.77%	10,176 37.59%	5,895 21.77%	1,891 6.98%	780 2.88%	27,073 100.00%	3.86	1.023
学部2年	6,183 36.79%	6,339 37.72%	3,066 18.25%	898 5.34%	318 1.89%	16,804 100.00%	4.02	0.966
学部3年	4,482 42.94%	3,740 35.83%	1,659 15.89%	444 4.25%	114 1.09%	10,439 100.00%	4.15	0.913
学部4年	2,424 53.99%	1,384 30.82%	544 12.12%	99 2.20%	39 0.87%	4,490 100.00%	4.35	0.840

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	5,164 53.33%	3,151 32.54%	1,051 10.85%	247 2.55%	71 0.73%	9,684 100.00%	4.35	0.828	4.37	0.394
26～50名	6,607 41.77%	5,862 37.06%	2,546 16.10%	625 3.95%	177 1.12%	15,817 100.00%	4.14	0.904	4.15	0.402
51～100名	4,392 29.18%	5,273 35.04%	3,490 23.19%	1,288 8.56%	607 4.03%	15,050 100.00%	3.77	1.084	3.81	0.502
101～200名	3,150 31.15%	3,937 38.93%	2,267 22.42%	588 5.81%	171 1.69%	10,113 100.00%	3.92	0.956	3.94	0.372
201名以上	4,427 29.88%	5,722 38.62%	3,215 21.70%	1,006 6.79%	446 3.01%	14,816 100.00%	3.86	1.019	3.81	0.427
合計	23,740 36.26%	23,945 36.57%	12,569 19.20%	3,754 5.73%	1,472 2.25%	65,480 100.00%	3.99	0.993	4.14	0.474

第4章 資料集

Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,053 26.14%	1,413 35.08%	1,117 27.73%	299 7.42%	146 3.62%	4,028 100.00%	3.73	1.043	3.81	0.441
外セ	語学	5,296 51.05%	3,482 33.56%	1,293 12.46%	215 2.07%	89 0.86%	10,375 100.00%	4.32	0.833	4.35	0.403
スガ健	演習	1,193 69.73%	406 23.73%	100 5.84%	8 0.47%	4 0.23%	1,711 100.00%	4.62	0.639	4.66	0.270
基礎教養	講義	2,449 46.17%	1,985 37.42%	703 13.25%	127 2.39%	40 0.75%	5,304 100.00%	4.26	0.831	4.29	0.355
	演習	19 40.43%	21 44.68%	6 12.77%	1 2.13%	0 0.00%	47 100.00%	4.23	0.758	4.23	-
	計	2,468 46.12%	2,006 37.49%	709 13.25%	128 2.39%	40 0.75%	5,351 100.00%	4.26	0.831	4.29	0.353
法学部	講義	3,858 41.18%	3,540 37.78%	1,532 16.35%	315 3.36%	124 1.32%	9,369 100.00%	4.14	0.899	4.19	0.397
	演習	1,030 61.71%	446 26.72%	144 8.63%	34 2.04%	15 0.90%	1,669 100.00%	4.46	0.807	4.60	0.365
	計	4,888 44.28%	3,986 36.11%	1,676 15.18%	349 3.16%	139 1.26%	11,038 100.00%	4.19	0.894	4.35	0.434
経済学部	講義	3,216 44.42%	2,537 35.04%	1,098 15.17%	255 3.52%	134 1.85%	7,240 100.00%	4.17	0.936	4.30	0.420
	演習	1,035 69.79%	359 24.21%	71 4.79%	13 0.88%	5 0.34%	1,483 100.00%	4.62	0.651	4.63	0.311
	計	4,251 48.73%	2,896 33.20%	1,169 13.40%	268 3.07%	139 1.59%	8,723 100.00%	4.24	0.910	4.44	0.412
文学部	講義	3,815 49.68%	2,703 35.20%	931 12.12%	178 2.32%	52 0.68%	7,679 100.00%	4.31	0.822	4.38	0.354
	演習	3,590 59.08%	1,918 31.57%	477 7.85%	64 1.05%	27 0.44%	6,076 100.00%	4.48	0.723	4.51	0.323
	計	7,405 53.83%	4,621 33.60%	1,408 10.24%	242 1.76%	79 0.57%	13,755 100.00%	4.38	0.785	4.47	0.339
理学部	講義	1,804 37.94%	1,716 36.09%	946 19.89%	192 4.04%	97 2.04%	4,755 100.00%	4.04	0.960	4.11	0.425
	演習	597 39.25%	534 35.11%	300 19.72%	57 3.75%	33 2.17%	1,521 100.00%	4.06	0.966	4.01	0.368
	計	2,401 38.26%	2,250 35.85%	1,246 19.85%	249 3.97%	130 2.07%	6,276 100.00%	4.04	0.962	4.08	0.414
教職課程	講義	768 46.74%	604 36.76%	215 13.09%	38 2.31%	18 1.10%	1,643 100.00%	4.26	0.851	4.31	0.266
	演習	1,302 70.68%	401 21.77%	104 5.65%	19 1.03%	16 0.87%	1,842 100.00%	4.60	0.720	4.59	0.311
	計	2,070 59.40%	1,005 28.84%	319 9.15%	57 1.64%	34 0.98%	3,485 100.00%	4.44	0.803	4.49	0.323
学芸員	講義	301 51.63%	210 36.02%	61 10.46%	5 0.86%	6 1.03%	583 100.00%	4.36	0.785	4.45	0.328
	演習	113 78.47%	27 18.75%	2 1.39%	1 0.69%	1 0.69%	144 100.00%	4.74	0.591	4.72	0.330
	計	414 56.95%	237 32.60%	63 8.67%	6 0.83%	7 0.96%	727 100.00%	4.44	0.765	4.59	0.349
合計	31,439 48.02%	22,302 34.06%	9,100 13.90%	1,821 2.78%	807 1.23%	65,469 100.00%	4.25	0.883	4.36	0.421	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義	17,264 42.52%	14,708 36.23%	6,603 16.26%	1,409 3.47%	617 1.52%	40,601 100.00%	4.15	0.917	4.21	0.427
演習	8,879 61.26%	4,112 28.37%	1,204 8.31%	197 1.36%	101 0.70%	14,493 100.00%	4.48	0.762	4.54	0.352
語学	5,296 51.05%	3,482 33.56%	1,293 12.46%	215 2.07%	89 0.86%	10,375 100.00%	4.32	0.833	4.35	0.403
合計	31,439 48.02%	22,302 34.06%	9,100 13.90%	1,821 2.78%	807 1.23%	65,469 100.00%	4.25	0.883	4.36	0.421

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	11,460 42.33%	9,682 35.76%	4,533 16.74%	1,002 3.70%	395 1.46%	27,072 100.00%	4.14	0.923
学部2年	8,251 49.10%	5,855 34.84%	2,108 12.54%	387 2.30%	203 1.21%	16,804 100.00%	4.28	0.859
学部3年	5,734 54.97%	3,348 32.10%	1,086 10.41%	197 1.89%	66 0.63%	10,431 100.00%	4.39	0.797
学部4年	2,933 65.32%	1,157 25.77%	322 7.17%	37 0.82%	41 0.91%	4,490 100.00%	4.54	0.742

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	6,294 65.02%	2,576 26.61%	671 6.93%	93 0.96%	46 0.48%	9,680 100.00%	4.55	0.708	4.57	0.355
26～50名	8,379 52.97%	5,225 33.03%	1,797 11.36%	296 1.87%	122 0.77%	15,819 100.00%	4.36	0.813	4.36	0.372
51～100名	6,019 40.01%	5,274 35.06%	2,760 18.35%	668 4.44%	321 2.13%	15,042 100.00%	4.06	0.974	4.11	0.461
101～200名	4,593 45.43%	3,705 36.65%	1,457 14.41%	252 2.49%	102 1.01%	10,109 100.00%	4.23	0.858	4.23	0.319
201名以上	6,154 41.53%	5,522 37.26%	2,415 16.30%	512 3.46%	216 1.46%	14,819 100.00%	4.14	0.910	4.09	0.367
合計	31,439 48.02%	22,302 34.06%	9,100 13.90%	1,821 2.78%	807 1.23%	65,469 100.00%	4.25	0.883	4.36	0.421

Q6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,125 27.88%	1,421 35.22%	1,043 25.85%	298 7.39%	148 3.67%	4,035 100.00%	3.76	1.052	3.84	0.434
外セ	語学	4,812 46.39%	3,758 36.23%	1,473 14.20%	250 2.41%	81 0.78%	10,374 100.00%	4.25	0.843	4.29	0.369
スボ健	演習	1,126 65.85%	414 24.21%	140 8.19%	20 1.17%	10 0.58%	1,710 100.00%	4.54	0.744	4.59	0.324
基礎教養	講義	1,960 36.96%	2,038 38.43%	1,058 19.95%	198 3.73%	49 0.92%	5,303 100.00%	4.07	0.893	4.11	0.334
	演習	17 36.17%	13 27.66%	12 25.53%	5 10.64%	0 0.00%	47 100.00%	3.89	1.026	3.89	-
	計	1,977 36.95%	2,051 38.34%	1,070 20.00%	203 3.79%	49 0.92%	5,350 100.00%	4.07	0.894	4.11	0.332
法学部	講義	3,426 36.60%	3,339 35.67%	1,937 20.69%	488 5.21%	171 1.83%	9,361 100.00%	4.00	0.973	4.11	0.390
	演習	974 58.43%	439 26.33%	182 10.92%	55 3.30%	17 1.02%	1,667 100.00%	4.38	0.880	4.51	0.398
	計	4,400 39.90%	3,778 34.26%	2,119 19.21%	543 4.92%	188 1.70%	11,028 100.00%	4.06	0.969	4.27	0.439
経済学部	講義	2,766 38.20%	2,443 33.74%	1,466 20.25%	392 5.41%	173 2.39%	7,240 100.00%	4.00	1.008	4.21	0.441
	演習	1,000 67.39%	384 25.88%	88 5.93%	9 0.61%	3 0.20%	1,484 100.00%	4.60	0.648	4.60	0.280
	計	3,766 43.17%	2,827 32.40%	1,554 17.81%	401 4.60%	176 2.02%	8,724 100.00%	4.10	0.982	4.38	0.425
文学部	講義	2,952 38.46%	3,010 39.21%	1,375 17.91%	275 3.58%	64 0.83%	7,676 100.00%	4.11	0.878	4.21	0.331
	演習	3,225 53.07%	2,037 33.52%	669 11.01%	114 1.88%	32 0.53%	6,077 100.00%	4.37	0.793	4.40	0.318
	計	6,177 44.91%	5,047 36.70%	2,044 14.86%	389 2.83%	96 0.70%	13,753 100.00%	4.22	0.851	4.34	0.335
理学部	講義	1,479 31.08%	1,680 35.30%	1,200 25.22%	266 5.59%	134 2.82%	4,759 100.00%	3.86	1.011	3.95	0.429
	演習	548 35.93%	510 33.44%	348 22.82%	75 4.92%	44 2.89%	1,526 100.00%	3.95	1.021	3.91	0.408
	計	2,027 32.26%	2,190 34.85%	1,548 24.63%	341 5.43%	178 2.83%	6,284 100.00%	3.88	1.014	3.94	0.424
教職課程	講義	674 41.07%	603 36.75%	272 16.58%	66 4.02%	26 1.58%	1,641 100.00%	4.12	0.931	4.18	0.324
	演習	1,068 57.92%	537 29.12%	190 10.30%	30 1.63%	19 1.03%	1,844 100.00%	4.41	0.819	4.44	0.309
	計	1,742 49.99%	1,140 32.71%	462 13.26%	96 2.75%	45 1.29%	3,485 100.00%	4.27	0.886	4.35	0.338
学芸員	講義	235 40.24%	243 41.61%	84 14.38%	14 2.40%	8 1.37%	584 100.00%	4.17	0.859	4.23	0.267
	演習	106 73.61%	34 23.61%	3 2.08%	0 0.00%	1 0.69%	144 100.00%	4.69	0.583	4.68	0.260
	計	341 46.84%	277 38.05%	87 11.95%	14 1.92%	9 1.24%	728 100.00%	4.27	0.838	4.47	0.345
合計	27,493 41.99%	22,903 34.98%	11,540 17.63%	2,555 3.90%	980 1.50%	65,471 100.00%	4.12	0.934	4.27	0.414	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		14,617 36.00%	14,777 36.40%	8,435 20.78%	1,997 4.92%	773 1.90%	40,599 100.00%	4.00	0.967	4.10	0.411
演習		8,064 55.62%	4,368 30.13%	1,632 11.26%	308 2.12%	126 0.87%	14,498 100.00%	4.38	0.831	4.45	0.364
語学		4,812 46.39%	3,758 36.23%	1,473 14.20%	250 2.41%	81 0.78%	10,374 100.00%	4.25	0.843	4.29	0.369
合計		27,493 41.99%	22,903 34.98%	11,540 17.63%	2,555 3.90%	980 1.50%	65,471 100.00%	4.12	0.934	4.27	0.414

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	9,770 36.09%	9,857 36.41%	5,587 20.64%	1,359 5.02%	499 1.84%	27,072 100.00%	4.00	0.966
学部2年	7,231 43.03%	5,970 35.53%	2,807 16.71%	575 3.42%	220 1.31%	16,803 100.00%	4.16	0.910
学部3年	5,046 48.37%	3,581 34.33%	1,476 14.15%	247 2.37%	82 0.79%	10,432 100.00%	4.27	0.847
学部4年	2,703 60.20%	1,249 27.82%	419 9.33%	71 1.58%	48 1.07%	4,490 100.00%	4.44	0.811

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	5,900 60.96%	2,778 28.70%	827 8.54%	128 1.32%	46 0.48%	9,679 100.00%	4.48	0.746	4.50	0.350
26～50名	7,508 47.45%	5,586 35.30%	2,228 14.08%	375 2.37%	126 0.80%	15,823 100.00%	4.26	0.844	4.27	0.338
51～100名	5,291 35.16%	5,397 35.87%	3,215 21.36%	772 5.13%	373 2.48%	15,048 100.00%	3.96	0.996	4.00	0.419
101～200名	3,708 36.70%	3,850 38.10%	2,028 20.07%	411 4.07%	107 1.06%	10,104 100.00%	4.05	0.907	4.09	0.299
201名以上	5,086 34.33%	5,292 35.72%	3,242 21.88%	869 5.86%	328 2.21%	14,817 100.00%	3.94	0.996	3.92	0.365
合計	27,493 41.99%	22,903 34.98%	11,540 17.63%	2,555 3.90%	980 1.50%	65,471 100.00%	4.12	0.934	4.27	0.414

第4章 資料集

Q7 教員は理解しやすい授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,049 26.00%	1,313 32.54%	997 24.71%	414 10.26%	262 6.49%	4,035 100.00%	3.61	1.163	3.69	0.552
外セ	語学	4,850 46.76%	3,559 34.31%	1,402 13.52%	409 3.94%	153 1.47%	10,373 100.00%	4.21	0.922	4.24	0.454
入が健	演習	1,113 64.97%	465 27.15%	106 6.19%	22 1.28%	7 0.41%	1,713 100.00%	4.55	0.705	4.60	0.317
基礎教養	講義	2,048 38.61%	1,998 37.66%	927 17.47%	256 4.83%	76 1.43%	5,305 100.00%	4.07	0.937	4.10	0.410
	演習	12 25.53%	13 27.66%	12 25.53%	9 19.15%	9 2.13%	47 100.00%	3.55	1.138	3.55	-
	計	2,060 38.49%	2,011 37.57%	939 17.54%	265 4.95%	77 1.44%	5,352 100.00%	4.07	0.940	4.09	0.412
法学部	講義	3,158 33.76%	3,248 34.73%	1,960 20.96%	688 7.36%	299 3.20%	9,353 100.00%	3.89	1.056	3.91	0.537
	演習	963 57.73%	485 29.08%	156 9.35%	47 2.82%	17 1.02%	1,668 100.00%	4.40	0.847	4.54	0.383
	計	4,121 37.39%	3,733 33.87%	2,116 19.20%	735 6.67%	316 2.87%	11,021 100.00%	3.96	1.044	4.17	0.571
経済学部	講義	2,666 36.85%	2,427 33.55%	1,338 18.50%	526 7.27%	277 3.83%	7,234 100.00%	3.92	1.088	4.12	0.562
	演習	998 67.25%	363 24.46%	96 6.47%	19 1.28%	8 0.54%	1,484 100.00%	4.57	0.719	4.58	0.366
	計	3,664 42.03%	2,790 32.00%	1,434 16.45%	545 6.25%	285 3.27%	8,718 100.00%	4.03	1.062	4.32	0.537
文学部	講義	2,998 39.10%	2,818 36.75%	1,332 17.37%	390 5.09%	129 1.68%	7,667 100.00%	4.07	0.957	4.17	0.413
	演習	3,263 53.73%	1,975 32.52%	668 11.00%	120 1.98%	47 0.77%	6,073 100.00%	4.36	0.814	4.41	0.394
	計	6,261 45.57%	4,793 34.88%	2,000 14.56%	510 3.71%	176 1.28%	13,740 100.00%	4.20	0.909	4.33	0.415
理学部	講義	1,250 26.28%	1,541 32.40%	1,231 25.88%	458 9.63%	276 5.80%	4,756 100.00%	3.64	1.139	3.73	0.576
	演習	481 31.67%	545 35.88%	367 24.16%	80 5.27%	46 3.03%	1,519 100.00%	3.88	1.014	3.82	0.420
	計	1,731 27.59%	2,086 33.24%	1,598 25.47%	538 8.57%	322 5.13%	6,275 100.00%	3.70	1.115	3.76	0.544
教職課程	講義	677 41.23%	595 36.24%	273 16.63%	75 4.57%	22 1.34%	1,642 100.00%	4.11	0.932	4.19	0.375
	演習	1,057 57.45%	488 26.52%	218 11.85%	50 2.72%	27 1.47%	1,840 100.00%	4.36	0.898	4.41	0.394
	計	1,734 49.80%	1,083 31.10%	491 14.10%	125 3.59%	49 1.41%	3,482 100.00%	4.24	0.922	4.33	0.399
学芸員	講義	250 42.81%	223 38.18%	78 13.36%	24 4.11%	9 1.54%	584 100.00%	4.17	0.916	4.16	0.406
	演習	114 79.17%	25 17.36%	4 2.78%	0 0.00%	1 0.69%	144 100.00%	4.74	0.576	4.73	0.319
	計	364 50.00%	248 34.07%	82 11.26%	24 3.30%	10 1.37%	728 100.00%	4.28	0.889	4.45	0.460
合計	26,947 41.18%	22,081 33.74%	11,165 17.06%	3,587 5.48%	1,657 2.53%	65,437 100.00%	4.06	1.013	4.21	0.520	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		14,096 34.74%	14,163 34.90%	8,136 20.05%	2,831 6.98%	1,350 3.33%	40,576 100.00%	3.91	1.057	3.98	0.541
演習		8,001 55.23%	4,359 30.09%	1,627 11.23%	347 2.40%	154 1.06%	14,488 100.00%	4.36	0.852	4.45	0.418
語学		4,850 46.76%	3,559 34.31%	1,402 13.52%	409 3.94%	153 1.47%	10,373 100.00%	4.21	0.922	4.24	0.454
合計		26,947 41.18%	22,081 33.74%	11,165 17.06%	3,587 5.48%	1,657 2.53%	65,437 100.00%	4.06	1.013	4.21	0.520

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		9,637 35.61%	9,483 35.04%	5,257 19.43%	1,851 6.84%	834 3.08%	27,062 100.00%	3.93	1.047
学部2年		6,968 41.49%	5,842 34.79%	2,794 16.64%	821 4.89%	369 2.20%	16,794 100.00%	4.08	0.984
学部3年		5,004 48.00%	3,414 32.75%	1,442 13.83%	408 3.91%	156 1.50%	10,424 100.00%	4.22	0.928
学部4年		2,718 60.62%	1,169 26.07%	451 10.06%	89 1.98%	57 1.27%	4,484 100.00%	4.43	0.847

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		5,902 60.98%	2,675 27.64%	830 8.58%	176 1.82%	95 0.98%	9,678 100.00%	4.46	0.804	4.48	0.416
26～50名		7,460 47.16%	5,434 34.35%	2,129 13.46%	588 3.72%	207 1.31%	15,818 100.00%	4.22	0.907	4.23	0.439
51～100名		4,928 32.77%	5,143 34.20%	3,190 21.22%	1,139 7.58%	636 4.23%	15,036 100.00%	3.84	1.094	3.87	0.552
101～200名		3,504 34.70%	3,622 35.87%	2,038 20.18%	678 6.71%	255 2.53%	10,097 100.00%	3.94	1.020	3.96	0.436
201名以上		5,153 34.80%	5,207 35.16%	2,978 20.11%	1,006 6.79%	464 3.13%	14,808 100.00%	3.92	1.047	3.85	0.488
合計		26,947 41.18%	22,081 33.74%	11,165 17.06%	3,587 5.48%	1,657 2.53%	65,437 100.00%	4.06	1.013	4.21	0.520

Q8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,129 28.01%	1,349 33.47%	981 24.34%	356 8.83%	216 5.36%	4,031 100.00%	3.70	1.126	3.80	0.497
外セ	語学	4,846 46.71%	3,591 34.61%	1,452 14.00%	370 3.57%	116 1.12%	10,375 100.00%	4.22	0.895	4.25	0.410
スボ健	演習	1,163 67.97%	420 24.55%	102 5.96%	17 0.99%	9 0.53%	1,711 100.00%	4.58	0.697	4.63	0.305
基礎教養	講義	2,100 39.62%	2,009 37.91%	887 16.74%	249 4.70%	55 1.04%	5,300 100.00%	4.10	0.913	4.14	0.361
	演習	12 25.53%	16 34.04%	15 31.91%	3 6.38%	3 2.13%	47 100.00%	3.74	0.988	3.74	-
	計	2,112 39.50%	2,025 37.87%	902 16.87%	252 4.71%	56 1.05%	5,347 100.00%	4.10	0.915	4.14	0.362
法学部	講義	3,112 33.27%	3,232 34.56%	1,917 20.50%	769 8.22%	323 3.45%	9,353 100.00%	3.86	1.076	3.91	0.518
	演習	979 58.73%	471 28.25%	168 10.08%	37 2.22%	12 0.72%	1,667 100.00%	4.42	0.816	4.55	0.363
	計	4,091 37.12%	3,703 33.60%	2,085 18.92%	806 7.31%	335 3.04%	11,020 100.00%	3.94	1.060	4.16	0.558
経済学部	講義	2,691 37.22%	2,529 34.98%	1,344 18.59%	422 5.84%	244 3.37%	7,230 100.00%	3.97	1.046	4.16	0.503
	演習	1,029 69.43%	341 23.01%	83 5.60%	24 1.62%	5 0.34%	1,482 100.00%	4.60	0.701	4.62	0.352
	計	3,720 42.70%	2,870 32.94%	1,427 16.38%	446 5.12%	249 2.86%	8,712 100.00%	4.08	1.023	4.35	0.499
文学部	講義	3,140 40.94%	2,857 37.25%	1,202 15.67%	353 4.60%	117 1.53%	7,669 100.00%	4.11	0.935	4.22	0.400
	演習	3,401 56.00%	1,901 31.30%	603 9.93%	123 2.03%	45 0.74%	6,073 100.00%	4.40	0.805	4.44	0.375
	計	6,541 47.60%	4,758 34.62%	1,805 13.13%	476 3.46%	162 1.18%	13,742 100.00%	4.24	0.891	4.37	0.397
理学部	講義	1,419 29.84%	1,598 33.61%	1,115 23.45%	410 8.62%	213 4.48%	4,755 100.00%	3.76	1.106	3.86	0.551
	演習	510 33.51%	559 36.73%	357 23.46%	65 4.27%	31 2.04%	1,522 100.00%	3.95	0.960	3.92	0.345
	計	1,929 30.73%	2,157 34.36%	1,472 23.45%	475 7.57%	244 3.89%	6,277 100.00%	3.80	1.075	3.87	0.510
教職課程	講義	673 40.99%	620 37.76%	266 16.20%	64 3.90%	19 1.16%	1,642 100.00%	4.14	0.902	4.21	0.370
	演習	1,093 59.37%	500 27.16%	192 10.43%	36 1.96%	20 1.09%	1,841 100.00%	4.42	0.837	4.47	0.345
	計	1,766 50.70%	1,120 32.16%	458 13.15%	100 2.87%	39 1.12%	3,483 100.00%	4.28	0.879	4.37	0.374
学芸員	講義	275 47.17%	205 35.16%	77 13.21%	19 3.26%	7 1.20%	583 100.00%	4.24	0.887	4.23	0.403
	演習	105 72.92%	30 20.83%	6 4.17%	2 1.39%	1 0.69%	144 100.00%	4.64	0.696	4.63	0.288
	計	380 52.27%	235 32.32%	83 11.42%	21 2.89%	8 1.10%	727 100.00%	4.32	0.867	4.44	0.396
合計	27,677 42.30%	22,228 33.97%	10,767 16.46%	3,319 5.07%	1,434 2.19%	65,425 100.00%	4.09	0.990	4.25	0.483	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		14,539 35.84%	14,399 35.50%	7,789 19.20%	2,642 6.51%	1,194 2.94%	40,563 100.00%	3.95	1.036	4.04	0.502
演習		8,292 57.24%	4,238 29.25%	1,526 10.53%	307 2.12%	124 0.86%	14,487 100.00%	4.40	0.825	4.48	0.389
語学		4,846 46.71%	3,591 34.61%	1,452 14.00%	370 3.57%	116 1.12%	10,375 100.00%	4.22	0.895	4.25	0.410
合計		27,677 42.30%	22,228 33.97%	10,767 16.46%	3,319 5.07%	1,434 2.19%	65,425 100.00%	4.09	0.990	4.25	0.483

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		9,908 36.62%	9,555 35.32%	5,196 19.21%	1,670 6.17%	724 2.68%	27,053 100.00%	3.97	1.022
学部2年		7,155 42.62%	5,796 34.52%	2,697 16.07%	804 4.79%	336 2.00%	16,788 100.00%	4.11	0.973
学部3年		5,148 49.36%	3,436 32.95%	1,297 12.44%	406 3.89%	142 1.36%	10,429 100.00%	4.25	0.913
学部4年		2,772 61.79%	1,159 25.84%	413 9.21%	93 2.07%	49 1.09%	4,486 100.00%	4.45	0.829

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		6,029 62.31%	2,622 27.10%	778 8.04%	181 1.87%	66 0.68%	9,676 100.00%	4.48	0.778	4.51	0.386
26～50名		7,666 48.47%	5,391 34.09%	2,095 13.25%	496 3.14%	168 1.06%	15,816 100.00%	4.26	0.879	4.27	0.396
51～100名		5,229 34.77%	5,180 34.45%	3,046 20.26%	1,048 6.97%	534 3.55%	15,037 100.00%	3.90	1.067	3.93	0.503
101～200名		3,645 36.11%	3,706 36.71%	1,900 18.82%	618 6.12%	226 2.24%	10,095 100.00%	3.98	0.998	4.01	0.424
201名以上		5,108 34.51%	5,329 36.00%	2,948 19.92%	976 6.59%	440 2.97%	14,801 100.00%	3.92	1.034	3.88	0.449
合計		27,677 42.30%	22,228 33.97%	10,767 16.46%	3,319 5.07%	1,434 2.19%	65,425 100.00%	4.09	0.990	4.25	0.483

第4章 資料集

Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	856 21.29%	1,212 30.15%	1,280 31.84%	429 10.67%	243 6.04%	4,020 100.00%	3.50	1.119	3.61	0.426
外セ	語学	3,773 36.49%	3,564 34.47%	2,234 21.61%	560 5.42%	209 2.02%	10,340 100.00%	3.98	0.990	4.02	0.445
入が健	演習	993 58.34%	428 25.15%	223 13.10%	38 2.23%	20 1.18%	1,702 100.00%	4.37	0.878	4.46	0.407
基礎教養	講義	2,129 40.28%	1,941 36.73%	964 18.24%	185 3.50%	66 1.25%	5,285 100.00%	4.11	0.908	4.17	0.295
	演習	14 29.79%	13 27.66%	14 29.79%	4 8.51%	2 4.26%	47 100.00%	3.70	1.121	3.70	-
	計	2,143 40.19%	1,954 36.65%	978 18.34%	189 3.54%	68 1.28%	5,332 100.00%	4.11	0.911	4.17	0.298
法学部	講義	3,045 32.63%	3,320 35.58%	2,174 23.30%	558 5.98%	234 2.51%	9,331 100.00%	3.90	1.007	3.95	0.429
	演習	985 59.19%	444 26.68%	178 10.70%	36 2.16%	21 1.26%	1,664 100.00%	4.40	0.858	4.56	0.382
	計	4,030 36.65%	3,764 34.23%	2,352 21.39%	594 5.40%	255 2.32%	10,995 100.00%	3.97	1.002	4.20	0.507
経済学部	講義	2,578 35.77%	2,258 31.33%	1,580 21.92%	505 7.01%	287 3.98%	7,208 100.00%	3.88	1.096	4.09	0.538
	演習	999 67.45%	366 24.71%	96 6.48%	13 0.88%	7 0.47%	1,481 100.00%	4.58	0.695	4.59	0.325
	計	3,577 41.17%	2,624 30.20%	1,676 19.29%	518 5.96%	294 3.38%	8,689 100.00%	4.00	1.071	4.30	0.520
文学部	講義	3,160 41.35%	2,710 35.46%	1,354 17.72%	315 4.12%	104 1.36%	7,643 100.00%	4.11	0.930	4.21	0.374
	演習	3,137 51.76%	1,979 32.65%	747 12.32%	137 2.26%	61 1.01%	6,061 100.00%	4.32	0.849	4.36	0.373
	計	6,297 45.95%	4,689 34.22%	2,101 15.33%	452 3.30%	165 1.20%	13,704 100.00%	4.20	0.901	4.31	0.380
理学部	講義	1,303 27.49%	1,526 32.19%	1,332 28.10%	367 7.74%	212 4.47%	4,740 100.00%	3.70	1.087	3.79	0.474
	演習	551 36.37%	486 32.08%	364 24.03%	69 4.55%	45 2.97%	1,515 100.00%	3.94	1.025	3.90	0.471
	計	1,854 29.64%	2,012 32.17%	1,696 27.11%	436 6.97%	257 4.11%	6,255 100.00%	3.76	1.077	3.82	0.474
教職課程	講義	623 38.10%	600 36.70%	320 19.57%	69 4.22%	23 1.41%	1,635 100.00%	4.06	0.932	4.13	0.317
	演習	1,095 59.58%	520 28.29%	171 9.30%	27 1.47%	25 1.36%	1,838 100.00%	4.43	0.827	4.44	0.336
	計	1,718 49.47%	1,120 32.25%	491 14.14%	96 2.76%	48 1.38%	3,473 100.00%	4.26	0.897	4.33	0.359
学芸員	講義	256 44.21%	193 33.33%	95 16.41%	30 5.18%	5 0.86%	579 100.00%	4.15	0.933	4.22	0.379
	演習	111 78.17%	25 17.61%	4 2.82%	1 0.70%	1 0.70%	142 100.00%	4.72	0.623	4.70	0.319
	計	367 50.90%	218 30.24%	99 13.73%	31 4.30%	6 0.83%	721 100.00%	4.26	0.909	4.47	0.421
合計	25,608 39.26%	21,585 33.09%	13,130 20.13%	3,343 5.12%	1,565 2.40%	65,231 100.00%	4.02	1.007	4.16	0.486	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	13,950 34.49%	13,760 34.02%	9,099 22.50%	2,458 6.08%	1,174 2.90%	40,441 100.00%	3.91	1.033	4.00	0.475
演習	7,885 54.57%	4,261 29.49%	1,797 12.44%	325 2.25%	182 1.26%	14,450 100.00%	4.34	0.871	4.42	0.405
語学	3,773 36.49%	3,564 34.47%	2,234 21.61%	560 5.42%	209 2.02%	10,340 100.00%	3.98	0.990	4.02	0.445
合計	25,608 39.26%	21,585 33.09%	13,130 20.13%	3,343 5.12%	1,565 2.40%	65,231 100.00%	4.02	1.007	4.16	0.486

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	8,865 32.87%	9,223 34.19%	6,355 23.56%	1,728 6.41%	802 2.97%	26,973 100.00%	3.88	1.036
学部2年	6,557 39.18%	5,704 34.08%	3,381 20.20%	760 4.54%	334 2.00%	16,736 100.00%	4.04	0.977
学部3年	4,979 47.86%	3,320 31.91%	1,577 15.16%	379 3.64%	149 1.43%	10,404 100.00%	4.21	0.927
学部4年	2,670 59.76%	1,170 26.19%	468 10.47%	89 1.99%	71 1.59%	4,468 100.00%	4.41	0.872

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	5,511 57.13%	2,739 28.40%	1,093 11.33%	208 2.16%	95 0.98%	9,646 100.00%	4.39	0.843	4.42	0.439
26～50名	6,622 41.99%	5,297 33.58%	2,861 18.27%	690 4.37%	282 1.79%	15,772 100.00%	4.10	0.964	4.12	0.418
51～100名	4,892 32.64%	4,868 32.48%	3,629 24.21%	1,032 6.89%	568 3.79%	14,989 100.00%	3.83	1.076	3.87	0.478
101～200名	3,742 37.17%	3,594 35.70%	2,072 20.58%	479 4.76%	181 1.80%	10,068 100.00%	4.02	0.964	4.02	0.350
201名以上	4,841 32.81%	5,087 34.47%	3,455 23.41%	934 6.33%	439 2.98%	14,756 100.00%	3.88	1.034	3.82	0.407
合計	25,608 39.26%	21,585 33.09%	13,130 20.13%	3,343 5.12%	1,565 2.40%	65,231 100.00%	4.02	1.007	4.16	0.486

Q10 この授業のシラバスは受講に役立つ

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	0	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった					
計セ	講義	457 11.35%	547 13.58%	833 20.69%	162 4.02%	96 2.38%	1,932 47.98%	4,027 100.00%	3.53	1.056	3.57	0.384
	外セ	1,996 19.28%	1,878 18.14%	1,690 16.32%	246 2.38%	123 1.19%	4,421 42.70%	10,354 100.00%	3.91	0.982	3.90	0.436
	スガ健	632 37.07%	278 16.30%	174 10.21%	25 1.47%	11 0.65%	585 34.31%	1,705 100.00%	4.33	0.887	4.37	0.398
基礎教養	講義	989 18.67%	1,381 26.08%	1,210 22.85%	178 3.36%	72 1.36%	1,466 27.68%	5,296 100.00%	3.79	0.942	3.84	0.270
	演習	8 17.02%	6 12.77%	11 23.40%	3 6.38%	0 0.00%	19 40.43%	47 100.00%	3.68	1.020	3.68	-
	計	997 18.66%	1,387 25.96%	1,221 22.85%	181 3.39%	72 1.35%	1,485 27.79%	5,343 100.00%	3.79	0.942	3.84	0.269
法学部	講義	1,677 17.95%	2,045 21.89%	2,152 23.04%	386 4.13%	161 1.72%	2,920 31.26%	9,341 100.00%	3.73	0.995	3.77	0.379
	演習	580 34.81%	326 19.57%	252 15.13%	36 2.16%	16 0.96%	456 27.37%	1,666 100.00%	4.17	0.947	4.22	0.465
	計	2,257 20.51%	2,371 21.54%	2,404 21.84%	422 3.83%	177 1.61%	3,376 30.67%	11,007 100.00%	3.80	1.001	3.95	0.470
経済学部	講義	1,525 21.15%	1,603 22.23%	1,546 21.44%	260 3.61%	119 1.65%	2,157 29.92%	7,210 100.00%	3.82	0.997	3.95	0.433
	演習	580 39.35%	294 19.95%	160 10.85%	24 1.63%	9 0.61%	407 27.61%	1,474 100.00%	4.32	0.869	4.33	0.470
	計	2,105 24.24%	1,897 21.84%	1,706 19.65%	284 3.27%	128 1.47%	2,564 29.53%	8,684 100.00%	3.91	0.994	4.11	0.485
文学部	講義	1,610 21.04%	1,984 25.93%	1,579 20.64%	196 2.56%	91 1.19%	2,192 28.65%	7,652 100.00%	3.88	0.930	3.94	0.342
	演習	1,718 28.38%	1,477 24.40%	895 14.78%	102 1.68%	39 0.64%	1,823 30.11%	6,054 100.00%	4.12	0.885	4.12	0.383
	計	3,328 24.28%	3,461 25.25%	2,474 18.05%	298 2.17%	130 0.95%	4,015 29.29%	13,706 100.00%	3.99	0.918	4.06	0.379
理学部	講義	644 13.56%	634 13.35%	957 20.15%	145 3.05%	71 1.49%	2,299 48.40%	4,750 100.00%	3.67	1.020	3.71	0.395
	演習	252 16.61%	236 15.56%	283 18.66%	37 2.44%	12 0.79%	697 45.95%	1,517 100.00%	3.83	0.968	3.82	0.362
	計	896 14.30%	870 13.88%	1,240 19.79%	182 2.90%	83 1.32%	2,996 47.81%	6,267 100.00%	3.71	1.009	3.74	0.389
教職課程	講義	280 17.07%	334 20.37%	349 21.28%	47 2.87%	24 1.46%	606 36.95%	1,640 100.00%	3.77	0.974	3.81	0.264
	演習	604 32.93%	394 21.48%	320 17.45%	37 2.02%	20 1.09%	459 25.03%	1,834 100.00%	4.11	0.948	4.16	0.326
	計	884 25.45%	728 20.96%	669 19.26%	84 2.42%	44 1.27%	1,065 30.66%	3,474 100.00%	3.96	0.973	4.03	0.348
学芸員	講義	126 21.61%	155 26.59%	136 23.33%	20 3.43%	7 1.20%	139 23.84%	583 100.00%	3.84	0.943	3.83	0.326
	演習	43 29.86%	39 27.08%	31 21.53%	2 1.39%	0 0.00%	29 20.14%	144 100.00%	4.07	0.845	4.06	0.320
	計	169 23.25%	194 26.69%	167 22.97%	22 3.03%	7 0.96%	168 23.11%	727 100.00%	3.89	0.927	3.95	0.335
合計	13,721 21.01%	13,611 20.85%	12,578 19.26%	1,906 2.92%	871 1.33%	22,607 34.62%	65,294 100.00%	3.88	0.981	3.97	0.446	

【形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	0	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 平均	部門別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった					
講義		7,308 18.04%	8,683 21.44%	8,762 21.64%	1,394 3.44%	641 1.58%	13,711 33.86%	40,499 100.00%	3.77	0.985	3.82	0.391
演習		4,417 30.59%	3,050 21.12%	2,126 14.72%	266 1.84%	107 0.74%	4,475 30.99%	14,441 100.00%	4.14	0.916	4.18	0.425
語学		1,996 19.28%	1,878 18.14%	1,690 16.32%	246 2.38%	123 1.19%	4,421 42.70%	10,354 100.00%	3.91	0.982	3.90	0.436
合計		13,721 21.01%	13,611 20.85%	12,578 19.26%	1,906 2.92%	871 1.33%	22,607 34.62%	65,294 100.00%	3.88	0.981	3.97	0.446

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	0			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった			
学部1年	3,994 14.79%	4,894 18.12%	5,502 20.37%	915 3.39%	396 1.47%	11,304 41.86%	27,005 100.00%	3.71	0.991
学部2年	3,717 22.18%	3,815 22.76%	3,271 19.51%	445 2.65%	221 1.32%	5,293 31.58%	16,762 100.00%	3.90	0.964
学部3年	3,068 29.49%	2,646 25.43%	1,964 18.88%	290 2.79%	109 1.05%	2,326 22.36%	10,403 100.00%	4.02	0.942
学部4年	1,596 35.67%	1,078 24.09%	730 16.32%	79 1.77%	44 0.98%	947 21.17%	4,474 100.00%	4.16	0.914

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	0				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	読まなかった					
25名以下	3,193 33.08%	2,055 21.29%	1,274 13.20%	175 1.81%	88 0.91%	2,867 29.70%	9,652 100.00%	4.19	0.917	4.18	0.465
26～50名	3,620 22.95%	3,164 20.06%	2,637 16.72%	366 2.32%	167 1.06%	5,820 36.90%	15,774 100.00%	3.97	0.962	3.95	0.401
51～100名	2,524 16.81%	2,834 18.87%	3,057 20.36%	473 3.15%	253 1.68%	5,877 39.13%	15,018 100.00%	3.76	1.003	3.75	0.375
101～200名	1,822 18.08%	2,425 24.07%	2,276 22.59%	334 3.32%	143 1.42%	3,075 30.52%	10,075 100.00%	3.78	0.955	3.79	0.293
201名以上	2,562 17.34%	3,133 21.20%	3,334 22.57%	558 3.78%	220 1.49%	4,968 33.62%	14,775 100.00%	3.74	0.981	3.70	0.283
合計	13,721 21.01%	13,611 20.85%	12,578 19.26%	1,906 2.92%	871 1.33%	22,607 34.62%	65,294 100.00%	3.88	0.981	3.97	0.446

第4章 資料集

Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	918 22.99%	1,415 35.44%	1,154 28.90%	323 8.09%	183 4.58%	3,993 100.00%	3.64	1.062	3.73	0.471
外セ	語学	4,553 44.23%	3,767 36.60%	1,533 14.89%	287 2.79%	153 1.49%	10,293 100.00%	4.19	0.894	4.22	0.446
スボ健	演習	1,138 67.34%	435 25.74%	94 5.56%	14 0.83%	9 0.53%	1,690 100.00%	4.59	0.684	4.64	0.334
基礎教養	講義	1,980 37.70%	2,145 40.84%	926 17.63%	153 2.91%	48 0.91%	5,252 100.00%	4.12	0.860	4.14	0.340
	演習	12 26.09%	15 32.61%	10 21.74%	8 17.39%	8 2.17%	46 100.00%	3.63	1.123	3.63	-
	計	1,992 37.60%	2,160 40.77%	936 17.67%	161 3.04%	49 0.92%	5,298 100.00%	4.11	0.863	4.14	0.342
法学部	講義	3,211 34.61%	3,476 37.46%	2,003 21.59%	417 4.49%	171 1.84%	9,278 100.00%	3.99	0.953	4.01	0.476
	演習	1,004 60.66%	456 27.55%	147 8.88%	34 2.05%	14 0.85%	1,655 100.00%	4.45	0.807	4.59	0.375
	計	4,215 38.55%	3,932 35.96%	2,150 19.67%	451 4.13%	185 1.69%	10,933 100.00%	4.06	0.947	4.24	0.522
経済学部	講義	2,631 36.88%	2,558 35.86%	1,352 18.95%	409 5.73%	183 2.57%	7,133 100.00%	3.99	1.009	4.18	0.506
	演習	1,030 70.16%	342 23.30%	80 5.45%	11 0.75%	5 0.34%	1,468 100.00%	4.62	0.656	4.63	0.339
	計	3,661 42.56%	2,900 33.72%	1,432 16.65%	420 4.88%	188 2.19%	8,601 100.00%	4.10	0.987	4.37	0.493
文学部	講義	2,990 39.33%	3,007 39.55%	1,274 16.76%	256 3.37%	76 1.00%	7,603 100.00%	4.13	0.877	4.21	0.382
	演習	3,235 53.89%	2,055 34.23%	577 9.61%	99 1.65%	37 0.62%	6,003 100.00%	4.39	0.777	4.43	0.361
	計	6,225 45.75%	5,062 37.20%	1,851 13.60%	355 2.61%	113 0.83%	13,606 100.00%	4.24	0.844	4.36	0.382
理学部	講義	1,313 27.78%	1,706 36.09%	1,233 26.08%	322 6.81%	153 3.24%	4,727 100.00%	3.78	1.028	3.86	0.502
	演習	544 35.88%	555 36.61%	324 21.37%	51 3.36%	42 2.77%	1,516 100.00%	3.99	0.978	3.95	0.425
	計	1,857 29.75%	2,261 36.22%	1,557 24.94%	373 5.97%	195 3.12%	6,243 100.00%	3.83	1.020	3.88	0.486
教職課程	講義	616 37.77%	653 40.04%	290 17.78%	57 3.49%	15 0.92%	1,631 100.00%	4.10	0.876	4.17	0.336
	演習	1,026 56.34%	540 29.65%	207 11.37%	30 1.65%	18 0.99%	1,821 100.00%	4.39	0.826	4.42	0.356
	計	1,642 47.57%	1,193 34.56%	497 14.40%	87 2.52%	33 0.96%	3,452 100.00%	4.25	0.862	4.33	0.367
学芸員	講義	243 42.26%	218 37.91%	81 14.09%	26 4.52%	7 1.22%	575 100.00%	4.15	0.912	4.22	0.388
	演習	113 78.47%	25 17.36%	4 2.78%	2 1.39%	0 0.00%	144 100.00%	4.73	0.582	4.72	0.297
	計	356 49.51%	243 33.80%	85 11.82%	28 3.89%	7 0.97%	719 100.00%	4.27	0.886	4.48	0.421
合計	26,557 40.97%	23,368 36.05%	11,289 17.41%	2,499 3.85%	1,115 1.72%	64,828 100.00%	4.11	0.939	4.25	0.480	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	13,902 34.59%	15,178 37.76%	8,313 20.68%	1,963 4.88%	836 2.08%	40,192 100.00%	3.98	0.967	4.05	0.479
演習	8,102 56.49%	4,423 30.84%	1,443 10.06%	249 1.74%	126 0.88%	14,343 100.00%	4.40	0.807	4.48	0.393
語学	4,553 44.23%	3,767 36.60%	1,533 14.89%	287 2.79%	153 1.49%	10,293 100.00%	4.19	0.894	4.22	0.446
合計	26,557 40.97%	23,368 36.05%	11,289 17.41%	2,499 3.85%	1,115 1.72%	64,828 100.00%	4.11	0.939	4.25	0.480

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	9,441 35.18%	10,085 37.58%	5,456 20.33%	1,295 4.83%	559 2.08%	26,836 100.00%	3.99	0.967
学部2年	6,912 41.55%	6,162 37.04%	2,718 16.34%	589 3.54%	255 1.53%	16,636 100.00%	4.14	0.917
学部3年	4,970 48.15%	3,603 34.91%	1,389 13.46%	261 2.53%	99 0.96%	10,322 100.00%	4.27	0.856
学部4年	2,684 60.55%	1,230 27.75%	432 9.75%	44 0.99%	43 0.97%	4,433 100.00%	4.46	0.787

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	5,879 61.41%	2,707 28.28%	784 8.19%	137 1.43%	66 0.69%	9,573 100.00%	4.48	0.763	4.50	0.402
26～50名	7,280 46.41%	5,632 35.90%	2,176 13.87%	410 2.61%	189 1.20%	15,687 100.00%	4.24	0.872	4.25	0.417
51～100名	4,844 32.52%	5,533 37.15%	3,275 21.99%	815 5.47%	428 2.87%	14,895 100.00%	3.91	1.007	3.94	0.491
101～200名	3,501 34.95%	3,944 39.38%	2,015 20.12%	420 4.19%	136 1.36%	10,016 100.00%	4.02	0.917	4.03	0.362
201名以上	5,053 34.47%	5,552 37.88%	3,039 20.73%	717 4.89%	296 2.02%	14,657 100.00%	3.98	0.964	3.91	0.437
合計	26,557 40.97%	23,368 36.05%	11,289 17.41%	2,499 3.85%	1,115 1.72%	64,828 100.00%	4.11	0.939	4.25	0.480

Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,084 28.68%	1,281 33.90%	1,003 26.54%	280 7.41%	131 3.47%	3,779 100.00%	3.77	1.052	3.84	0.444
外セ	語学	3,888 38.43%	3,643 36.01%	2,053 20.29%	420 4.15%	112 1.11%	10,116 100.00%	4.07	0.921	4.10	0.424
基礎教養	講義	1,590 30.83%	1,848 35.83%	1,166 22.61%	457 8.86%	97 1.88%	5,158 100.00%	3.85	1.017	3.93	0.434
法学部	講義	2,669 29.58%	2,739 30.36%	2,251 24.95%	951 10.54%	412 4.57%	9,022 100.00%	3.70	1.135	3.76	0.558
経済学部	講義	2,467 35.59%	2,288 33.01%	1,388 20.03%	551 7.95%	237 3.42%	6,931 100.00%	3.89	1.082	4.06	0.522
文学部	講義	2,672 35.48%	2,680 35.59%	1,546 20.53%	503 6.68%	130 1.73%	7,531 100.00%	3.96	0.991	4.05	0.434
理学部	講義	1,380 30.01%	1,542 33.53%	1,074 23.35%	409 8.89%	194 4.22%	4,599 100.00%	3.76	1.101	3.84	0.525
教職課程	講義	432 27.32%	495 31.31%	456 28.84%	145 9.17%	53 3.35%	1,581 100.00%	3.70	1.068	3.87	0.507
学芸員	講義	243 42.56%	206 36.08%	94 16.46%	19 3.33%	9 1.58%	571 100.00%	4.15	0.919	4.23	0.302
合計		16,425 33.32%	16,722 33.93%	11,031 22.38%	3,735 7.58%	1,375 2.79%	49,288 100.00%	3.87	1.047	3.99	0.485

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
講義		12,537 32.01%	13,079 33.39%	8,978 22.92%	3,315 8.46%	1,263 3.22%	39,172 100.00%	3.82	1.071	3.92	0.507
語学		3,888 38.43%	3,643 36.01%	2,053 20.29%	420 4.15%	112 1.11%	10,116 100.00%	4.07	0.921	4.10	0.424
合計		16,425 33.32%	16,722 33.93%	11,031 22.38%	3,735 7.58%	1,375 2.79%	49,288 100.00%	3.87	1.047	3.99	0.485

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		6,882 30.52%	7,708 34.18%	5,458 24.21%	1,853 8.22%	647 2.87%	22,548 100.00%	3.81	1.048
学部2年		4,398 34.16%	4,364 33.90%	2,818 21.89%	894 6.94%	401 3.11%	12,875 100.00%	3.89	1.052
学部3年		2,494 37.58%	2,235 33.68%	1,282 19.32%	483 7.28%	142 2.14%	6,636 100.00%	3.97	1.026
学部4年		1,135 45.84%	774 31.26%	394 15.91%	132 5.33%	41 1.66%	2,476 100.00%	4.14	0.980

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		1,600 46.65%	1,175 34.26%	505 14.72%	115 3.35%	35 1.02%	3,430 100.00%	4.22	0.889	4.24	0.430
26～50名		3,668 37.25%	3,575 36.31%	2,061 20.93%	424 4.31%	118 1.20%	9,846 100.00%	4.04	0.928	4.06	0.409
51～100名		3,919 31.58%	4,214 33.96%	2,910 23.45%	968 7.80%	398 3.21%	12,409 100.00%	3.83	1.059	3.84	0.486
101～200名		2,893 30.46%	3,158 33.25%	2,248 23.67%	917 9.66%	281 2.96%	9,497 100.00%	3.79	1.072	3.82	0.483
201名以上		4,345 30.80%	4,600 32.61%	3,307 23.44%	1,311 9.29%	543 3.85%	14,106 100.00%	3.77	1.099	3.74	0.496
合計		16,425 33.32%	16,722 33.93%	11,031 22.38%	3,735 7.58%	1,375 2.79%	49,288 100.00%	3.87	1.047	3.99	0.485

第4章 資料集

Q13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,120 29.71%	1,319 34.99%	1,002 26.58%	215 5.70%	114 3.02%	3,770 100.00%	3.83	1.017	3.88	0.444
外セ	語学	4,205 41.60%	3,720 36.80%	1,736 17.17%	319 3.16%	128 1.27%	10,108 100.00%	4.14	0.899	4.17	0.392
基礎教養	講義	1,815 35.32%	2,096 40.79%	1,015 19.75%	154 3.00%	59 1.15%	5,139 100.00%	4.06	0.878	4.11	0.315
法学部	講義	2,989 33.25%	3,156 35.11%	2,126 23.65%	504 5.61%	214 2.38%	8,989 100.00%	3.91	1.000	3.98	0.415
経済学部	講義	2,469 35.78%	2,424 35.13%	1,449 21.00%	376 5.45%	183 2.65%	6,901 100.00%	3.96	1.011	4.11	0.476
文学部	講義	2,923 39.04%	2,912 38.89%	1,305 17.43%	264 3.53%	83 1.11%	7,487 100.00%	4.11	0.891	4.18	0.362
理学部	講義	1,367 29.80%	1,553 33.85%	1,233 26.87%	277 6.04%	158 3.44%	4,588 100.00%	3.81	1.039	3.86	0.446
教職課程	講義	580 36.85%	590 37.48%	324 20.58%	52 3.30%	28 1.78%	1,574 100.00%	4.04	0.930	4.13	0.341
学芸員	講義	250 44.40%	193 34.28%	99 17.58%	14 2.49%	7 1.24%	563 100.00%	4.18	0.894	4.25	0.319
合計		17,718 36.07%	17,963 36.57%	10,289 20.95%	2,175 4.43%	974 1.98%	49,119 100.00%	4.00	0.962	4.09	0.420

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
講義	13,513 34.64%	14,243 36.51%	8,553 21.92%	1,856 4.76%	846 2.17%	39,011 100.00%	3.97	0.975	4.04	0.429
語学	4,205 41.60%	3,720 36.80%	1,736 17.17%	319 3.16%	128 1.27%	10,108 100.00%	4.14	0.899	4.17	0.392
合計	17,718 36.07%	17,963 36.57%	10,289 20.95%	2,175 4.43%	974 1.98%	49,119 100.00%	4.00	0.962	4.09	0.420

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	7,537 33.55%	8,398 37.38%	5,052 22.49%	1,038 4.62%	442 1.97%	22,467 100.00%	3.96	0.959
学部2年	4,834 37.62%	4,686 36.47%	2,548 19.83%	507 3.95%	274 2.13%	12,849 100.00%	4.04	0.961
学部3年	2,630 39.78%	2,394 36.21%	1,221 18.47%	269 4.07%	97 1.47%	6,611 100.00%	4.09	0.933
学部4年	1,197 48.58%	792 32.14%	364 14.77%	70 2.84%	41 1.66%	2,464 100.00%	4.23	0.919

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	1,692 49.40%	1,152 33.64%	446 13.02%	95 2.77%	40 1.17%	3,425 100.00%	4.27	0.875	4.30	0.417
26～50名	3,981 40.49%	3,669 37.31%	1,758 17.88%	300 3.05%	125 1.27%	9,833 100.00%	4.13	0.897	4.13	0.368
51～100名	4,173 33.74%	4,428 35.80%	2,837 22.94%	610 4.93%	321 2.60%	12,369 100.00%	3.93	0.996	3.95	0.438
101～200名	3,242 34.35%	3,571 37.83%	2,040 21.61%	408 4.32%	178 1.89%	9,439 100.00%	3.98	0.950	4.00	0.363
201名以上	4,630 32.95%	5,143 36.60%	3,208 22.83%	762 5.42%	310 2.21%	14,053 100.00%	3.93	0.984	3.89	0.365
合計	17,718 36.07%	17,963 36.57%	10,289 20.95%	2,175 4.43%	974 1.98%	49,119 100.00%	4.00	0.962	4.09	0.420

Q14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
外七	語学	4,297 43.99%	3,324 34.03%	1,687 17.27%	350 3.58%	111 1.14%	9,769 100.00%	4.16	0.912	4.20	0.433
スポ健	演習	553 51.44%	295 27.44%	186 17.30%	26 2.42%	15 1.40%	1,075 100.00%	4.25	0.921	4.36	0.453
基礎教養	演習	6 12.77%	7 14.89%	18 38.30%	9 19.15%	7 14.89%	47 100.00%	2.91	1.213	2.91	-
法学部	演習	880 57.74%	410 26.90%	183 12.01%	35 2.30%	16 1.05%	1,524 100.00%	4.38	0.860	4.47	0.423
経済学部	演習	928 65.49%	343 24.21%	116 8.19%	26 1.83%	4 0.28%	1,417 100.00%	4.53	0.747	4.54	0.379
文学部	演習	3,179 54.01%	1,928 32.76%	636 10.81%	108 1.83%	35 0.59%	5,886 100.00%	4.38	0.795	4.42	0.362
理学部	演習	452 31.72%	492 34.53%	371 26.04%	70 4.91%	40 2.81%	1,425 100.00%	3.87	1.006	3.86	0.431
教職課程	演習	1,020 58.82%	446 25.72%	217 12.51%	24 1.38%	27 1.56%	1,734 100.00%	4.39	0.871	4.39	0.383
学芸員	演習	82 59.42%	38 27.54%	17 12.32%	1 0.72%	0 0.00%	138 100.00%	4.46	0.736	4.43	0.441
合計		11,397 49.52%	7,283 31.64%	3,431 14.91%	649 2.82%	255 1.11%	23,015 100.00%	4.26	0.889	4.32	0.436

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
演習		7,100 53.60%	3,959 29.89%	1,744 13.17%	299 2.26%	144 1.09%	13,246 100.00%	4.33	0.866	4.40	0.419
語学		4,297 43.99%	3,324 34.03%	1,687 17.27%	350 3.58%	111 1.14%	9,769 100.00%	4.16	0.912	4.20	0.433
合計		11,397 49.52%	7,283 31.64%	3,431 14.91%	649 2.82%	255 1.11%	23,015 100.00%	4.26	0.889	4.32	0.436

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		3,692 41.96%	2,959 33.63%	1,666 18.94%	367 4.17%	114 1.30%	8,798 100.00%	4.11	0.939
学部2年		3,106 51.29%	1,966 32.46%	778 12.85%	135 2.23%	71 1.17%	6,056 100.00%	4.30	0.862
学部3年		2,205 58.27%	1,096 28.96%	393 10.39%	60 1.59%	30 0.79%	3,784 100.00%	4.42	0.801
学部4年		1,318 64.20%	515 25.09%	180 8.77%	26 1.27%	14 0.68%	2,053 100.00%	4.51	0.764

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		4,901 59.46%	2,312 28.05%	821 9.96%	150 1.82%	58 0.70%	8,242 100.00%	4.44	0.799	4.46	0.403
26～50名		5,498 44.84%	4,181 34.10%	2,058 16.78%	392 3.20%	133 1.08%	12,262 100.00%	4.18	0.899	4.19	0.403
51～100名		752 36.94%	655 32.17%	471 23.13%	99 4.86%	59 2.90%	2,036 100.00%	3.95	1.027	3.91	0.488
101～200名		118 40.55%	92 31.62%	70 24.05%	7 2.41%	4 1.37%	291 100.00%	4.08	0.929	3.96	0.280
201名以上		128 69.57%	43 23.37%	11 5.98%	1 0.54%	1 0.54%	184 100.00%	4.61	0.677	4.61	-
合計		11,397 49.52%	7,283 31.64%	3,431 14.91%	649 2.82%	255 1.11%	23,015 100.00%	4.26	0.889	4.32	0.436

第4章 資料集

Q15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース			
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
外セ	語学	4,211 43.17%	3,516 36.05%	1,597 16.37%	316 3.24%	114 1.17%	9,754 100.00%	4.17	0.896	4.21	0.416
スボ健	演習	643 60.15%	279 26.10%	124 11.60%	15 1.40%	8 0.75%	1,069 100.00%	4.43	0.808	4.54	0.387
基礎教養	演習	13 27.66%	16 34.04%	10 21.28%	7 14.89%	1 2.13%	47 100.00%	3.70	1.102	3.70	-
法学部	演習	827 54.52%	456 30.06%	180 11.87%	37 2.44%	17 1.12%	1,517 100.00%	4.34	0.863	4.44	0.420
経済学部	演習	930 65.77%	355 25.11%	103 7.28%	18 1.27%	8 0.57%	1,414 100.00%	4.54	0.734	4.57	0.360
文学部	演習	3,232 55.00%	1,898 32.30%	594 10.11%	107 1.82%	45 0.77%	5,876 100.00%	4.39	0.801	4.43	0.370
理学部	演習	586 41.27%	480 33.80%	273 19.23%	50 3.52%	31 2.18%	1,420 100.00%	4.08	0.967	4.05	0.432
教職課程	演習	955 55.17%	503 29.06%	224 12.94%	27 1.56%	22 1.27%	1,731 100.00%	4.35	0.857	4.39	0.322
学芸員	演習	96 69.57%	33 23.91%	8 5.80%	1 0.72%	0 0.00%	138 100.00%	4.62	0.630	4.62	0.288
合計		11,493 50.04%	7,536 32.81%	3,113 13.55%	578 2.52%	246 1.07%	22,966 100.00%	4.28	0.868	4.35	0.419

【形態別】

		回答者ベース						科目ベース			
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
演習		7,282 55.12%	4,020 30.43%	1,516 11.47%	262 1.98%	132 1.00%	13,212 100.00%	4.37	0.837	4.44	0.393
語学		4,211 43.17%	3,516 36.05%	1,597 16.37%	316 3.24%	114 1.17%	9,754 100.00%	4.17	0.896	4.21	0.416
合計		11,493 50.04%	7,536 32.81%	3,113 13.55%	578 2.52%	246 1.07%	22,966 100.00%	4.28	0.868	4.35	0.419

【学部生・学年別】

		回答者ベース						科目ベース	
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年		3,653 41.64%	3,177 36.21%	1,513 17.25%	324 3.69%	106 1.21%	8,773 100.00%	4.13	0.910
学部2年		3,084 50.98%	2,020 33.39%	739 12.21%	128 2.12%	79 1.31%	6,050 100.00%	4.31	0.861
学部3年		2,225 58.97%	1,111 29.45%	357 9.46%	52 1.38%	28 0.74%	3,773 100.00%	4.45	0.780
学部4年		1,397 68.11%	474 23.11%	145 7.07%	21 1.02%	14 0.68%	2,051 100.00%	4.57	0.728

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース						科目ベース			
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下		4,906 59.67%	2,364 28.75%	751 9.13%	135 1.64%	66 0.80%	8,222 100.00%	4.45	0.791	4.48	0.395
26～50名		5,502 44.95%	4,319 35.29%	1,922 15.70%	365 2.98%	132 1.08%	12,240 100.00%	4.20	0.885	4.22	0.393
51～100名		860 42.36%	700 34.48%	361 17.78%	68 3.35%	41 2.02%	2,030 100.00%	4.12	0.951	4.08	0.436
101～200名		110 37.93%	100 34.48%	64 22.07%	10 3.45%	6 2.07%	290 100.00%	4.03	0.963	4.00	0.135
201名以上		115 62.50%	53 28.80%	15 8.15%	0 0.00%	1 0.54%	184 100.00%	4.53	0.693	4.53	-
合計		11,493 50.04%	7,536 32.81%	3,113 13.55%	578 2.52%	246 1.07%	22,966 100.00%	4.28	0.868	4.35	0.419

Q16 1回1回の授業のねらいが明確である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
外セ	語学	3,784 40.52%	3,307 35.41%	1,759 18.84%	357 3.82%	131 1.40%	9,338 100.00%	4.10	0.929	4.13	0.417
合計		3,784 40.52%	3,307 35.41%	1,759 18.84%	357 3.82%	131 1.40%	9,338 100.00%	4.10	0.929	4.13	0.417

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年	2,067 38.53%	1,929 35.96%	1,083 20.19%	214 3.99%	72 1.34%	5,365 100.00%	4.06	0.929
学部2年	1,098 42.33%	922 35.54%	436 16.81%	95 3.66%	43 1.66%	2,594 100.00%	4.13	0.933
学部3年	223 53.86%	134 32.37%	47 11.35%	9 2.17%	1 0.24%	414 100.00%	4.37	0.789
学部4年	133 54.51%	78 31.97%	29 11.89%	2 0.82%	2 0.82%	244 100.00%	4.39	0.790

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
25名以下	1,092 45.35%	847 35.17%	368 15.28%	73 3.03%	28 1.16%	2,408 100.00%	4.21	0.889	4.22	0.408
26～50名	2,673 38.78%	2,449 35.53%	1,385 20.09%	283 4.11%	103 1.49%	6,893 100.00%	4.06	0.940	4.06	0.411
51～100名	19 51.35%	11 29.73%	6 16.22%	1 2.70%	0 0.00%	37 100.00%	4.30	0.845	4.30	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	3,784 40.52%	3,307 35.41%	1,759 18.84%	357 3.82%	131 1.40%	9,338 100.00%	4.10	0.929	4.13	0.417

第4章 資料集

Q17 教員は授業時間を有効に活用している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない						
外セ	語学	4,078 43.82%	3,357 36.07%	1,417 15.23%	326 3.50%	128 1.38%	9,306 100.00%	4.17	0.908	4.20	0.407
合計		4,078 43.82%	3,357 36.07%	1,417 15.23%	326 3.50%	128 1.38%	9,306 100.00%	4.17	0.908	4.20	0.407

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年	2,218 41.48%	1,953 36.53%	910 17.02%	199 3.72%	67 1.25%	5,347 100.00%	4.13	0.911
学部2年	1,218 47.01%	926 35.74%	310 11.96%	89 3.43%	48 1.85%	2,591 100.00%	4.23	0.918
学部3年	244 59.22%	124 30.10%	37 8.98%	5 1.21%	2 0.49%	412 100.00%	4.46	0.749
学部4年	140 57.61%	77 31.69%	19 7.82%	5 2.06%	2 0.82%	243 100.00%	4.43	0.792

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
25名以下	1,180 49.21%	845 35.24%	269 11.22%	77 3.21%	27 1.13%	2,398 100.00%	4.28	0.869	4.30	0.409
26～50名	2,879 41.90%	2,499 36.37%	1,143 16.64%	249 3.62%	101 1.47%	6,871 100.00%	4.14	0.919	4.13	0.393
51～100名	19 51.35%	13 35.14%	5 13.51%	0 0.00%	0 0.00%	37 100.00%	4.38	0.721	4.38	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	4,078 43.82%	3,357 36.07%	1,417 15.23%	326 3.50%	128 1.38%	9,306 100.00%	4.17	0.908	4.20	0.407

Q18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない							
基礎教養	講義	942 46.84%	779 38.74%	231 11.49%	43 2.14%	16 0.80%	2,011 100.00%	4.29	0.811	4.31	0.390
	演習	16 40.00%	13 32.50%	7 17.50%	3 7.50%	1 2.50%	40 100.00%	4.00	1.062	4.00	-
合計		958 46.71%	792 38.62%	238 11.60%	46 2.24%	17 0.83%	2,051 100.00%	4.28	0.818	4.30	0.389

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年	652 44.38%	597 40.64%	172 11.71%	36 2.45%	12 0.82%	1,469 100.00%	4.25	0.818
学部2年	126 51.85%	85 34.98%	26 10.70%	5 2.06%	1 0.41%	243 100.00%	4.36	0.787
学部3年	76 58.91%	37 28.68%	12 9.30%	1 0.78%	3 2.33%	129 100.00%	4.41	0.872
学部4年	48 63.16%	21 27.63%	6 7.89%	0 0.00%	1 1.32%	76 100.00%	4.51	0.757

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
25名以下	22 78.57%	4 14.29%	2 7.14%	0 0.00%	0 0.00%	28 100.00%	4.71	0.600	4.60	0.426
26～50名	76 64.41%	35 29.66%	6 5.08%	1 0.85%	0 0.00%	118 100.00%	4.58	0.633	4.55	0.391
51～100名	173 43.03%	152 37.81%	50 12.44%	21 5.22%	6 1.49%	402 100.00%	4.16	0.936	4.29	0.483
101～200名	198 41.68%	199 41.89%	62 13.05%	12 2.53%	4 0.84%	475 100.00%	4.21	0.825	4.19	0.241
201名以上	489 47.57%	402 39.11%	118 11.48%	12 1.17%	7 0.68%	1,028 100.00%	4.32	0.774	4.26	0.332
合計	958 46.71%	792 38.62%	238 11.60%	46 2.24%	17 0.83%	2,051 100.00%	4.28	0.818	4.30	0.389

第4章 資料集

Q19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない							
基礎教養	講義	227 36.79%	238 38.57%	118 19.12%	23 3.73%	11 1.78%	617 100.00%	4.05	0.932	4.19	0.538
	演習	5 55.56%	2 22.22%	2 22.22%	0 0.00%	0 0.00%	9 100.00%	4.33	0.866	4.33	-
合計		232 37.06%	240 38.34%	120 19.17%	23 3.67%	11 1.76%	626 100.00%	4.05	0.931	4.19	0.534

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年	138 34.67%	156 39.20%	79 19.85%	17 4.27%	8 2.01%	398 100.00%	4.00	0.948
学部2年	48 42.86%	41 36.61%	18 16.07%	2 1.79%	3 2.68%	112 100.00%	4.15	0.942
学部3年	17 42.50%	15 37.50%	6 15.00%	2 5.00%	0 0.00%	40 100.00%	4.18	0.874
学部4年	17 56.67%	10 33.33%	3 10.00%	0 0.00%	0 0.00%	30 100.00%	4.47	0.681

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
25名以下	5 55.56%	3 33.33%	1 11.11%	0 0.00%	0 0.00%	9 100.00%	4.44	0.726	4.38	0.946
26～50名	13 37.14%	19 54.29%	3 8.57%	0 0.00%	0 0.00%	35 100.00%	4.29	0.622	4.71	0.402
51～100名	63 40.38%	52 33.33%	29 18.59%	6 3.85%	6 3.85%	156 100.00%	4.03	1.047	4.24	0.553
101～200名	61 35.47%	68 39.53%	35 20.35%	5 2.91%	3 1.74%	172 100.00%	4.04	0.914	4.11	0.440
201名以上	90 35.43%	98 38.58%	52 20.47%	12 4.72%	2 0.79%	254 100.00%	4.03	0.906	4.03	0.482
合計	232 37.06%	240 38.34%	120 19.17%	23 3.67%	11 1.76%	626 100.00%	4.05	0.931	4.19	0.534

Q20 私は授業に遅刻したことがない

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない							
経済学部	講義	2,191 38.00%	1,244 21.57%	962 16.68%	682 11.83%	687 11.91%	5,766 100.00%	3.62	1.396	3.59	0.500
	演習	629 57.03%	198 17.95%	113 10.24%	78 7.07%	85 7.71%	1,103 100.00%	4.10	1.281	4.00	0.661
合計		2,820 41.05%	1,442 20.99%	1,075 15.65%	760 11.06%	772 11.24%	6,869 100.00%	3.70	1.389	3.77	0.609

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年	1,065 50.26%	342 16.14%	264 12.46%	195 9.20%	253 11.94%	2,119 100.00%	3.84	1.430
学部2年	741 39.52%	443 23.63%	303 16.16%	209 11.15%	179 9.55%	1,875 100.00%	3.72	1.337
学部3年	649 35.31%	453 24.65%	338 18.39%	218 11.86%	180 9.79%	1,838 100.00%	3.64	1.328
学部4年	216 31.03%	148 21.26%	113 16.24%	90 12.93%	129 18.53%	696 100.00%	3.33	1.489

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない						
25名以下	647 54.10%	225 18.81%	133 11.12%	90 7.53%	101 8.44%	1,196 100.00%	4.03	1.309	3.95	0.644
26～50名	186 51.38%	65 17.96%	45 12.43%	26 7.18%	40 11.05%	362 100.00%	3.91	1.385	3.79	0.782
51～100名	205 32.85%	148 23.72%	123 19.71%	82 13.14%	66 10.58%	624 100.00%	3.55	1.343	3.53	0.434
101～200名	302 33.93%	201 22.58%	180 20.22%	107 12.02%	100 11.24%	890 100.00%	3.56	1.357	3.49	0.474
201名以上	1,480 38.98%	803 21.15%	594 15.64%	455 11.98%	465 12.25%	3,797 100.00%	3.63	1.410	3.55	0.371
合計	2,820 41.05%	1,442 20.99%	1,075 15.65%	760 11.06%	772 11.24%	6,869 100.00%	3.70	1.389	3.77	0.609

第4章 資料集

Q21 高校で履修した数学科目

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	-	数・数・ 数を履修した 数	数・数 のみ履修した	数のみ 履修した	いずれにも該当しな い(例:留学生)						
経済学部	講義	-	849 14.90%	4,005 70.28%	603 10.58%	242 4.25%	5,699 100.00%	-	-	-	-
	演習	-	182 17.01%	753 70.37%	92 8.60%	43 4.02%	1,070 100.00%	-	-	-	-
合計		-	1,031 15.23%	4,758 70.29%	695 10.27%	285 4.21%	6,769 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
	-	数・数・ 数を履修した 数	数・数 のみ履修した	数のみ 履修した	いずれにも該当しな い(例:留学生)				
学部1年	-	266 12.78%	1,562 75.02%	179 8.60%	75 3.60%	2,082 100.00%	-	-	
学部2年	-	223 12.03%	1,354 73.07%	202 10.90%	74 3.99%	1,853 100.00%	-	-	
学部3年	-	337 18.49%	1,221 66.98%	189 10.37%	76 4.17%	1,823 100.00%	-	-	
学部4年	-	164 23.84%	399 57.99%	89 12.94%	36 5.23%	688 100.00%	-	-	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース			
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均
	-	数・数・ 数を履修した 数	数・数 のみ履修した	数のみ 履修した	いずれにも該当しな い(例:留学生)					
25名以下	-	206 17.74%	799 68.82%	103 8.87%	53 4.57%	1,161 100.00%	-	-	-	-
26～50名	-	85 24.01%	211 59.60%	40 11.30%	18 5.08%	354 100.00%	-	-	-	-
51～100名	-	106 16.88%	425 67.68%	73 11.62%	24 3.82%	628 100.00%	-	-	-	-
101～200名	-	151 17.04%	593 66.93%	101 11.40%	41 4.63%	886 100.00%	-	-	-	-
201名以上	-	483 12.91%	2,730 72.99%	378 10.11%	149 3.98%	3,740 100.00%	-	-	-	-
合計	-	1,031 15.23%	4,758 70.29%	695 10.27%	285 4.21%	6,769 100.00%	-	-	-	-

Q22 運動量は

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5 十分であった	4 おおむね 十分であった	3 どちらとも 言えない	2 やや不足 していた	1 不十分で あった	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
スポ健	演習	934 60.26%	468 30.19%	98 6.32%	36 2.32%	14 0.90%	1,550 100.00%	4.47	0.790	4.53	0.321
合計		934 60.26%	468 30.19%	98 6.32%	36 2.32%	14 0.90%	1,550 100.00%	4.47	0.790	4.53	0.321

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 十分であった	4 おおむね 十分であった	3 どちらとも 言えない	2 やや不足 していた	1 不十分で あった			
学部1年	400 52.84%	272 35.93%	58 7.66%	23 3.04%	4 0.53%	757 100.00%	4.38	0.796
学部2年	158 62.95%	64 25.50%	20 7.97%	5 1.99%	4 1.59%	251 100.00%	4.46	0.849
学部3年	129 71.67%	42 23.33%	4 2.22%	3 1.67%	2 1.11%	180 100.00%	4.63	0.717
学部4年	148 81.32%	27 14.84%	3 1.65%	4 2.20%	0 0.00%	182 100.00%	4.75	0.594

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 十分であった	4 おおむね 十分であった	3 どちらとも 言えない	2 やや不足 していた	1 不十分で あった				平均	標準偏差
25名以下	367 75.36%	92 18.89%	16 3.29%	9 1.85%	3 0.62%	487 100.00%	4.67	0.689	4.69	0.287
26～50名	555 53.26%	369 35.41%	80 7.68%	27 2.59%	11 1.06%	1,042 100.00%	4.37	0.819	4.40	0.294
51～100名	12 57.14%	7 33.33%	2 9.52%	0 0.00%	0 0.00%	21 100.00%	4.48	0.680	4.48	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	934 60.26%	468 30.19%	98 6.32%	36 2.32%	14 0.90%	1,550 100.00%	4.47	0.790	4.53	0.321

第4章 資料集

Q23 体力・健康状態が改善された

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	746 48.16%	481 31.05%	282 18.21%	25 1.61%	15 0.97%	1,549 100.00%	4.24	0.871	4.34	0.400
合計		746 48.16%	481 31.05%	282 18.21%	25 1.61%	15 0.97%	1,549 100.00%	4.24	0.871	4.34	0.400

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	279 36.81%	276 36.41%	177 23.35%	17 2.24%	9 1.19%	758 100.00%	4.05	0.892
学部2年	128 51.41%	82 32.93%	31 12.45%	6 2.41%	2 0.80%	249 100.00%	4.32	0.842
学部3年	117 64.64%	47 25.97%	15 8.29%	1 0.55%	1 0.55%	181 100.00%	4.54	0.719
学部4年	147 80.77%	21 11.54%	13 7.14%	0 0.00%	1 0.55%	182 100.00%	4.72	0.642

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	321 66.05%	118 24.28%	41 8.44%	4 0.82%	2 0.41%	486 100.00%	4.55	0.719	4.56	0.290
26～50名	414 39.73%	358 34.36%	238 22.84%	20 1.92%	12 1.15%	1,042 100.00%	4.10	0.893	4.14	0.386
51～100名	11 52.38%	5 23.81%	3 14.29%	1 4.76%	1 4.76%	21 100.00%	4.14	1.153	4.14	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	746 48.16%	481 31.05%	282 18.21%	25 1.61%	15 0.97%	1,549 100.00%	4.24	0.871	4.34	0.400

Q24 運動技術が向上した

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	774 49.94%	465 30.00%	265 17.10%	33 2.13%	13 0.84%	1,550 100.00%	4.26	0.874	4.35	0.400
合計		774 49.94%	465 30.00%	265 17.10%	33 2.13%	13 0.84%	1,550 100.00%	4.26	0.874	4.35	0.400

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	296 39.05%	251 33.11%	181 23.88%	21 2.77%	9 1.19%	758 100.00%	4.06	0.919
学部2年	132 52.80%	82 32.80%	30 12.00%	4 1.60%	2 0.80%	250 100.00%	4.35	0.814
学部3年	128 70.72%	33 18.23%	17 9.39%	3 1.66%	0 0.00%	181 100.00%	4.58	0.731
学部4年	145 79.67%	31 17.03%	3 1.65%	3 1.65%	0 0.00%	182 100.00%	4.75	0.568

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	329 67.56%	105 21.56%	49 10.06%	3 0.62%	1 0.21%	487 100.00%	4.56	0.715	4.58	0.309
26～50名	429 41.17%	357 34.26%	215 20.63%	29 2.78%	12 1.15%	1,042 100.00%	4.12	0.906	4.16	0.372
51～100名	16 76.19%	3 14.29%	1 4.76%	1 4.76%	0 0.00%	21 100.00%	4.62	0.805	4.62	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	774 49.94%	465 30.00%	265 17.10%	33 2.13%	13 0.84%	1,550 100.00%	4.26	0.874	4.35	0.400

第4章 資料集

Q25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	864 55.78%	462 29.83%	184 11.88%	22 1.42%	17 1.10%	1,549 100.00%	4.38	0.831	4.43	0.371
合計		864 55.78%	462 29.83%	184 11.88%	22 1.42%	17 1.10%	1,549 100.00%	4.38	0.831	4.43	0.371

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	361 47.69%	256 33.82%	115 15.19%	15 1.98%	10 1.32%	757 100.00%	4.25	0.876
学部2年	141 56.40%	73 29.20%	29 11.60%	4 1.60%	3 1.20%	250 100.00%	4.38	0.843
学部3年	123 67.96%	45 24.86%	13 7.18%	0 0.00%	0 0.00%	181 100.00%	4.61	0.620
学部4年	152 83.52%	23 12.64%	4 2.20%	2 1.10%	1 0.55%	182 100.00%	4.77	0.594

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	342 70.23%	97 19.92%	39 8.01%	5 1.03%	4 0.82%	487 100.00%	4.58	0.752	4.57	0.372
26～50名	506 48.61%	361 34.68%	144 13.83%	17 1.63%	13 1.25%	1,041 100.00%	4.28	0.852	4.30	0.328
51～100名	16 76.19%	4 19.05%	1 4.76%	0 0.00%	0 0.00%	21 100.00%	4.71	0.561	4.71	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	864 55.78%	462 29.83%	184 11.88%	22 1.42%	17 1.10%	1,549 100.00%	4.38	0.831	4.43	0.371

Q26 身体や運動に対する関心が高まった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	839 54.16%	445 28.73%	226 14.59%	27 1.74%	12 0.77%	1,549 100.00%	4.34	0.845	4.42	0.401
合計		839 54.16%	445 28.73%	226 14.59%	27 1.74%	12 0.77%	1,549 100.00%	4.34	0.845	4.42	0.401

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	324 42.80%	263 34.74%	146 19.29%	16 2.11%	8 1.06%	757 100.00%	4.16	0.881
学部2年	145 57.77%	71 28.29%	30 11.95%	3 1.20%	2 0.80%	251 100.00%	4.41	0.807
学部3年	129 71.27%	36 19.89%	15 8.29%	1 0.55%	0 0.00%	181 100.00%	4.62	0.661
学部4年	156 86.19%	19 10.50%	5 2.76%	1 0.55%	0 0.00%	181 100.00%	4.82	0.485

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	344 70.64%	99 20.33%	36 7.39%	6 1.23%	2 0.41%	487 100.00%	4.60	0.716	4.61	0.331
26～50名	479 46.01%	342 32.85%	189 18.16%	21 2.02%	10 0.96%	1,041 100.00%	4.21	0.875	4.25	0.389
51～100名	16 76.19%	4 19.05%	1 4.76%	0 0.00%	0 0.00%	21 100.00%	4.71	0.561	4.71	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	839 54.16%	445 28.73%	226 14.59%	27 1.74%	12 0.77%	1,549 100.00%	4.34	0.845	4.42	0.401

第4章 資料集

Q27 自分の身体の健康、体力の再認識ができた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	902 58.31%	467 30.19%	151 9.76%	14 0.90%	13 0.84%	1,547 100.00%	4.44	0.773	4.51	0.340
合計		902 58.31%	467 30.19%	151 9.76%	14 0.90%	13 0.84%	1,547 100.00%	4.44	0.773	4.51	0.340

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	372 49.14%	280 36.99%	89 11.76%	10 1.32%	6 0.79%	757 100.00%	4.32	0.793
学部2年	157 63.05%	64 25.70%	23 9.24%	2 0.80%	3 1.20%	249 100.00%	4.49	0.794
学部3年	130 71.82%	38 20.99%	13 7.18%	0 0.00%	0 0.00%	181 100.00%	4.65	0.612
学部4年	150 82.87%	26 14.36%	4 2.21%	1 0.55%	0 0.00%	181 100.00%	4.80	0.491

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	356 73.25%	102 20.99%	26 5.35%	1 0.21%	1 0.21%	486 100.00%	4.67	0.605	4.68	0.274
26～50名	533 51.25%	359 34.52%	123 11.83%	13 1.25%	12 1.15%	1,040 100.00%	4.33	0.821	4.37	0.330
51～100名	13 61.90%	6 28.57%	2 9.52%	0 0.00%	0 0.00%	21 100.00%	4.52	0.680	4.52	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	902 58.31%	467 30.19%	151 9.76%	14 0.90%	13 0.84%	1,547 100.00%	4.44	0.773	4.51	0.340

Q28 自分の生活習慣を見直す機会となった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	825 53.26%	443 28.60%	221 14.27%	42 2.71%	18 1.16%	1,549 100.00%	4.30	0.893	4.37	0.369
合計		825 53.26%	443 28.60%	221 14.27%	42 2.71%	18 1.16%	1,549 100.00%	4.30	0.893	4.37	0.369

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	334 44.12%	254 33.55%	132 17.44%	30 3.96%	7 0.92%	757 100.00%	4.16	0.913
学部2年	140 56.22%	65 26.10%	35 14.06%	4 1.61%	5 2.01%	249 100.00%	4.33	0.918
学部3年	119 65.75%	46 25.41%	10 5.52%	3 1.66%	3 1.66%	181 100.00%	4.52	0.814
学部4年	145 79.67%	28 15.38%	8 4.40%	1 0.55%	0 0.00%	182 100.00%	4.74	0.561

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	328 67.35%	107 21.97%	41 8.42%	8 1.64%	3 0.62%	487 100.00%	4.54	0.769	4.54	0.312
26～50名	485 46.59%	332 31.89%	176 16.91%	33 3.17%	15 1.44%	1,041 100.00%	4.19	0.925	4.22	0.359
51～100名	12 57.14%	4 19.05%	4 19.05%	1 4.76%	0 0.00%	21 100.00%	4.29	0.956	4.29	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	825 53.26%	443 28.60%	221 14.27%	42 2.71%	18 1.16%	1,549 100.00%	4.30	0.893	4.37	0.369

第4章 資料集

Q29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	1,047 67.59%	383 24.73%	101 6.52%	13 0.84%	5 0.32%	1,549 100.00%	4.58	0.680	4.63	0.309
合計		1,047 67.59%	383 24.73%	101 6.52%	13 0.84%	5 0.32%	1,549 100.00%	4.58	0.680	4.63	0.309

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	470 62.09%	218 28.80%	59 7.79%	9 1.19%	1 0.13%	757 100.00%	4.52	0.702
学部2年	168 67.20%	64 25.60%	16 6.40%	1 0.40%	1 0.40%	250 100.00%	4.59	0.666
学部3年	146 80.66%	33 18.23%	2 1.10%	0 0.00%	0 0.00%	181 100.00%	4.80	0.431
学部4年	158 87.29%	17 9.39%	5 2.76%	0 0.00%	1 0.55%	181 100.00%	4.83	0.515

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	389 80.04%	77 15.84%	19 3.91%	0 0.00%	1 0.21%	486 100.00%	4.76	0.537	4.76	0.260
26～50名	643 61.71%	301 28.89%	81 7.77%	13 1.25%	4 0.38%	1,042 100.00%	4.50	0.726	4.52	0.311
51～100名	15 71.43%	5 23.81%	1 4.76%	0 0.00%	0 0.00%	21 100.00%	4.67	0.577	4.67	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	1,047 67.59%	383 24.73%	101 6.52%	13 0.84%	5 0.32%	1,549 100.00%	4.58	0.680	4.63	0.309

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		平成 23 年度	平成 24 年度
委員長	副 学 長	青 木 幸 弘	青 木 幸 弘
委 員	学生センター所長	草 野 芳 郎	桂 木 隆 夫
委 員	学 長 室 部 長	荒 木 健 二	荒 木 健 二
委 員	法 学 部	中 居 良 文	小 塚 莊 一 郎
委 員	経 済 学 部	今 野 浩 一 郎	清 水 大 昌
委 員	文 学 部	保 坂 裕 興	野 村 正 人
委 員	理 学 部	清 末 知 宏	平 野 琢 也
委 員	法 務 研 究 科	浅 野 有 紀	浅 野 有 紀
委 員	スポーツ・健康科学センター	佐 藤 陽 治	廣 紀 江
委 員	計算機センター	久保山 哲 二	久保山 哲 二
委 員	外国語教育研究センター	狩 野 智 洋	志 村 美 加
委 員	教 職 課 程	川 口 幸 宏	川 口 幸 宏
委 員	学芸員課程（旧資格取得）委員会	有 川 治 男	荒 川 正 明

学習院大学

平成23(2011)年度「授業評価アンケート」報告書

平成24年7月17日発行

編集 学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

発行 学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL 03(3986)0221 代表

お問合せ先：学長室経営企画課